

POLAR[®]

POLAR GRIT X



ユーザー マニュアル

目次

目次	2
Polar Grit Xユーザー マニュアル	7
はじめに	7
Grit Xの完全活用	8
Polar Flowアプリ	8
Polar Flowウェブサービス	8
使用開始方法	9
腕時計の設定	9
手順A: モバイルデバイスとPolar Flowアプリで設定	10
手順B: コンピュータで設定	10
手順C: 腕時計から設定	10
ボタン機能とジェスチャー	10
時計表示とメニュー	11
プレトレーニングモード	11
トレーニング中	11
カラータッチ ディスプレイ	12
通知を見る	12
タップ機能	12
バックライト有効化ジェスチャー	12
画面表示とメニュー	12
画面表示	12
メニュー	19
設定	22
クイック設定メニュー	22
モバイルデバイスと腕時計のペアリング	23
ペアリングの解除	24
ファームウェアのアップデート	24
モバイルデバイスまたはタブレット 経由	24
コンピュータ経由	24
設定	26
基本設定	26
ペアリングと同期	27
バイク設定	27
継続的心拍計測	27
フライトモード	27
バックライトの明るさ	27
通知非表示	27
スマート通知	28
単位	28
言語	28
低活動アラート	28
振動	28
腕時計をつけるのは	28
衛星位置情報	28
腕時計について	29
表示を選択	29
文字盤表示	29
時刻と日付	29
時刻	29
日付	29
日付形式	29
週のスタート日	30
個人設定	30
体重	30
身長	30
生年月日	30
性別	30
トレーニング頻度	30

活動目標	31
希望する睡眠時間	31
最大心拍数	31
安静時の心拍数	31
VO2max	32
アイコン表示	32
再起動とリセット	33
腕時計を再起動する	33
腕時計を工場出荷時の設定にリセットする	33
腕時計から工場出荷時の設定にリセットする	33
FlowSyncソフトウェアから工場出荷時の設定にリセットする	33
トレーニング	34
手首型心拍計測	34
手首での心拍数計測を行う際の腕時計の装着方法	34
手首での心拍数測定を行うときに腕時計を装着する	35
トレーニングセッションの開始	35
計画済みのトレーニングセッションの開始	36
マルチスポーツトレーニングセッションの開始	36
クイックメニュー	37
トレーニング中	40
トレーニングビューの表示項目を変更する	40
タイマー設定	42
インターバルタイマー	42
カウントダウンタイマー	43
心拍数、スピード、パワーゾーンのロック	43
心拍ゾーンのロック	43
スピード/ペースゾーンのロック	44
パワーゾーンのロック	44
ラップを取る	44
マルチスポーツセッション中にスポーツを切り替える	44
目標のあるトレーニング	44
フェーズセッション中のフェーズの切り替え	45
トレーニング目標情報を表示する	45
通知	45
トレーニングセッションの一時停止/停止	45
トレーニングサマリー	46
トレーニング後	46
Polar Flowアプリのトレーニングデータ	50
Polar Flowウェブサービスのトレーニングデータ	50
機能	51
GPS	52
A-GPS(補助GPS)有効期限	52
ルートガイダンス	52
ウォッチにルートを追加する	53
ルートガイダンスを使ってトレーニングセッションを開始	53
途中でルートを変更する	53
ディスプレイ中のガイダンス	53
スタート地点に戻る	53
レースペース	54
Strava Liveセグメント	55
StravaとPolar Flowアカウントの接続	55
Polar FlowアカウントへのStravaセグメントのインポート	55
Strava Liveセグメントによるセッションの開始	55
Hill Splitter™	57
スポーツプロファイルへのHill Splitterの追加	57
Hill Splitterを使ったトレーニング	57
Hill Splitter™概要	58
Flowウェブサービスとアプリにおける詳細分析	59
Komoot	61
KomootとPolar Flowアカウントの接続	62
腕時計にKomootルート同期する	62
Komootルートによるトレーニングセッションの開始	63
Smart Coaching	64

Training Load Pro	64
カーディオ負荷	64
自覚的な運動負荷	65
筋肉への負荷	65
シングルセッションからのトレーニング負荷	65
負担および耐久力	66
カーディオ負荷ステータス	66
腕時計でのカーディオ負荷ステータス	66
Polar Flowアプリとウェブサービスにおける長期的な分析	67
FuelWise™	69
FuelWiseを使ったトレーニング	69
スマート炭水化物リマインダー	69
手動炭水化物リマインダー	70
ドリンクリマインダー	70
ランニングパフォーマンステスト	71
テストの実施	71
テスト結果	73
Flowウェブサービスとアプリにおける詳細分析	74
手首で測定するランニングパワー	75
ランニングパワーと筋肉への負荷	75
腕時計画面上のランニングパワーの表示	76
Polarランニングプログラム	77
Polarランニングプログラムの作成	77
ランニング目標を開始	78
あなたの進歩状況をフォロー	78
ランニングインデックス	78
短期的な分析	79
長期的な分析	79
トレーニング効果	80
スマートカロリー	81
継続的な心拍数	82
腕時計での継続的な心拍数	82
24時間/365日 アクティビティラッキング	83
アクティビティ目標	83
腕時計のアクティビティデータ	83
低活動アラート	84
FlowアプリおよびFlowウェブサービスのアクティビティデータ	84
アクティビティガイド	84
アクティビティ効果	85
Nightly Recharge™ 回復計測	85
Polar Flowアプリでの自律神経ステータス詳細データ	88
Polar Flowアプリでの睡眠ステータスの詳細	88
トレーニングについて	89
睡眠について	89
エネルギーレベルを整えるために	89
Sleep Plus Stages™睡眠状態のラッキング	90
SleepWise™	94
毎日の日中活性ガイド	94
週ごとの睡眠	96
科学的情報	97
Serene™ガイドつき呼吸エクササイズ	98
手首での心拍計測によるフィットネステスト	99
テスト前	100
テストの実施	100
テスト結果	100
フィットネスレベルクラス	101
男性	101
女性	101
VO2max	101
FitSpark™ デイリートレーニングガイド	102
トレーニング中	103
スポーツプロフィール	105
心拍ゾーン	105

心拍センサーモード	105
心拍センサーモードをオンにする	105
心拍数データの共有をやめる	106
スピードゾーン	106
スピードゾーン設定	106
スピードゾーンによるトレーニング目標	106
トレーニング中	106
トレーニング後	106
リストデバイスで速度と距離を確認	106
リストデバイスでケイデンスの確認	107
スイミングメトリクス	107
プールスイミング	107
プールの長さの設定	108
オープンウォータースイミング	108
水中で心拍数を測定	108
スイミングセッションの開始	108
水泳中	109
水泳後	109
気圧計	110
コンパス	110
天気	112
パワーセーブ設定	114
使用エネルギー	115
使用エネルギー概要	115
Polar Flowモバイルアプリの詳細分析	116
スマート通知	116
スマート通知をオンにする	116
通知非表示	116
通知を見る	117
音楽コントロール	117
文字盤から設定する	117
トレーニング中	117
変更可能なリストバンド	118
リストバンドを変更する	118
互換性のあるセンサー	118
Polar H10心拍センサー	118
PolarスピードセンサーBluetooth® Smart	119
PolarケイデンスセンサーBluetooth® Smart	119
サードパーティ製パワーセンサー	119
センサーと腕時計をペアリングする	119
心拍センサーと腕時計のペアリング	119
Polar H10	119
Polar OH1+, Polar Verity Sense	119
サイクリングセンサーと腕時計のペアリング	120
バイク設定	121
ホイールサイズの測定	121
サイクリングパワーセンサーを校正する	122
ストライドセンサーと腕時計のペアリング	122
ストライドセンサーの校正	122
ペアリングの解除	122
Polar Flow	123
Polar Flowアプリ	123
トレーニングデータ	123
アクティビティデータ	123
睡眠データ	123
スポーツプロファイル	123
画像の共有	123
Polar Flowアプリの使用を開始する	123
Polar Flowウェブサービス	124
「ダイアリー」	124
レポート	124
プログラム	124
Polar Flowのスポーツプロファイル	125

スポーツプロファイルの追加	125
スポーツプロファイルの編集	126
トレーニングの計画	127
シーズンランナーを使用してトレーニング計画を作成する	127
Polar Flowアプリおよびウェブサービスでトレーニング目標を作成する	128
時間目標	129
距離目標	129
カロリー目標	129
レースペース目標	129
フェーズ目標	129
お気に入りのトレーニング目標に基づいた目標を作成	130
目標を腕時計に同期する	130
Polar Flowアプリでトレーニング目標を作成する	131
お気に入り	133
トレーニング目標を「お気に入り」に追加	133
「お気に入り」を編集	133
「お気に入り」の削除	133
同期	133
Polar Flowモバイルアプリとの同期	133
FlowSync経由でのPolar Flowウェブサービスとの同期	134
重要情報	135
電池	135
電池の充電	136
トレーニング中の充電	137
電池の状態および通知	137
電池の状態を示すシンボル	137
電池残量の通知	137
腕時計のお手入れ	137
腕時計を清潔に	137
光学心拍センサーを適切にケアします	138
保管	138
アフターサービス	138
注意事項	138
トレーニング中の電波干渉	138
健康とトレーニング	139
注意 - バッテリーはお子様の手が届かない所に保管してください	139
Polar製品の安全な使用方法	140
技術仕様	140
Grit X	140
Polar FlowSyncソフトウェア	142
Polar Flowモバイルアプリケーションの互換性	142
Polar製品の防水性	142
規制関連情報	143
Limited Polar International Guarantee(制限付きPolar国際保証)	143
免責条項	144

POLAR GRIT Xユーザー マニュアル

本ユーザー マニュアルでは、腕時計の使用方法についてご紹介します。ビデオチュートリアル、よくある質問を確認するには、support.polar.com/en/grit-x にアクセスしてください。

はじめに

Polar Grit Xをご購入いただき、誠にありがとうございます！

Polar Grit Xは、トレイルランニング、マウンテンバイク、ハイキングなどアウトドアスポーツを愛するアスリートのための軽量かつ耐久性に優れたアウトドア マルチスポーツウォッチです。

Polar Grit Xとともに、トレーニングを次のステージへ。アーバンエリアを飛び出してワイルドなアウトドアに挑戦するアスリートのためにデザインされたアウトドア マルチスポーツウォッチです。GPS、コンパス、高度計機能を内蔵し、Polar独自のトレーニング機能を搭載しています。

Polar Grit XとHill Splitter™の併用により、トレーニングセッション中のアップヒル、ダウンヒルセクションでのパフォーマンスデータを提供します。セッション中の上りセクションのプロファイルを詳細に記録し、過去のトレーニングセッションのヒルセクションデータと比較を行うことができます。Hill Splitter™はスピード、距離、高度のデータから、自動的にアップヒル、ダウンヒルセクションを検知します。コース上のすべてのヒルセクションにおける距離、スピード、上昇・下降率などのパフォーマンスデータを細かく記録し、表示することができます。

FuelWise™ 栄養補給リマインダー機能で、トレーニングセッション中も常にエネルギーあふれる力強さをキープ。FuelWise™は栄養補給が必要なタイミングを通知し、長時間に及ぶセッションでも適切なエネルギーレベルを維持するのに役立ちます。トレーニングセッション中に身体がどのように異なるエネルギー源を消費しているのかを確認できます。Polar Grit Xでは、エネルギー使用を炭水化物、たんぱく質、脂質別に分析します。

Polar Grit XとKomootの機能でルートはプラン通りに。険しいトレイルではただでさえ集中力を要します。ルートを予めよく知っておくことは不可欠です。Polar Grit Xを使うと、Polar FlowまたはKomootからルートを入力し、腕時計でリアルタイムのルートガイダンスに従うことができます。ルートをKomootから直接入力すると、ターンバイターン方式の詳細なルートガイダンスを受けます。

追加の特徴的な機能には以下のものが含まれます：

- Precision Prime™ センサーの最新テクノロジーを使った高度な手首での心拍計測。
- あなたの腕時計に詳細な天気データ。今現在の天気、翌2日間の天気予報を腕時計の画面でチェックできます。
- FitSpark™ トレーニングガイドを使えば、リカバリー状況、身体コンディション、トレーニング履歴に合わせたトレーニング内容をトレーニングプレートから選択できます。毎日の適切なトレーニングで準備はOK、どんなトレイルにもチャレンジできる体力をつけましょう。
- Nightly Recharge™ を使って、日中の負荷から、どれだけ夜間に回復できたかを確認できます。
- ランニングパワーを使って、ランニングセッションの強度について、より包括的な情報を取得できます。
- Polar Grit Xのスイミングメトリクス機能は、心拍数、泳法、距離、ペース、ストローク数、休憩時間を自動的に検出します。距離とストローク数はオープンウォータースイミングでも記録されます。
- スマートフォンからのスマート通知を受け取れるので、大事なメッセージを見逃す心配もありません。電話の受信、メッセージ、Eメール、カレンダー行事ほか、アラート通知を受け取れます。
- Strava Liveセグメントなら、ランニングやサイクリングがさらに楽しくなります。セグメントに近づくと通知してくれるので、セグメント中にパフォーマンスのリアルタイムデータを確認したり、終了してすぐに結果を確認したりできます。
- Polar Grit Xでは130種以上ものスポーツを選択できます。Polar Flowからお持ちのスポーツウォッチに、好きなスポーツ競技を追加することも可能です。

① 当社は、より良いユーザーエクスペリエンスのために製品を開発し続けています。腕時計を最新状態に維持し、最高性能を得るために、新しいバージョンが利用可能なときは、常に、[ファームウェアを更新してください](#)。ファームウェアをアップデートすると、新しい機能や改良により腕時計の機能が強化されます。

GRIT Xの完全活用

Polarエコシステムに接続して腕時計を活用しましょう。

POLAR FLOWアプリ

App Store® またはGoogle Play™ で [Polar Flowアプリ](#) を入手できます。トレーニング後、腕時計をFlowアプリと同期して、トレーニング結果、パフォーマンスのサマリーとフィードバックを確認し、目標達成を友人と共有できます。また、Flowアプリでは、睡眠状態や一日のアクティビティ(活動量)を確認できます。

POLAR FLOWウェブサービス

FlowSyncソフトウェアを使用してコンピュータまたはPolar Flowアプリ経由でトレーニングデータを [Flowウェブサービス](#) に同期できます。ウェブサービスでは、トレーニングの計画、目標達成の状況確認、ガイダンスの取得、トレーニング結果、アクティビティ、睡眠の詳細な分析ができます。目標達成を友人と共有、トレーニング仲間を見つける、ソーシャルなトレーニングコミュニティから意欲を高めたりすることができます。

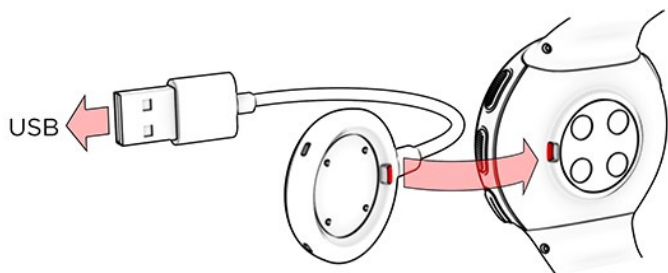
詳しくは、flow.polar.com をご覧ください。

使用開始方法

腕時計の設定	9
手順A: モバイルデバイスとPolar Flowアプリで設定	10
手順B: コンピュータで設定	10
手順C: 腕時計から設定	10
ボタン機能とジェスチャー	10
カラータッチディスプレイ	12
通知を見る	12
タップ機能	12
バックライト有効化ジェスチャー	12
画面表示とメニュー	12
画面表示	12
メニュー	19
クイック設定メニュー	22
モバイルデバイスと腕時計のペアリング	23
ペアリングの解除	24
ファームウェアのアップデート	24
モバイルデバイスまたはタブレット経由	24
コンピュータ経由	24

腕時計の設定

ご利用の腕時計を起動・充電するには、付属のケーブルを使用して、時計をパソコンのUSBポート、またはUSB充電器に接続します。ケーブルを時計の裏側に位置を合わせ(赤色でマークした箇所)接続してください。マグネットにより所定の位置に収まります。充電中のサインがディスプレイに表示されるまで時間がかかるため注意してください。腕時計を装着する前に、電池を充電するのをお勧めします。電池の充電に関する詳細は、「[電池](#)」を参照してください。あるいは、OK(右中央)ボタンを4秒間長押しすることにより、腕時計を休止状態から復帰させることができます。



または



腕時計を設定するために、言語と設定方法を選択してください。腕時計は、設定用に3つの方法が可能です:UP(右上)/DOWN(右下)ボタンにより、最適なオプションを選択して、OK(右中央)ボタンで確定します。

A. スマートフォン上で: USBポートのあるコンピュータが使えない場合、モバイルでの設定が可能です。ただし、より時間がかかる場合があります。この方法にはインターネット接続が必要です。

B. コンピュータ上で: コンピュータが使用できれば、同時に腕時計を充電しながらより早く設定が行えます。この方法にはインターネット接続が必要です。

① AとBの方法が推奨されます。トレーニングデータを正確に測定するために必要な身体情報を一度に入力できます。また、言語の選択や、腕時計の最新ファームウェアのダウンロードが実行できます。

C. 腕時計上で: すぐにインターネット接続のあるコンピュータが使用できない場合は、腕時計だけで使用を開始することもできます。腕時計から設定を行った後、腕時計はPolar Flowウェブサービスにまだ同期されていないことに注意してください。腕時計のファームウェア更新は、Polar Flowを通してのみ行うことができます。腕時計とPolar独自の機能を最大限にご活用いただくために、オプションAまたはBの手順に従って、Polar FlowウェブサービスまたはPolar Flowアプリで設定を行うことが重要です。

手順A: モバイルデバイスとPOLAR FLOWアプリで設定

④ **モバイルデバイスのBluetooth設定ではなく、Polar Flowアプリでペアリングを行う必要があることに注意してください。**

1. ご利用のスマートフォンがインターネットに接続されていること確認し、Bluetoothをオンに切り替えます。
2. Polar FlowアプリをApp StoreまたはGoogle Playから、モバイルデバイスにダウンロードします。
3. モバイルデバイスでFlowアプリを開きます。
4. Flowアプリが、腕時計を認識し、ペアリングを開始するよう求めます。Start(開始) ボタンをタップします。
5. **Bluetoothペアリング要求** 確認メッセージがモバイルデバイス上に表示されたら、モバイルデバイス上に表示されるコードと腕時計上に表示されるコードが一致することを確認してください。
6. モバイルデバイス上でBluetoothペアリング要求を承認します。
7. OK(右中央) ボタンを押して、腕時計上のpinコードを確認します。
8. ペアリングが完了すると、「**Pairing done(ペアリング完了)**」と表示されます。
9. 既にお持ちのPolarアカウントでサインインするか、または新規アカウントを作成します。アプリ内でのサインインと設定の手順をご案内します。

設定を完了後、Save and sync(保存して同期) をタップして、設定を腕時計と同期させます。

④ **ファームウェアをアップデートするよう促された場合は、腕時計を電源に接続して、完全なアップデート操作を確認してから、アップデートを受け入れてください。**

手順B: コンピュータで設定

1. flow.polar.com/start1にアクセスして、Polar FlowSyncデータ転送ソフトウェアをパソコンにダウンロードして、インストールします。
2. 既にお持ちのPolarアカウントでサインインするか、または新規アカウントを作成します。付属のケーブルを使用して、腕時計をパソコンのUSBポートに接続します。Polar Flowウェブサービス内でのサインインと設定の手順をご案内します。

手順C: 腕時計から設定

UP(右上)/DOWN(右下) ボタンで値を調整し、OK(右中央) ボタンで確定します。前に戻って設定内容を変更したい場合は、変更したい設定項目が表示されるまでBACK(左下) ボタンを押してください。

④ **腕時計から設定を行った後、腕時計はPolar Flowウェブサービスにまだ接続されていません。腕時計のファームウェア更新は、Polar Flowを通してのみ行うことができます。腕時計とPolar独自のスマートコーチング機能を最大限にご活用いただくために、手順Aまたは手順Bの手順に従って、Polar FlowウェブサービスまたはFlowモバイルアプリで設定を行うことが重要です。**

ボタン機能とジェスチャー

腕時計には、状況によって異なる機能を備えた5つのボタンがあります。異なるモードにおける各ボタンの機能は、以下の表をご参照ください。



時計表示とメニュー

左上ボタン	左下ボタン	OK(右中央)ボタン	右上/右下ボタン
ディスプレイの点灯	メニューを開く	ディスプレイで表示される選択項目を確定	時刻表示画面の画面表示を変更する
時刻表示画面で、押して電池状態記号を表示します	前のメニューに戻る	長押しでプレトレーニングモードに入る	選択リストを移動
長押しでボタンをロックしディスプレイ画面をタッチ	設定を戻す	押して、画面表示に表示される情報の詳細を表示します	値を調整
	選択項目をキャンセル		
	長押しでメニューから時刻表示に戻る		
	時刻表示画面で、長押しでペアリングと同期を開始		

プレトレーニングモード

左上ボタン	左下ボタン	OK(右中央)ボタン	右上/右下ボタン
ディスプレイの点灯	時刻表示画面に戻る	トレーニングセッションの開始	スポーツリストを移動
長押しでボタンをロック			
押してクイックメニューを見る			

トレーニング中

左上ボタン	左下ボタン	OK(右中央)ボタン	右上/右下ボタン
ディスプレイの点灯	1回押してトレーニングを一時停止	ラップを取る	トレーニングビューを変更
長押しでボタンをロック	トレーニングセッションを終了するには、一時停止時に長押しする	一時停止時にトレーニング記録を継続	

カラータッチ ディスプレイ

腕時計の画面上でリストやメニューの操作を簡単にする、随時ON設定のカラータッチ ディスプレイ。アイテムの選択もディスプレイ画面を押すだけで、とても便利です。

- 上下にスワイプしてスクロールします。
- 時刻表示の画面上で左右にスワイプし、画面表示を変更します。各画面には、異なる情報の概要が表示されます。
- ディスプレイを押すとさらに詳しい内容を見ることができます。

注：トレーニングセッション中は、タッチディスプレイがOFF設定になります。タッチディスプレイを最高のコンディションでお使いいただくため、ディスプレイ画面の汚れ、汗、水分をこまめに布でふき取ってください。手袋をしたままタッチディスプレイを操作すると、機能しない場合があります。

通知を見る

通知を見るには、下から上方向にスワイプしてください。ディスプレイ画面下のドットの表示が、新しい通知があることをお知らせします。

タップ機能

ディスプレイ画面を二本指で強めにタップすると、トレーニングセッションの間にラップをとることができます。注：タップ機能は、タッチディスプレイ機能とは連動していません。

バックライト有効化ジェスチャー

腕時計を見るために手首を回すとき、バックライトは自動的にオンに切り替わります。

画面表示とメニュー

画面表示

腕時計の画面表示は、時刻の他にも様々な情報を提供します。今すぐ役立つ最新情報を、腕時計の文字盤上でチェックすることができます。時刻表示画面の文字盤レイアウトを選ぶことも可能です。

設定 > 表示を選択に進み、時刻のみ、毎日のアクティビティ、カーディオ負荷ステータス、現在の心拍数、最新のトレーニングセッション、Nightly Recharge、FitSparkトレーニングガイド、天候、週間サマリー、ユーザーの名前、音楽コントロールから選択できます。

画面表示を左右にスワイプ、または、UP(右上)ボタン/DOWN(右下)ボタンでスクロールして操作します。ディスプレイを押すか、OKボタンを押すと、さらに詳しい内容を見ることができます。

時刻のみ



時刻と日付腕時計のスタイルとカラーを好みにカスタマイズできます。

詳しくは:

Activity



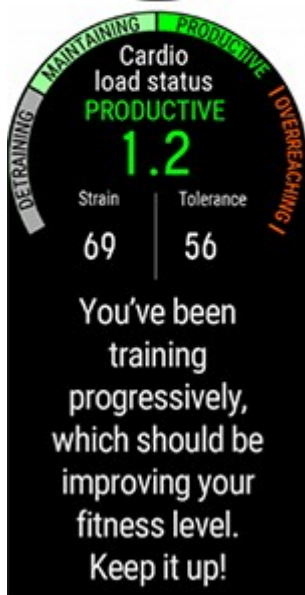
画面表示の周りにある円と日付・時刻の下のパーセント表示が、1日のアクティビティ目標の達成状況を示します。円はアクティブになるにつれて満たされていきます。

さらに、詳細を開くと、以下のように1日の蓄積されたアクティビティ詳細を見ることができます：

- これまでの歩数。運動の量と種類が記録され、歩数の算出に変わります。
- アクティブタイムは、健康に適した運動の合計時間を表します。
- トレーニングとアクティビティによる消費カロリー数と、BMR(Basal metabolic rate: 生命を維持するために必要な最小代謝量・基礎代謝率)。

詳細については、「[毎日24時間のアクティビティ記録](#)」をご確認ください。

カーディオ負荷ステータス



カーディオ負荷ステータスは、短期間のトレーニング負荷(負担)と長期間のトレーニング負荷(耐久力)の間の関係を調べ、それに基づいて、トレーニング不足、現状維持、効果的またはオーバートレーニング負荷であるかどうかを示します。

さらに、詳細を開くと、カーディオ負荷ステータス、負担と耐久力の数値、および、カーディオ負荷ステータスの説明が表示されます。

- カーディオ負荷ステータスの数値は、負担を耐久力で除算した値です。
- 負担は、トレーニングにより、どれだけ疲れているかを示します。過去7日間の1日の平均カーディオ負荷を示します。
- 耐久力は、カーディオトレーニングにどれくらい耐える準備ができているかを説明します。過去28日間の1日の平均カーディオ負荷を示します。
- カーディオ負荷ステータスの言葉での説明

詳細については、「[Training Load Pro](#)」をご確認ください。

現在の心拍数



現在の心拍数機能を使用すると、腕時計は継続的に心拍数を測定し、それを現在の心拍数画面に表示します。

その日の最高心拍数と最低心拍数を確認したり、前夜の最低心拍数を確認することもできます。腕時計の「Settings(設定)」>「General settings(基本設定)」>「Continuous HR tracking(継続的な心拍計測)」で継続的な心拍計測機能をオン・オフにすることができます。

詳細については、「[継続的な心拍計測機能](#)」でご確認ください。



継続的な心拍計測機能を使用していない場合でも、トレーニングセッションを開始せずに現在の心拍数をすばやく確認できます。リストバンドを締め、この画面表示を選択し、OK(右中央)ボタンを押すと、腕時計は現在の心拍数を表示します。BACK(左下)ボタンを押して、現在の心拍数画面に戻ります。

最新のトレーニングセッション

最新のトレーニングセッションとトレーニングセッションのスポーツからの経過時間を参照します。



さらに、詳細を開くと、過去14日間のトレーニングセッション概要を確認できます。UP(右上)/DOWN(右下)ボタンを使用して、表示するトレーニングセッションを閲覧し、OK(右中央)ボタンを押して、概要を開きます。詳細については、[「トレーニング概要」](#)をご参照ください。

Nightly Recharge



起床すると、Nightly Recharge ステータスが表示されます。Nightly Recharge ステータスは、夜の間にどれだけ回復できたかを示します。Nightly Rechargeは、睡眠の最初の何時間かの中に自律神経系がどの程度沈静化したか(自律神経ステータス)、睡眠の質はどうだったか(睡眠ステータス)に関して、測定された情報を自動的に組み合わせます。

①この機能は、デフォルトでオフになっています。腕時計で継続的な心拍計測機能を使用し続けると、電池を早く消耗します。Nightly Rechargeを機能させるために、継続的な心拍計測を有効にする必要があります。電池を節約して、さらにNightly Rechargeを使用する場合、腕時計の設定から継続的な心拍数計測を夜のみセットできます。

詳細については、[「Nightly Recharge™回復計測」](#)または[「Sleep Plus Stages™睡眠状態のトラッキング」](#)をご覧ください。

FitSpark



腕時計は、トレーニング履歴、フィットネスレベル、現在のリカバリー状況に基づき、最も適切なトレーニング目標を提案します。トレーニング目標のおすすめ内容をすべて表示するには、OKを押してください。トレーニング目標の詳細内容を見るには、表示されたトレーニング目標のうちの1つを選んでタップしてください。

詳細については、[FitSparkデイリートレーニングガイド](#)をご覧ください。



天候情報



現在の日の1時間単位の予報を直接時計に表示します。OKボタンを押して、例えば風速、風の方向、湿度、降水確率、明日の3時間予報、および明後日の6時間予報などを含むより詳細な天候情報を表示します。

詳しくは、[天候情報](#)でご確認ください。



週間サマリー

トレーニングのウィークリー概要を表示します。その週の総トレーニング時間は、異なるトレーニングゾーンにわけてグラフ表示されます。OKボタンを押して詳細を開きます。距離、トレーニングセッション、総カロリー数、各心拍ゾーンで費やした時間をチェックできます。さらにここでは先週のデータ概要や詳細、また、翌週の予定済みのセッションを閲覧することが可能です。

各トレーニングセッションについての詳細情報を表示するには、スクロールダウンしてOKを押します。

あなたの名前



時刻と日付、あなたの名前が表示されます。

音楽コントロール



スマートフォンで再生中の音楽とメディアを、腕時計から直接調整できます(トレーニング中は不可)。

さらに詳しい情報は、[音楽コントロール](#)の項をご参照ください。

メニュー

BACK(左下)ボタンを押してメニューに入り、UP(右上)ボタンまたはDOWN(右下)ボタンを押して、メニューを操作します。選択した項目でOKボタンを押して確定し、BACK(左下)ボタンで戻ります。

トレーニングを開始



ここから、トレーニングセッションを開始することができます。OK(右中央)ボタンを押してプレトレーニングモードに入り、使用するスポーツプロフィールを閲覧します。

また、時刻表示で、OK(右中央)ボタンを長押しして、プレトレーニングモードに入ることができます。

手順の詳細は、「[トレーニングセッションの開始](#)」を参照してください。

Serene™ガイドつき呼吸エクササイズ



まず、「Serene」を選択し、次に、「**エクササイズを開始**」を選択して、呼吸エクササイズを開始します。

詳細については、「[Serene™ガイドつき呼吸エクササイズ](#)」をご参照ください。

Strava Liveセグメント



Strava Liveセグメント

腕時計に同期されたStrava Segmentsの情報を表示します。FlowアカウントとStravaアカウントをまだリンクしていない場合、また腕時計にセグメントがまだ全く同期されていない場合は、こちらでその操作方法をご案内しています。

さらに詳しい内容は、こちらをご確認ください：[Strava live segments](#)。

栄養補給



栄養補給

FuelWise™ 栄養補給リマインダー機能で、トレーニングセッション中も常にエネルギーあふれる力強さをキープ。FuelWise™は、栄養補給が必要なタイミングを通知し、長時間に及ぶセッションでも適切なエネルギーレベルを維持するのに役立つ3つのリマインダーを含みます。それらは、**スマート炭水化物リマインダー**、**手動炭水化物リマインダー**そして**ドリンクリマインダー**です。

詳細については、[FuelWise](#)でご確認ください

タイマー



タイマーには、アラーム、ストップウォッチ、カウントダウンタイマーの項目があります。

アラーム

アラームリピート設定：**オフ**、**1回だけ**、**平日**または**毎日**。頻度を**1回だけ**、**平日**または**毎日**から選択し、アラームの時刻を設定します。

① アラームがオンの際は、時計マークが時刻表示画面に表示されます。

ストップウォッチ

ストップウォッチを開始するには、OKボタンを押します。ラップを追加するには、OKボタンを押します。ストップウォッチを一時停止するには、BACK(左下)ボタンを押します。



カウントダウン タイマー:

予め設定されたタイムからのカウントダウンを、カウントダウン タイマー設定で実行することができます。**タイマーの設定** からカウントダウン タイムを設定し、OKボタンを押して確定します。完了後、**Start(開始)** を選択し、OKボタンを押してカウントダウン タイマーを開始します。

カウントダウン タイマーが腕時計の文字盤の時刻と日付と共に、標準表示設定として追加されます。



カウントダウンの終わりに、腕時計がサウンドと振動でその旨を通知します。タイマーを再スタートするには、OKボタンを押します。またはBACK(左下)ボタンでキャンセルし、時刻表示に戻します。

①トレーニング中も、インターバルタイマーとカウントダウンタイマーを使うことができます。Flowのスポーツプロファイル設定画面でタイマー表示をトレーニングビューに追加し、腕時計にその設定を同期します。トレーニング中のタイマー使用方法についての詳細は、[「トレーニング中」](#)部分をご参照ください。

テスト



テストにはランニングテストおよびフィットネステストがあります。

ランニングテスト

ランニングパフォーマンステストが進捗状況を記録し、同時に心拍数、スピード、パワーゾーンをカスタマイズできます。

詳細については、[Running-performance-test.htm](#)を参照してください。

フィットネステスト

横になり、リラックスしている間に、手首での心拍数測定と共にフィットネスレベルを測定します。

詳細については、「[手首での心拍計測を使用したフィットネステスト](#)」をご確認ください。

設定



設定

腕時計から直接以下の設定を編集できます：

- 基本設定
- 表示を選択
- 文字盤表示
- 時刻と日付
- 個人設定

① 腕時計で利用可能な設定の他に、Polar Flow ウェブサービスとアプリからスポーツプロフィールを編集することも可能です。ご利用の腕時計をお気に入りのスポーツの追加やトレーニングセッション中に見たい情報を表示するようカスタマイズできます。詳細については、「[Flowのスポーツプロフィール](#)」をご確認ください。


クイック設定メニュー



時刻表示画面を上から下方向にスワイプし、**クイック設定**のメニューを開きます。

閲覧するには左または右にスワイプし、タップして機能を選択します。



タップして  クイック設定メニューの希望する機能をカスタマイズします。**アラーム**、**カウントダウンタイマー**、**おやすみモード**、**フライトモード**から選択できます。

- **アラーム**:アラームリピート設定: **オフ**、**1回だけ**、**平日** または **毎日**。頻度を **1回だけ**、**平日** または **毎日** から選択し、アラームの時刻を設定します。

① アラームがオンの際は、**時計アイコン**が時刻表示画面に表示されます。

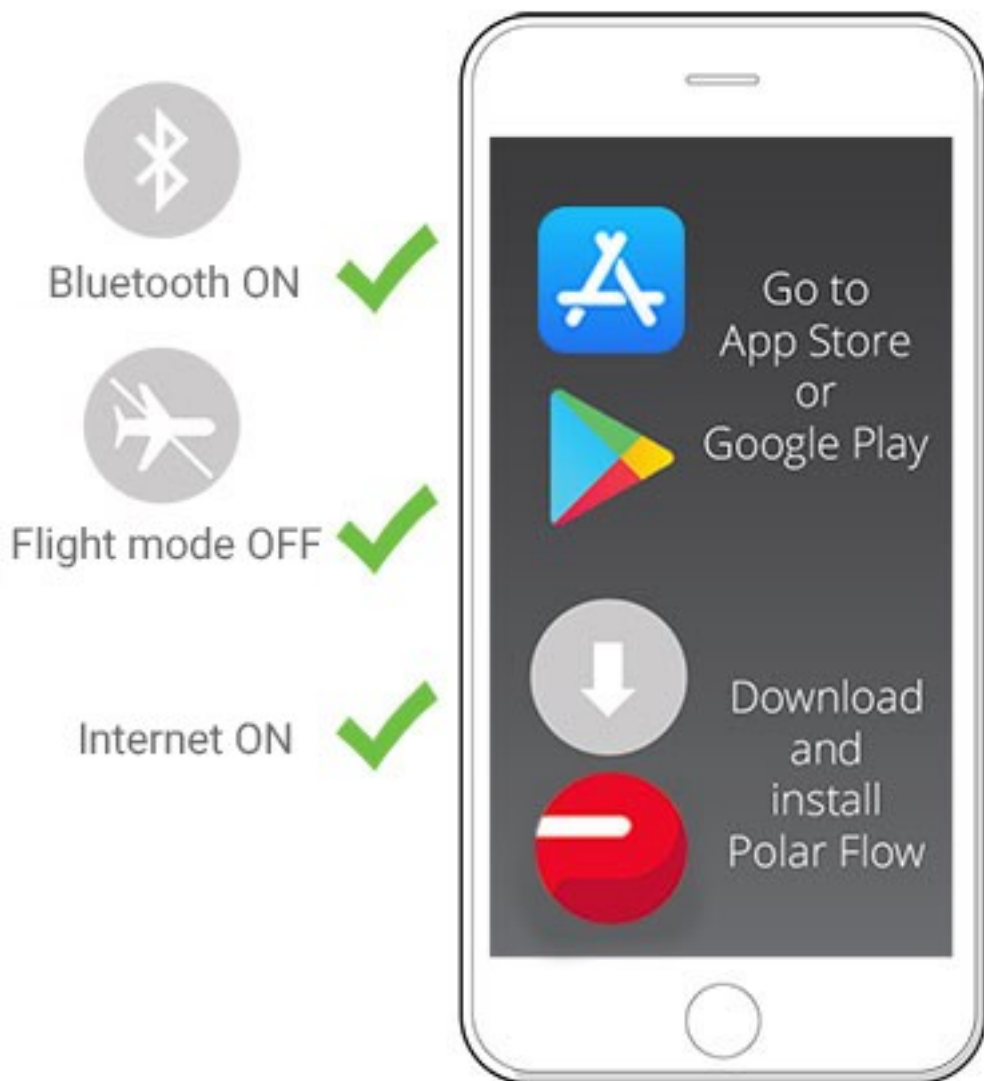
- **カウントダウンタイマー**:**タイマーの設定**からカウントダウンタイムを設定し、OKボタンを押して確定します。完了後、**開始**を選択し、OKボタンを押してカウントダウンタイマーを開始します。
- **おやすみモード**:「通知非表示」アイコンをタップして、通知非表示をオンまたはオフに切り替えます。おやすみモードがオンの時は、通知や着信アラートを受け取ることができません。またこの時、バックライト有効化ジェスチャーも作動しません。
- **フライトモード**:「フライトモード」アイコンをタップして、フライトモードをオンまたはオフに切り替えます。フライトモードは、腕時計からのすべてのワイヤレス通信を遮断します。腕時計を使用できませんが、データをPolar Flowモバイルアプリと同期したり、ワイヤレスアクセサリと共に使用したりすることはできません。

バッテリーステータスアイコンは、バッテリーの残量を表示します。

モバイルデバイスと腕時計のペアリング

モバイルデバイスと腕時計をペアリングするには、「[腕時計の設定](#)」の章で説明するように、Polar FlowウェブサービスまたはPolar Flowモバイルアプリで腕時計を設定する必要があります。モバイルデバイスを使用して腕時計を設定している場合、腕時計はすでにペアリングされています。コンピュータを使用して設定しており、腕時計をPolar Flowアプリとともに使用する場合は、以下の通り、腕時計とモバイルをペアリングしてください:

モバイルデバイスをペアリングする前に



- FlowアプリをApp StoreまたはGoogle Playからダウンロードします。
- モバイルデバイスのBluetoothがオンで、フライトモードがオフになっていることを確認します。
- **Androidユーザー:** スマートフォンのアプリケーション設定で、Polar Flowアプリの位置情報が有効になっていることを確認してください。

モバイルデバイスのペアリング:

1. モバイルデバイス上で、Polar Flowアプリを起動し、腕時計の設定時に作成したPolarアカウントでサインインします。

④ **Androidユーザー:** Polar Flowアプリに対応したPolarデバイスを複数使用している場合、Polar FlowアプリでGrit Xをアクティブなデバイスとして選択していることを確認します。これにより、Polar Flowアプリは腕時計に接続できます。Polar Flowアプリで、「デバイス」に進み、Grit Xを選択します。

- 腕時計の時刻表示モードで、BACK(左下)ボタンを長押しする、または、Settings(設定) > General settings(基本設定) > Pair and sync(ペアリングと同期) > Pair and sync phone(スマートフォンのペアリングと同期)に進み、OK(右中央)ボタンを押します。
- 「Open Flow app and bring your watch close to phone(Polar Flowアプリを開き、腕時計をスマートフォンに近づけてください)」と腕時計に表示されます。
- Bluetoothペアリング要求確認メッセージがモバイルデバイス上に表示されたら、モバイルデバイス上に表示されるコードと腕時計上に表示されるコードが一致することを確認してください。
- モバイルデバイス上でBluetoothペアリング要求を承認します。
- OK(右中央)ボタンを押して、腕時計上のpinコードを確認します。
- ペアリングが完了すると、「Pairing done(ペアリング完了)」と表示されます。

ペアリングの解除

モバイルデバイスとのペアリングを解除するには:

- Settings(設定) > General settings(基本設定) > Pair and sync(ペアリングと同期) > Paired devices(ペアリング済のデバイス)に移動し、OKボタンを押します。
- リストから解除するデバイスを選択し、OKボタンを押します。
- 「Remove pairing?(ペアリングを解除しますか?)」と表示されます。OKボタンを押して確認します。
- 完了すると、「ペアリングを解除しました」と表示されます。

ファームウェアのアップデート

腕時計を最新状態に維持し、最高性能を得るために、新しいバージョンが利用可能なときは、常に、ファームウェアを更新してください。ファームウェアをアップデートすると、腕時計の機能が向上します。アップデートには、全く新しい機能や従来の機能の改善、バグの修正などが含まれます。

① ファームウェアのアップデートにより、データが消えることはありません。アップデート開始前に、腕時計のデータはFlowウェブサービスに同期されます。

モバイルデバイスまたはタブレット経由

Polar Flowモバイルアプリを使用してトレーニング・アクティビティデータを同期している場合、モバイルデバイスからファームウェアをアップデートすることもできます。利用可能なアップデートがあると、アプリが通知し、ガイドします。アップデートがスムーズに行われるよう、アップデート開始前に腕時計を電源に接続しておくことをお勧めします。

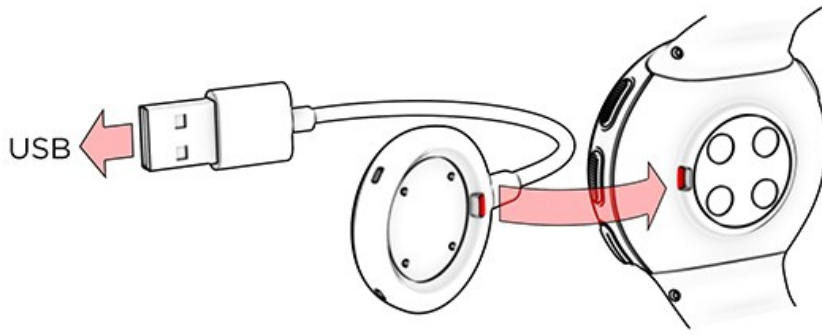
① ワイヤレスでのファームウェアアップデートには、接続環境によって最大20分かかることがあります。

コンピュータ経由

新しいファームウェアが利用可能な場合は、腕時計をコンピュータに接続時にFlowSync上で通知されます。ファームウェアの更新ファイルは、FlowSyncソフトウェア経由でダウンロードされます。

ファームウェアをアップデートする方法:

- 付属のケーブルを使用して、腕時計をパソコンに接続します。ケーブルが所定の位置に収まることを確認します。ケーブルを腕時計の裏側に位置を合わせ(赤色でマークした箇所)接続してください。



2. FlowSyncが、データの同期を開始します。
3. 同期の終了後、ファームウェアのアップデート実行について確認されます。
4. 「はい」を選択します。新しいファームウェアがインストールされ(最大10分かかる場合があります)、腕時計が再起動します。腕時計をコンピュータから取り外す前にファームウェアのアップデートが完了するまで待ちます。

設定

基本設定	26
ペアリングと同期	27
バイク設定	27
継続的心拍計測	27
フライトモード	27
バックライトの明るさ	27
通知非表示	27
スマート通知	28
単位	28
言語	28
低活動アラート	28
振動	28
腕時計をつけるのは	28
衛星位置情報	28
腕時計について	29
表示を選択	29
文字盤表示	29
時刻と日付	29
時刻	29
日付	29
日付形式	29
週のスタート日	30
個人設定	30
体重	30
身長	30
生年月日	30
性別	30
トレーニング頻度	30
活動目標	31
希望する睡眠時間	31
最大心拍数	31
安静時の心拍数	31
VO2max	32
アイコン表示	32
再起動とリセット	33
腕時計を再起動する	33
腕時計を工場出荷時の設定にリセットする	33

基本設定

基本設定の表示および変更は、**Settings(設定) > General settings(基本設定)** に進みます。

基本設定には以下の項目があります。

- ペアリングと同期
- バイク設定 (サイクリングセンサーと腕時計がペアリングされている場合のみ表示されます)
- 継続的心拍計測
- フライトモード
- バックライトの明るさ
- 通知非表示
- スマート通知

- 単位
- 言語
- 低活動アラート
- 振動
- 腕時計をつけるのは
- 衛星位置情報
- 腕時計について

ペアリングと同期

- **スマートフォンとペアリング・同期する/センサーまたは他のデバイスとペアリングする:** センサーまたはモバイルデバイスを腕時計とペアリングします。Polar Flowアプリとデータを同期します。
- **ペアリング済みのデバイス:** 腕時計とペアリング済みのすべてのデバイスを表示します。これらには、心拍センサー、ランニングセンサー、サイクリングセンサー、モバイルデバイスが含まれます。

バイク設定

① バイク設定は、サイクリングセンサーと腕時計がペアリングされている場合のみ表示されます。

- **ホイールサイズ:** ホイールサイズ(mm)を設定します。ホイールサイズ測定の手順については、[「センサーと腕時計をペアリングする」](#)を参照してください。
- **クランク長:** クランクの長さ(mm)を設定します。この設定は、パワーセンサーとペアリングしている場合のみ表示されます。
- **使用中のセンサー:** バイクにリンク済みの全てのセンサーが表示されます。

継続的心拍計測

継続的な心拍計測機能を「オン」、「オフ」または「夜間のみ」に切り替えます。夜間のみを選択する場合、最も早い就寝時刻で開始するように心拍数計測をセットします。

詳細については、[「継続的心拍計測」](#)でご確認ください。

フライトモード

「オン」または「オフ」を選択します。

フライトモードは、腕時計からのすべてのワイヤレス通信を遮断します。腕時計を使用できますが、データをPolar Flowモバイルアプリと同期したり、ワイヤレスアクセサリと共に使用したりすることはできません。

バックライトの明るさ

「とても明るい」、「明るい」、「やや明るい」の明るさの選択は、ライトボタンでのみ設定できます。ここで調整できるのは、手首の動作でつけた時、またランダムにボタンを押した時のバックライトの明るさを意味します。LIGHT(左上)ボタンを押したときのバックライトの明るさは、変更できません。

通知非表示

オフ、オンを選択 またはオン(-)を選択します。通知非表示設定をオンにする時間帯を設定開始時間と終了時間を選択します。設定がオンの時は、通知や着信アラートを受け取ることができません。バックライト有効化ジェスチャーやサウンドも無効になります。

スマート通知

スマート通知設定をオフまたは(トレーニング時間外は)オン。トレーニングセッション中は通知を受け取ることができませんのでご注意ください。

単位

メートル法 (kg, cm) またはヤードポンド法 (lb, ft) を選択します。体重、身長、距離、スピードを表示する単位を設定します。温度は、メートル単位の場合は摂氏 (°C)、インペリアル単位の場合は華氏 (°F) で表示されます。

言語

腕時計で使用する言語を選択できます。腕時計は以下の言語をサポートしています: Bahasa Indonesia(インドネシア語)、Čeština(チェコ語)、Dansk(デンマーク語)、Eesti(エストニア語)、Deutsch(ドイツ語)、English(英語)、Español(スペイン語)、Français(フランス語)、Italiano(イタリア語)、日本語、Magyar(ハンガリー語)、Nederlands(オランダ語)、Norsk(ノルウェー語)、Polski(ポーランド語)、Português(ポルトガル語)、Русский(ロシア語)、Slovenščina(スロベニア語)、Suomi(フィンランド語)、Svenska(スウェーデン語) または Türkçe(トルコ語)。

低活動アラート

低活動アラートを「オン」または「オフ」に設定します。

振動

振動の設定は、メニュー項目を下にスクロールしオンまたはオフを選択します。

腕時計をつけるのは

左手首または右手首を選択します。

衛星位置情報

GPSに加え、腕時計上の衛星ナビゲーションシステムの変更を行うことができます。この設定は、腕時計の一般設定 > 衛星位置情報 から実行できます。GPS+ GLONASS、GPS+GalileoさらにGPS+ QZSSの中から選択できます。デフォルトはGPS + GLONASSに設定されています。これにより、異なるタイプの衛星ナビゲーションシステムを試すことができ、各システムの圏内において、より良く機能するのはどのシステムかを検出することが可能になります。

GPS + GLONASS

GLONASS はロシアが開発した全地球航法衛星システムです。この3種の中でもとりわけ視認性と信頼性に優れていることから当社でもこのシステムを推奨しており、デフォルト設定にも使われています。

GPS + Galileo

Galileo は欧州連合が開発した全地球航法衛星システムです。まだその機能は構築途中であり、2020年末には完成を予定しています。

GPS + QZSS

QZSS は、4機の衛星群からなる地域別タイムトランスファー機能と衛星航法補強システムにより、日本を中心としたアジアオセアニア地域のGPS性能を補助するために開発されたシステムです。

腕時計について

腕時計のデバイスID、ファームウェアバージョン、ハードウェアモデルやA-GPS(補助GPS)の有効期限、Grit X固有の規制関連のラベルを確認できます。腕時計を再起動しオフにするか、全てのデータと設定内容をリセットします。

再起動:何か問題が発生した場合、腕時計を再起動してください。腕時計を再起動しても、設定または個人データが腕時計から削除されることはありません。

オフにする:腕時計をオフにして下さい。再度オンするにはOKボタンを長押しします。

全データと設定をリセット:腕時計を工場出荷時の設定にリセットします。腕時計の全てのデータと設定内容が消去されます。

表示を選択

腕時計の画面表示は、時刻の他にも様々な情報を提供します。今すぐ役立つ最新情報を、腕時計の文字盤上でチェックすることができます。時刻表示画面の文字盤レイアウトを選ぶことも可能です。

設定 > 表示を選択に進み、**時刻のみ**、**毎日のアクティビティ**、**カーディオ負荷ステータス**、**現在の心拍数**、**最新のトレーニングセッション**、**Nightly Recharge**、**FitSparkトレーニングガイド**、**天候**、**週間サマリー**、**ユーザーの名前**、**音楽コントロール**から選択できます。

画面表示を左右にスワイプ、または、UP(右上)ボタン/DOWN(右下)ボタンでスクロールして操作します。ディスプレイを押すか、OKボタンを押すと、さらに詳しい内容を見ることができます。

文字盤表示

デジタルまたは**アナログ**表示を選択します。次に表示スタイルを選択します。**デジタル**表示では、**シンメトリー**、**中央に分表示**、**小文字の秒表示**の選択オプションがあります。**アナログ**表示では、**クラシック**、**アールデコ**または**ロリポップ**の選択オプションがあります。

また、文字盤のテーマカラーも選べます。テーマカラーの種類は、レッド、オレンジ、イエロー、グリーン、ブルー、パープル、ピンクです。

④注) デジタル表示でシンメトリーを選んだ場合は、カラーの変更はできません。

時刻と日付

時刻と日付の設定を閲覧・変更するには、**設定 > 時刻と日付**に進みます。

時刻

時刻表示形式をセットします:**24時間**または**12時間**を選択、その後時刻を設定します。

④ Polar FlowアプリおよびPolar Flowウェブサービスと同期の際は、それらサービスから時刻が自動的に更新されます。

日付

日付をセットします。

日付形式

日付形式を**月/日/年**、**日/月/年**、**年/月/日**、**日-月-年**、**年-月-日**、**日.月.年**または**年.月.日**から選択できます。

④ Polar FlowアプリおよびPolar Flowウェブサービスと同期の際は、そのサービスから日付が自動的に更新されます。

週のスタート日

週の開始日を選択する。月曜日、土曜日または日曜日を選択します。

① Polar FlowアプリおよびPolar Flowウェブサービスと同期の際は、そのサービスから週の開始日が自動的に更新されます。

個人設定

個人設定を表示、変更する場合は、**設定 > 個人設定**を選択します。個人設定は正確であることが重要です。体重、身長、生年月日および性別は、心拍ゾーンリミット やカロリー消費量などの測定精度に影響を与えるため、正しく設定する必要があります。

個人設定には以下の項目が含まれます。

- 体重
- 身長
- 生年月日
- 性別
- トレーニング頻度
- 活動目標
- 希望する睡眠時間
- 最大心拍数
- 安静時の心拍数
- VO_{2max}

体重

体重をキログラム(kg)またはポンド(lbs)で設定します。

身長

身長をセンチメートル(cm)またはフィートおよびインチ(ヤードポンド法の場合)で設定します。

生年月日

生年月日を設定します。日付の順番は、選択した時間および日付表示モード(24h:日-月-年/12h:月-日-年)。

性別

男性または女性を選択します。

トレーニング頻度

トレーニング背景は、あなたの長期的な身体活動レベルの評価です。過去3カ月間の、身体的活動量と強度を最も良く説明している選択肢を選択します。

- **時々(0-1 h/週)**: ごくまれにしか、激しい呼吸や発汗を伴う運動などの身体的活動を行わない。
- **普通(1-3 h/週)**: 週に5~10 km(3~6マイル)走る、またはそれに匹敵する身体的活動を週1~3時間など、定期的なスポーツをしている。または、仕事上で適度な身体的活動を行っている。
- **頻繁(3-5 h/週)**: 週に20~50 km(12~31マイル)走るか、週に3回以上ハードな運動を行なう。またはそれに匹敵する身体的活動を週3~5時間している。

- **非常に頻繁(5-8 h/週)**: 週に5回以上ハードな運動をするか、競技でパフォーマンスを向上させるための運動を行う。
- **セミプロレベル(8-12 h/週)**: ほとんど毎日、強度の高い身体的運動を行い、競技のパフォーマンスを向上させるための運動をする。
- **プロレベル(12 + h/週)**: あなたは、耐久能力を持つアスリートです。競技でのパフォーマンス向上のために強度の高い身体的運動を行う。

活動目標

日常活動目標は、日々の生活における実際の活動量を把握する良い方法です。3つの選択肢から典型的な活動レベルを選択することで、日常活動目標の達成に必要な活動量を知ることができます。

日常活動目標の達成に必要な時間は、選択したレベルと活動強度で決まります。また、年齢と性別により、日常活動目標の達成に必要な強度も異なります。

レベル1

運動をあまりせず、座って過ごすことが多く、自動車や交通機関を利用して通勤するといった生活を送られている場合、このアクティビティレベルを選択されることをお勧めします。

レベル2

職種により、または日常の仕事などで動き回ることが多い場合、このアクティビティレベルが適切です。

レベル3

肉体的にきつい仕事、スポーツをしている、または活動的に過ごすことが多い場合は、このアクティビティレベルが最適です。

希望する睡眠時間

どの程度の睡眠時間を確保するか**自分が望む最適睡眠時間**を設定します。デフォルトでは、あなたの年齢層の平均的な推奨値に設定されています(18歳から64歳までの大人の場合は8時間)。8時間の睡眠があまりにも少なすぎると感じたら、個人のニーズに合わせて自分が望む最適睡眠時間を調整することをお勧めします。これを行うことにより、自分が望む最適睡眠時間に比べてどのくらいの睡眠をとったかについて正確なフィードバックが得られます。

最大心拍数

あなたの現在の最大心拍数が分かる場合は、最大心拍数を入力します。最初にこの値を設定する際には、デフォルト値として年齢から推定される最大心拍数(220-年齢)が表示されます。

HR_{max} (最大心拍数)は、エネルギー消費量を推定するために使用されます。 HR_{max} は、トレーニング中の1分間の最大心拍数を意味します。あなた個人の HR_{max} を判定する最も正確な方法は、医療機関における運動負荷試験の実施です。 HR_{max} はまた、トレーニング強度を決定する際にも重要です。個人差があり、年齢、先天的要因も影響します。

安静時の心拍数

安静時の心拍数とは、完全にリラックスした状態で測定される1分間の最低心拍数(bpm)です。年齢、フィットネスレベル、遺伝、健康状態、性別は、安静時の心拍数に影響します。大人の典型的な値は55~75 bpmですが、非常にフィットネスレベルが高い場合など、安静時の心拍数はそれよりも大幅に低くなる可能性があります。

目を覚ました直後に、よく眠った後の朝に安静時の心拍数を測定することが最善です。リラックスするために、トイレにいてもかまいません。測定までに激しいトレーニングをしないようにしてください。また、アクティビティから完全に回復していることを確認してください。連続した朝に測定を2回以上行い、安静時の平均心拍数を計算することが望ましいです。

安静時の心拍数を測定するには:

1. 腕時計を装着します。仰向けに寝て、リラックスします。
2. 約1分後、ウェアラブルでトレーニングセッションを開始します。任意のスポーツプロファイルを選択します(例: Other indoor (屋内その他))。
3. 横になったままで、静かに3〜5分間呼吸します。測定中はトレーニングデータを見ないようにしてください。
4. Polarデバイスでトレーニングセッションを停止します。ウェアラブルをPolar FlowアプリケーションまたはWebサービスと同期させ、最小最小心拍数心拍数 (HR min) の値についてトレーニング概要を確認してください。これが安静時の心拍数です。Polar Flowの個人設定で、安静時の心拍数を更新します。

VO₂MAX

VO₂maxを設定します。

VO₂max(最大酸素摂取量、最大有酸素パワー)は、最大限の運動の際、身体が利用できる酸素の最大量です。これは心臓が筋肉に対して血液を供給できる最大能力に直接関係しています。VO₂maxは、フィットネステストにより測定または推測できます(例:最大運動テスト、最大下運動テストなど)。また、VO₂maxの概算である[ランニングインデックス](#)スコアを使用できます。

アイコン表示



[フライトモード](#)が「オン」に設定されています。フライトモードが有効な状態では、腕時計のワイヤレス通信機能は使用できません。従ってPolar Flow モバイルアプリへの同期や、他のワイヤレスアクセサリとの連動ができません。



[通知非表示](#)が「オン」に設定されています。通知非表示が有効な状態では、通知やコールの着信があっても腕時計は振動しません(この状態でも、ディスプレイ画面の左下に赤い点で表示はされます)。またこの時、バックライト有効化ジェスチャーも作動しません。

通知非表示が有効な状態では、通知やコールの着信があっても腕時計は振動しません(この状態でも、ディスプレイ画面の下に赤い点で表示はされます)。またこの時、バックライト有効化ジェスチャーも作動しません。



アラームがセットされています。アラームの設定は、[クイック設定メニュー](#)から実行してください。



ペアリング済みのスマートフォンの接続が切断されました。通知機能およびまたは音楽コントロールはオンに設定されています。スマートフォンが腕時計のBluetooth電波圏内にあること、またスマートフォン上でBluetoothが有効になっていることを確認してください。



ボタンロックが「オン」に設定されています。ボタンロックを解除するには、LIGHT(左上)ボタンを長押ししてください。

再起動とリセット

何か問題が発生した場合、まず腕時計を再起動してください。腕時計を再起動しても、設定または個人データが腕時計から削除されることはありません。

腕時計を再起動する

1. 腕時計のBACK(左下)ボタンを押し、設定 > 基本設定 > この腕時計についてを選びます。
2. 一番下までスクロールし腕時計を再起動するを選びます。

腕時計を工場出荷時の設定にリセットする

腕時計の再起動により問題が解決しない場合は、腕時計を工場出荷時の設定にリセットできます。リセットによりすべての個人データと設定が腕時計から削除され、自分に合わせて再設定する必要があることに注意してください。腕時計からFlowアカウントに同期されたデータはすべて安全です。

腕時計から工場出荷時の設定にリセットする

1. 腕時計のBACK(左下)ボタンを押し、設定 > 基本設定 > この腕時計についてを選びます。
2. 一番下までスクロールし、全データと設定をリセットを選択します。

FLOWSYNCソフトウェアから工場出荷時の設定にリセットする

1. flow.polar.com/start にアクセスして、Polar FlowSync データ転送ソフトウェアをコンピュータにダウンロードして、インストールします。
2. 腕時計をコンピュータのUSBポートにケーブルで接続します。
3. FlowSyncで設定を開きます。
4. 「工場出荷時設定にリセット」ボタンを選びます。
5. Polar Flowアプリで同期する際、スマートフォンでペアリング済みBluetoothデバイスのリストを確認し、使用中のウォッチがリスト内にある場合は、削除してください。

工場出荷時の設定にリセットしたら、モバイルまたはコンピュータで再び腕時計を **設定する** 必要があります。設定には、リセットする前に使用していたものと同じPolarアカウントを使用するようにしてください。

トレーニング

手首型心拍計測	34
手首での心拍数計測を行う際の腕時計の装着方法	34
手首での心拍数測定を行うときに腕時計を装着する	35
トレーニングセッションの開始	35
計画済みのトレーニングセッションの開始	36
マルチスポーツトレーニングセッションの開始	36
クイックメニュー	37
トレーニング中	40
トレーニングビューの表示項目を変更する	40
タイマー設定	42
心拍数、スピード、パワーゾーンのロック	43
ラップを取る	44
マルチスポーツセッション中にスポーツを切り替える	44
目標のあるトレーニング	44
トレーニングセッションの一時停止/停止	45
トレーニングサマリー	46
トレーニング後	46
Polar Flowアプリのトレーニングデータ	50
Polar Flowウェブサービスのトレーニングデータ	50

手首型心拍計測

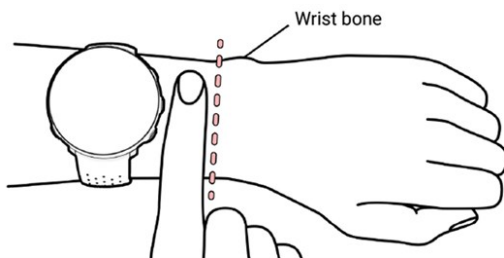
お使いの腕時計は、**Polar Precision Prime™** センサー融合技術を使用して手首から心拍数を自動的に測定します。この新しい心拍数の革新は、光学式心拍数測定と皮膚接触測定とを組み合わせ、心拍信号への妨害を排除します。最も厳しい条件やトレーニングセッションでも正確に心拍数を計測します。

運動時の身体の状態を把握できる自覚症状(運動負荷の認識、呼吸の速さ、身体的感覚)は多くありますが、そのどれよりも、心拍数の測定は信頼性があるものです。客観的で、かつ体内および体外の両方からの要因の影響を反映するので、身体の状態を把握する信頼性のある計測値であるといえます。

手首での心拍数計測を行う際の腕時計の装着方法

トレーニング中(および**継続的な心拍計測機能**を使用中)に、正確に手首での心拍計測を実行するためには、腕時計を正しい方法で装着してください:

- 手首の上に腕時計を装着します。手首の骨の上、指1本分以上の幅を持たせてください(下図参照)。
- リストバンドを手首周りにきつく締めます。センサーの後面は、常にあなたの皮膚と接触している必要があります。また、腕時計は動かないようぴったりと装着されていなければなりません。リストバンドが緩みすぎているかどうかを確認する良い方法は、腕の両側からリストバンドを軽く押し上げて、センサーが肌から離れないことを確認することです。リストバンドを押し上げた時にセンサーのLEDライトが点いたら、正しく装着されていないということです。
- 心拍数計測の正確性を高めるため、心拍数測定の数分前から腕時計を装着することをおすすめします。手先や肌が冷えやすい方は、肌をあたためておくといいでしょう。トレーニングセッション開始前に血行を良くしておきましょう!



① 手首にタトゥーなどがある場合、その場所では正確に読み取れない場合があるため、ない場所にセンサーを装着してください。

手首上でセンサーを固定することが難しい、またはセンサーの近くの筋肉または腱を動かすことの多いスポーツの場合は、より正確に心拍数を測定するために、トレーニング中にチェストストラップ付きのPolar心拍センサーを使用することが推奨されます。ご利用の腕時計は、Polar H10などのBluetooth®心拍センサーと互換性があります。Polar H10心拍センサーは、心拍数の急激な上昇または下降に反応しますので、クイックスプリントを伴うインターバルタイプのトレーニングのための理想的な選択肢です。

① 手首での心拍計測の最高性能を維持するには、腕時計を清潔に維持し、傷を防いでください。汗をかいたトレーニングセッション後は、腕時計を低刺激石鹸と水溶液で洗い、流水ですすぐことが推奨されます。そして、柔らかいタオルで乾かします。充電する前には完全に乾かしてください。

手首での心拍数測定を行うときに腕時計を装着する

リストストラップを少し緩めて、余裕をもたせ、肌が空気に触れるようにしてください。通常の腕時計と同様に腕時計を装着します。

② 時々、手首を空気に触れさせることをおすすめします。特に肌が敏感な方には重要です。腕時計を取り外して充電します。これにより、肌も腕時計も休むことができ、次のトレーニングイベントに備えることができます。

トレーニングセッションの開始

1. **腕時計を装着し**、リストバンドを締めます。
2. 時刻表示画面でOK(右中央)ボタンを長押し、またはBACK(左下)ボタンを押して、プレトレーニングモードに入ります。次に、**トレーニングを開始**を選択します。



プレトレーニングモードから、クイックメニューにLIGHT(左上)ボタンでアクセスできます。クイックメニューに表示されるオプションは、選択したスポーツ種目や、GPSを使用しているかどうか、などで項目内容が変わります。


例えば、あなたが一番に達成したいトレーニング目標を選択し、トレーニングビューにタイマーを追加することもできます。パワーセーブオプションはここからも設定できます。詳細については、[クイックメニュー](#)をご確認ください。

選択が完了すると、ウォッチの表示はプレトレーニングモードに戻ります。

3. あなたが優先的に選択したスポーツを閲覧します。
4. トレーニングデータを正確に記録するために、腕時計がGPS衛星シグナル(選択したスポーツで使われている場合)と心拍数を検出するまで、プレトレーニングモードのまま待機して下さい。GPS衛星シグナルを受信するには、屋外の高い建物や木から離れた場所に移動してください。腕時計のディスプレイ画面を上向きの状態に静止して待ちます。GPS衛星シグナル待機中は、腕時計に触れないでください。

① オプションのBluetoothセンサーと腕時計をペアリングした場合、腕時計はセンサー信号の検索も自動的に開始します。



現在の設定では~38時間  の概算トレーニング時間です。パワーセーブ設定を使用することにより、概算トレーニング時間を延ばすことができます。



GPS機能を有効化するために必要最低限のサテライトシグナル(4)を検知すると、GPSアイコンのまわりのサークルがオレンジに変わります。トレーニングセッションをすぐ開始できますが、より精度を上げるには、サークルの色がグリーンに変わるのをお待ち下さい。



十分な精度で作動するために必要なレベルの衛星信号を検知すると、GPSアイコンのまわりのサークルがグリーンに変わります。ウォッチのアラーム音とバイブレーションで検知したことを通知します。



腕時計が心拍を検出すると、あなたの心拍数が表示されます。



腕時計とペアリングされたPolar心拍センサーの装着時は、トレーニングセッションの間、センサーが自動的に心拍数を測定します。心拍数の記号の周りの青色の円は、腕時計が心拍数測定のために接続されたセンサーを使用していることを示します。

5. 全ての信号が検出されたら、OK(右中央)ボタンを押して、トレーニングの記録を開始します。

トレーニング中に腕時計で利用できる機能については、[トレーニング中](#)でご確認ください。

計画済みのトレーニングセッションの開始

Polar FlowアプリまたはPolar Flowウェブサービスでトレーニングを計画したり、[トレーニング目標の詳細を作成](#)したりできます。その内容を腕時計に同期します。

その日に計画したトレーニングセッションを開始するには:

1. OK(右中央)ボタンを長押しして、プレトレーニングモードに入ります。
2. その日に計画されたトレーニング目標に向けて開始するよう促されます。



3. OK(右中央)ボタンを押して、目標情報を表示します。
4. OK(右中央)ボタンを押して、プレトレーニングモードに戻り、使用するスポーツプロファイルを選択します。
5. 腕時計がすべての信号を検知したら、OK(右中央)ボタンを押します。「記録を開始しました」と表示されたら、トレーニングを開始します。

目標に合わせ、腕時計がトレーニング中の目標達成をサポートします。詳細については、[トレーニング中](#)でご確認ください。



計画したトレーニング目標は、[FitSpark](#)トレーニング提案にも含まれます。

マルチスポーツトレーニングセッションの開始

マルチスポーツにより、複数のスポーツを1つのトレーニングセッションに組み込むことができ、トレーニングの記録を中断することなくスポーツをシームレスに切り替えることができます。マルチスポーツトレーニングセッション中に、スポーツ間の移行時間が自動的にモニタリングされ、あるスポーツから別のスポーツに移行するのに要した時間を確認することができます。

マルチスポーツトレーニングセッションを実行するには、固定マルチスポーツとフリーマルチスポーツの2つの方法があります。トライアスロンのような固定マルチスポーツ(Polarスポーツリストのマルチスポーツプロファイル)では、スポーツの順序は決定されており、特定の順序で実行されなければなりません。フリーマルチスポーツでは、スポーツリストからスポーツを選択して、実行するスポーツと実行する順番を選択できます。異なるスポーツの間を行き来することもできます。

マルチスポーツトレーニングセッションを開始する前に、トレーニングセッションに使用する各スポーツのスポーツプロファイル設定が完了していることを確認して下さい。詳細については、[Flowのスポーツプロファイル](#)でご確認ください。

1. BACK(左下)ボタンを押して、メインメニューに入り、**トレーニングを開始**を選択し、次に、スポーツプロファイルを閲覧します。トライアスロン、フリーマルチスポーツ、またはその他のマルチスポーツプロファイルを選択します(Polar Flowウェブサービスで追加できます)。
2. 腕時計がすべての信号を検知したら、OK(右中央)ボタンを押します。「**記録を開始しました**」と表示されたら、トレーニングを開始します。
3. スポーツを変更するには、BACK(左下)ボタンを押して、移行モードに進みます。
4. 次のスポーツを選択し、OK(右中央)ボタンを押し(移行時間が表示されます)、トレーニングを続行します。

クイックメニュー

トレーニングセッション中に一時停止した場合や、マルチスポーツセッションで移行モードにある時には、プレトレーニングモードから、クイックメニューにアクセスできます。プレトレーニングモードでは、アイコンをタップするか、LIGHT(左上)ボタンでアクセスできます。停止画面、移行モードでは、LIGHT(左上)ボタンでのみアクセスできます。



クイックメニューに表示されるオプションは、選択したスポーツ種目や、GPSを使用しているかどうか、などで項目内容が変わります。



パワーセーブ設定：

パワーセーブ設定では、**GPS記録間隔**を変更し、**手首での心拍計測**をオフに設定し、**スクリーンセーバー**を使用することによりトレーニング時間を延ばすことができます。これらの設定でバッテリーの使用を最適化でき、非常に長時間のセッションやバッテリーが少ない状態で動作しているときにトレーニング時間が多く取れるようになります。

詳細については、[パワーセーブ設定](#)をご確認ください



バックライト：

バックライト常時オン機能を「**オン**」または「**オフ**」に設定します。常にオンを選択すると、腕時計のディスプレイは、トレーニングセッションを通して照らされます。トレーニングセッションを終了すると、バックライトの設定は、デフォルトで**オフ**に戻ります。常にオンを設定すると、デフォルト設定よりも早く電池が消耗することに留意してください。



他のデバイスで心拍数を共有

心拍センサーモードを使えば、腕時計が心拍センサーに早変わり。トレーニングアプリやジム機器、サイクリングコンピューターなどのBluetoothデバイスで心拍数データを共有することもできます。

詳細については、[HR-sensor-mode.htm](#)をご確認ください。



コンパスの校正；

コンパスの校正は、表示された指示に従ってください。



トレーニングアドバイス：

トレーニングアドバイス画面には、毎日の [FitSpark](#) トレーニングアドバイスが表示されます。



プールの長さ：

スイミングプールスイミングプロフィールを使用する時、ペース、距離、ストローク数の計算、またSWOLFスコアの算出に影響を及ぼすため、正確なプールの長さを選択することが重要となります。OKボタンを押して **プールの長さ** 設定を選択し、必要であれば前に入力したプールの長さを変更してください。デフォルトの長さは、25メートル、50メートル、25ヤードですが、手動で長さを設定することもできます。設定できる最短の長さは、20メートル/ヤードです。

① プールの長さは、クイックメニューのプレトレーニングモードでのみ、設定が可能です。



パワーセンサーの校正：

第三者メーカーのサイクリングパワーセンサーを、あなたのウォッチにペアリングさせた場合は、クイックメニューからセンサーの校正ができます。まずサイクリングスポーツプロフィールのいずれかを選択し、クランクを回転させてトランスミッターを起動します。次にクイックメニューから **パワーセンサーの校正** を選択し、画面の指示に従ってセンサーを校正します。お使いのパワーセンサーによって異なる調整の手順内容については、メーカーの説明書をご確認ください。

① 腕時計とパワーセンサーをペアリングしている場合のみこのオプションは表示されます。



ストライドセンサーの校正：

Bluetooth対応のストライドセンサーをご使用の腕時計にペアリングさせた場合は、クイックメニューからセンサーの校正ができます。クイックメニューから手動でストライドセンサーを校正する方法は2つあります。ランニングスポーツプロフィールを選択して、「**ストライドセンサーの校正**」>「**ランニングの校正**」または「**校正内容**」の順に選択します。

- **ランニングの校正**：トレーニングセッションを開始して、設定した距離を走ります。距離は400m以上にしてください。その距離を走り終わったら、OKボタンを押してラップを取ります。実際に走った距離を設定し、OKボタンを押します。校正内容が更新されます。
 - ① **インターバルタイマー**は校正中に使用できませんのでご注意ください。インターバルタイマーをオンに設定している場合、腕時計がストライドセンサーの手動校正を有効にするためオフにするか確認します。校正後、一時停止モードのクイックメニューからタイマーをオンにすることができます。
- **校正内容**：内容で正確な距離が分かる場合、手動で校正内容を設定します。

マニュアルおよび自動校正の詳細については、[「Grit X/Vantage V/Vantage Mを使ってストライドセンサーを校正する」](#)を確認してください。

① 腕時計とストライドセンサーをペアリングしている場合のみこのオプションは表示されます。



お気に入り:

お気に入り画面で、Flowウェブサービスでお気に入りとして保存したトレーニング目標を確認でき、またあなたの腕時計に同期させることができます。あなたが一番に達成したいトレーニング目標を選択しましょう。選択が完了すると、腕時計の表示はトレーニングセッションの開始画面であるプレトレーニングモードに戻ります。

詳細については、[お気に入り](#)でご確認ください。



レースペース:

レースペース機能は、定距離に対して安定したペースを維持し、目標タイムを達成できるよう、あなたをガイドします。目標タイムと距離を定め(例えば10Kを45分で走る、など)、その設定目標に対してどれだけ差が生じるかをチェックします。また目標を達成するために最適なペース/スピードを把握できます。

腕時計でレースペースの設定を実行できます。距離と目標とする時間を選択すれば、準備完了です。Flowウェブサービスまたはアプリでも、同様にレースペースを設定することが可能です。

詳しくは、こちらをご確認ください:[レースペース](#)。



インターバルタイマー:

インターバルトレーニングセッションでの、運動と回復のフェーズを正確に記録するために、時間および/または距離に基づいたインターバルタイマーを設定することができます。

トレーニングセッションのトレーニングビューにインターバルタイマーを追加するには、**セッション用タイマー**> ON で設定します。前に設定したタイマーを使うことも、または新規のタイマーを、クイックメニューから **インターバルタイマー**> **インターバルタイマー設定** で選択することもできます。

1. **基準:タイマー**または**基準:距離**のどちらかを選択します。**基準:タイマー**タイマーの分と秒を設定し、OKボタンを押します。**基準:距離**タイマーの距離を設定し、OKボタンを押します。**他のタイマーをセットしますか**と表示されます。他のタイマーをセットする場合は、OKボタンを押します。
2. 完了すると、腕時計の表示はトレーニングセッションの開始画面であるプレトレーニングモードに戻ります。トレーニングセッション開始と共にタイマーも開始します。

詳細については、[トレーニング中](#)でご確認ください。



カウントダウンタイマー:

トレーニングセッションのトレーニングビューへのカウントダウンタイマーの追加は、**セッション用タイマー**> ON で設定します。前に設定したタイマーを使うことも、または新規のタイマーを、クイックメニューから **カウントダウンタイマー**> **タイマーをセット** で選択することもできます。カウントダウンタイムを設定し、OKボタンを押して確定します。完了すると、腕時計の表示はトレーニングセッションの開始画面であるプレトレーニングモードに戻ります。トレーニングセッション開始と共にタイマーも開始します。

詳細については、[トレーニング中](#)でご確認ください。



ルート:

ルート から、Flowウェブサービスのエクスプロアビュー画面でお気に入りとして保存したルート、またはトレーニングセッションの分析ビュー画面でウォッチに同期させたルートを確認できます。Komootルートもここにあります。

リストからルートを選択し、希望するルートの開始地点を選択します:**スタートポイント** (元の方向)、**中間ルート** (元の方向)、**終着点から折り返し**、または **中間ルートから折り返し**。

詳細については、[ルートガイダンス](#)をご確認ください。

④「ルート」機能は、クイックメニューのプレトレーニングモードの、スポーツプロフィールでGPSがオンに設定されている場合にのみ利用可能です。



スタート地点に戻る:

「スタート地点に戻る」機能では、トレーニングセッションのスタート地点にあなたをガイドします。スタート地点に戻るの表示を実行中のトレーニングセッションのトレーニングビューに追加するには、スタート地点に戻るをオンに設定してOKボタンを押します。

詳細については、[スタート地点に戻る](#)をご確認ください。

④「スタート地点に戻る」機能は、スポーツプロフィールでGPSがオンに設定されている場合にのみ有効です。

トレーニングセッションのトレーニング目標を選択すると、クイックメニューの中のお気に入りとルート オプションは無効になります。各トレーニングセッションでは、目標はそれぞれ1つのみ選択が可能です。また、トレーニングセッションのルートを指定すると、クイックメニューのスタート地点に戻る機能は無効になります。これは、ルートとスタート地点に戻る機能は、同時に選択することができない為です。目標を変更するには、無効になっているオプションを選択します。目標/ルートの変更をするかどうか、メッセージが表示されます。OKボタンで確定し、他の目標を選択します。

トレーニング中

トレーニングビューの表示項目を変更する

トレーニング中、右上/右下ボタンでトレーニングビューを変更できます。利用可能なトレーニングビューとトレーニングビューで表示される情報は、選択したスポーツと選択したスポーツプロフィールの編集により異なります。

Polar FlowアプリとPolar Flowウェブサービスでスポーツプロフィールを腕時計に追加し、各スポーツプロフィールの設定を定義することができます。スポーツごとにカスタマイズされたトレーニングビューを作成し、トレーニングセッション中にどのデータをフォローしたいかを選ぶことができます。詳細については、[「Flowのスポーツプロフィール」](#)をご確認ください。

例えば、トレーニングビューに次の情報を含めることができます:



心拍数と心拍数ZonePointer

距離

トレーニング時間

ペース/速度



心拍数と心拍数ZonePointer

トレーニング時間

カロリー



上昇

現在の高度(「OK」ボタンを押して高度を手動で校正)

下降



現在のセグメントの距離(平ら、上り、または下り)

上昇/下降

スピード/ペース

上り/下りカウント



あなたの方角

方位



最大心拍数

心拍数グラフと現在の心拍数

平均心拍数



最大パワー

パワーグラフと現在のパワー

平均パワー

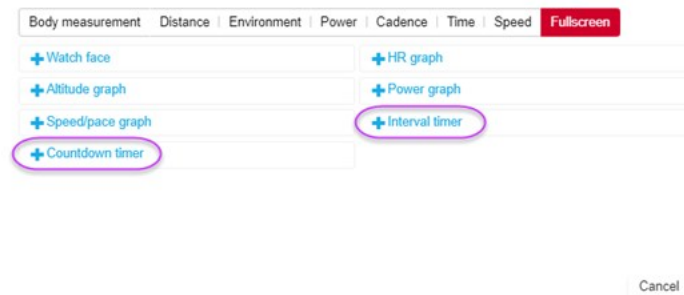


時刻

時間

タイマー設定

トレーニング中のタイマー使用を開始する前に、トレーニングビューにタイマーを追加する必要があります。[クイックメニュー](#)から現在進行中のトレーニングセッションのタイマービューを設定するか、Flow ウェブサービス スポーツプロファイルの、スポーツプロファイルトレーニングビュー画面でタイマーを追加し、あなたのウォッチに設定を同期させて下さい。



詳細については、[Flowのスポーツプロファイル](#)でご確認ください。

インターバルタイマー



① [クイックメニュー](#)から、トレーニングセッションのタイマービューをオンに設定した場合は、トレーニングセッション開始と同時にタイマーも開始します。タイマーの停止方法、新規のタイマーの開始方法をご説明します。

使用中のスポーツプロファイルのトレーニングビューにタイマーを追加した場合は、タイマーを次のように開始します：

1. **インターバルタイマー**を表示させ、OKボタンを長押しします。以前設定したタイマーを使用する場合は**開始**を選択、新しいタイマーを作成する場合は、**インターバルタイマーをセット**を選択します。
2. **基準：タイマー**または**基準：距離**のどちらかを選択します。**基準：タイマー**タイマーの分と秒を設定し、OKボタンを押します。**基準：距離**タイマーの距離を設定し、OKボタンを押します。
3. **他のタイマーをセットしますか**と表示されます。他のタイマーをセットする場合は、OKボタンを押します。
4. 完了後、**開始**を選択し、インターバルタイマーを開始します。インターバルが終わると、その都度、腕時計がサウンドと振動でその旨を通知します。

タイマーを終了するには、OKボタンを長押しし、**ストップタイマー**を選択します。

カウントダウン タイマー



① **クイックメニュー**から、**トレーニングセッションのタイマービューをオン**に設定した場合は、**トレーニングセッション開始と同時にタイマーも開始**します。タイマーの停止方法、新規のタイマーの開始方法をご説明します。

使用中のスポーツプロファイルのトレーニングビューにタイマーを追加した場合は、タイマーを次のように開始します:

1. **カウントダウンタイマー**を表示させ、OKボタンを長押しします。
2. 以前設定したタイマーを使用する場合は **開始** を選択するか、**カウントダウンタイマーをセット** で新しいカウントダウン時間を設定します。完了後、**開始** を選択し、カウントダウンタイマーを開始します。
3. カウントダウンの終わりに、腕時計がサウンドと振動でその旨を通知します。カウントダウンタイマーを再スタートするには、OKボタンを長押しし、**開始** を選択します。

タイマーを終了するには、OKボタンを長押しし、**ストップタイマー** を選択します。

心拍数、スピード、パワーゾーンのロック

ZoneLock機能を使うと、心拍数、スピード/ペースまたはパワーに基づいて現在のゾーンにロックでき、腕時計を確認することなく選択したゾーン内でのトレーニングができます。トレーニング中にロックしたゾーンから外れた場合は、腕時計がサウンドと振動で通知します。

心拍数、スピード/ペースおよびパワーゾーンのZoneLock機能は各スポーツプロファイルに対し、それぞれオンになってなければなりません。心拍数、スピード/ペースまたはパワー設定の下にあるFlowウェブサービススポーツプロファイル設定でそれぞれオンに設定できます。

ZoneLock使用してスピード/ペースまたはパワーゾーンをロックするためには、フルスクリーンの**スピード・ペースグラフ**または**パワーグラフ**表示をスポーツプロファイルのトレーニングビューに追加する必要があります。

心拍ゾーンのロック

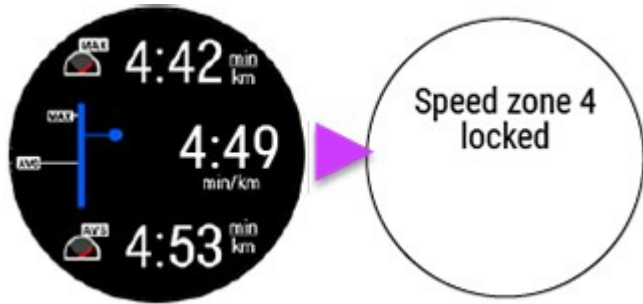
現在の心拍ゾーンをロックするには、フルスクリーンの**心拍数グラフ**表示またはFlowにある任意の編集可能な表示でOKを長押しします。



ゾーンのロックを解除するには、再度OKボタンを長押しします。

スピード/ペースゾーンのロック

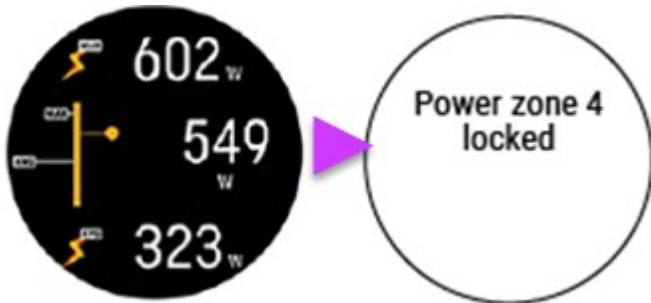
現在のスピード/ペースゾーンをロックするには、フルスクリーンのスピード/ペースグラフ表示でOKを長押しします。



ゾーンのロックを解除するには、再度OKボタンを長押しします。

パワーゾーンのロック

現在のパワーゾーンをロックするには、フルスクリーンのパワーグラフ表示でOKを長押しします。



ゾーンのロックを解除するには、再度OKボタンを長押しします。

ラップを取る

OK(右中央)ボタンを押してラップを取ります。ラップは、自動的に記録することもできます。Polar FlowアプリまたはPolar Flowウェブサービスのスポーツプロファイル設定で、「オートラップ」を「ラップ距離」、「ラップタイム」または「位置ベース」に設定します。「ラップ距離」を選択すると、ラップを計測する距離が設定できます。「ラップタイム」を選択した場合、ラップ計測を行うタイムを設定します。「位置ベース」を選択した場合、ラップは、トレーニングセッションの開始地点を通るたびにラップを取ります。

マルチスポーツセッション中にスポーツを切り替える

BACK(左下)ボタンを押して、切り替えるスポーツを選択します。OK(右中央)ボタンを選択して、確認します。

目標のあるトレーニング

Polar FlowアプリまたはPolar Flowウェブサービスで、時間、距離またはカロリーに基づいてクイックトレーニング目標を作成し、それを腕時計に同期させた場合、デフォルトの最初のトレーニングビューとして、次のトレーニング目標ビューを利用できます:



時間または距離に基づいて目標を作成した場合、達成するまでに残っている目標の量を確認できます。

または

カロリーに基づいて目標を作成した場合、目標のカロリーがどれだけ残っているかを確認できます。

Polar FlowアプリまたはPolar Flowウェブサービスで、**フェーズトレーニング目標**を作成し、その目標を腕時計に同期させた場合、デフォルトの最初のトレーニングビューとして、次のトレーニング目標ビューを利用できます：



- 選択された強度に応じて、現在のフェーズの心拍数またはスピード/ペース、および心拍数の下限および上限、またはスピード/ペース限界のいずれかを見ることができます。
- フェーズ名とフェーズ番号/フェーズの総数
- 現在までの所要時間/距離
- 現在のフェーズの目標時間/距離

④ トレーニング目標の作成に関する手順については、[「トレーニングの計画」](#)を参照してください。

フェーズセッション中のフェーズの切り替え

フェーズ目標作成時に**手動フェーズ変更**を選択した場合、フェーズ終了後に次のフェーズに移るには、OKボタンを押します。

自動フェーズ変更を選択した場合には、1つのフェーズが終了すると自動的に次のフェーズに移行します。フェーズを移行すると、腕時計がサウンドと振動で通知します。

④ 短時間のフェーズ(10秒以内)を選択した場合は、フェーズ終了時の振動アラームは作動しません。

トレーニング目標情報を表示する

トレーニング中にトレーニング目標情報を表示するには、トレーニング目標ビューで、OK(右中央)ボタンを押し続けます。

通知

計画されている心拍ゾーンまたはスピード/ペースゾーンの外でトレーニングを行っている場合、腕時計がサウンドと振動で通知します。

トレーニングセッションの一時停止/停止

1. トレーニングを一時中断する場合は、左下ボタンを押します。
2. トレーニングを継続するには、OK(右中央)ボタンを押します。トレーニングセッションを終了するには、BACK(左下)ボタンを長押しします。トレーニングセッションの直後に、時計でトレーニングセッションのサマリーを見ることができます。

④ 一時停止の後、セッションを終了する場合、一時停止後に経過した時間は合計トレーニング時間に含まれません。

トレーニングサマリー

トレーニング後

トレーニングセッションの直後に、腕時計がセッションの概要を表示します。FlowアプリまたはFlowウェブサービスで、詳細な分析をわかりやすく表示します。

概要に表示される情報は、スポーツプロフィールと収集されたデータによって異なります。例えば、トレーニング概要に次の情報を含めることができます：



開始時刻および日付

トレーニングセッションの継続時間

トレーニングセッションでカバーされた距離



心拍数

トレーニングセッション中の平均および最大の心拍数。

トレーニングセッションでのカーディオ負荷



心拍ゾーン

異なる心拍ゾーンでトレーニングに費やした時間



使用エネルギー

トレーニングセッション中に使用したエネルギー

炭水化物

タンパク質

脂肪

詳細については、[使用エネルギー](#)をご確認ください



ペース/速度

トレーニングセッションの平均および最大のペース/速度。

ランニングインデックス: ランニングパフォーマンスクラスおよび数値詳細は、[「ランニングインデックス」](#)の章をご覧ください。



速度ゾーン

異なる速度ゾーンでトレーニングに費やした時間



ケイデンス

トレーニングセッションでの平均および最大のケイデンス

① ランニングケイデンスは、内蔵の加速度センサーで手首の動きから測定されます。PolarケイデンスセンサーBluetooth® Smartを使用中の場合、サイクリングケイデンスが表示されます。



高度

トレーニングセッション中の最大高度

トレーニングセッション中の上昇(メートル/フィート)

トレーニングセッション中の下降(メートル/フィート)

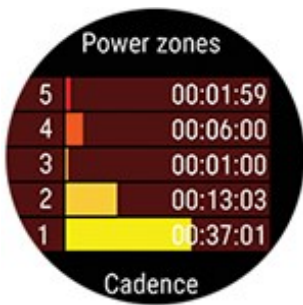


パワー

平均パワー

最大パワー

筋肉への負荷



パワーゾーン

異なるパワーゾーンでトレーニングに費やした時間

① ランニングパワーは、GPSを有効にした状態でランニングタイプのスポーツプロファイルを使用した場合に手首で計測されます。サイクリングパワーは、サイクリングタイプのスポーツプロファイルを使用した場合や外付けサイクリングパワーセンサーを使用した場合に表示されます。



Hill Splitter

アップヒルとダウンヒルの合計数

アップヒルとダウンヒルの合計距離

OK(右中央)ボタンを押して、ヒルごとに上昇/下降の詳細を表示します。

詳細については、[Hill Splitter](#)でご確認ください



ラップ/オートラップ記録

ラップ、ベストラップ、およびラップの平均時間。

OKボタンを押して次の詳細までスクロールすることができます：

1. 各ラップの時間(ベストラップは黄色でハイライト表示されます)
2. 各ラップの距離
3. 心拍ゾーンの色々の平均および最大心拍数
4. 各ラップの平均スピード/ペース
5. 各ラップの平均パワー



マルチスポーツ概要

マルチスポーツ概要には、トレーニングセッションの全体的な概要とスポーツに含まれる継続時間および距離を含むスポーツ固有の概要が含まれています。

腕時計で後日トレーニング概要を表示するには:



時刻表示画面で、UP(右上)ボタンおよびDOWN(右下)ボタンを使用して、**最新のトレーニングセッション**画面表示に移動し、OK(右中央)ボタンを押します。

過去14日間のトレーニングセッション概要を確認できます。UP(右上)/DOWN(右下)ボタンを使用して、表示するトレーニングセッションを閲覧し、OK(右中央)ボタンを押して、概要を開きます。腕時計本体には、最大20個のトレーニング概要を保存できます。

POLAR FLOWアプリのトレーニングデータ

スマートフォンがBluetooth接続の範囲内にある場合、トレーニングセッション終了後、腕時計はPolar Flowアプリと自動で同期します。Flowアプリにサインインし、スマートフォンがBluetooth接続の範囲内にある場合、腕時計のBACK(左下)ボタンを長押しして、腕時計からトレーニングデータを手動でPolar Flowアプリに同期することもできます。セッション終了後に、Flowアプリ上で一目でデータが分析できます。アプリでトレーニングデータのサマリーを素早く確認できます。

詳細については、[「Polar Flowアプリ」](#)でご確認ください。

POLAR FLOWウェブサービスのトレーニングデータ

トレーニングデータを分析し、パフォーマンスに関する理解を深めることができます。トレーニングの進捗を確認し、ベストセッションを他の人達とも共有できます。

詳細については、[「Polar Flowウェブサービス」](#)でご確認ください。

機能

GPS	52
ルートガイダンス	52
ウォッチにルートを追加する	53
ルートガイダンスを使ってトレーニングセッションを開始	53
途中でルートを変更する	53
ディスプレイ中のガイダンス	53
スタート地点に戻る	53
レースペース	54
Strava Liveセグメント	55
StravaとPolar Flowアカウントの接続	55
Polar FlowアカウントへのStravaセグメントのインポート	55
Strava Liveセグメントによるセッションの開始	55
Hill Splitter™	57
スポーツプロファイルへのHill Splitterの追加	57
Hill Splitterを使ったトレーニング	57
Hill Splitter™概要	58
Flowウェブサービスとアプリにおける詳細分析	59
Komoot	61
KomootとPolar Flowアカウントの接続	62
腕時計にKomootルートを同期する	62
Komootルートによるトレーニングセッションの開始	63
Smart Coaching	64
Training Load Pro	64
FuelWise™	69
ランニングパフォーマンステスト	71
手首で測定するランニングパワー	75
Polarランニングプログラム	77
ランニングインデックス	78
トレーニング効果	80
スマートカロリー	81
継続的な心拍数	82
24時間/365日 アクティビティラッキング	83
アクティビティガイド	84
アクティビティ効果	85
Nightly Recharge™ 回復計測	85
Sleep Plus Stages™睡眠状態のラッキング	90
SleepWise™	94
Serene™ガイドつき呼吸エクササイズ	98
手首での心拍計測によるフィットネステスト	99
FitSpark™ デイリートレーニングガイド	102
スポーツプロファイル	105
心拍ゾーン	105
心拍センサーモード	105
スピードゾーン	106
スピードゾーン設定	106
スピードゾーンによるトレーニング目標	106
トレーニング中	106
トレーニング後	106
リストデバイスで速度と距離を確認	106
リストデバイスでケイデンスの確認	107
スイミングメトリクス	107
プールスイミング	107
オープンウォータースイミング	108
水中で心拍数を測定	108
スイミングセッションの開始	108
水泳中	109
水泳後	109
気圧計	110
コンパス	110

天気	112
パワーセーブ設定	114
使用エネルギー	115
使用エネルギー概要	115
Polar Flowモバイルアプリの詳細分析	116
スマート通知	116
通知を見る	117
音楽コントロール	117
文字盤から設定する	117
トレーニング中	117
変更可能なリストバンド	118
リストバンドを変更する	118
互換性のあるセンサー	118
Polar H10心拍センサー	118
PolarスピードセンサーBluetooth® Smart	119
PolarケイデンスセンサーBluetooth® Smart	119
サードパーティ製パワーセンサー	119
センサーと腕時計をペアリングする	119

GPS

腕時計は内蔵のGPSにより、様々なアウトドアスポーツにおける正確な速度、距離、および高度を測定し、またトレーニングセッション後にPolar FlowアプリおよびPolar Flowウェブサービスのマップ上でルートを確認できます。

腕時計は補助GPS(A-GPS)を使用し、瞬時の衛星の捕捉を可能にします。A-GPSは、GPS衛星の予測位置を腕時計に提供します。これにより、腕時計は衛星を探す位置を予測できるので、受信環境が良好でない場合でも、数秒以内で信号を受信することができます。

A-GPS(補助GPS)データは1日に1回、更新されます。最新のA-GPS(補助GPS)データファイルは、腕時計をFlowSyncソフトウェアまたはPolar Flowアプリ経由でFlowウェブサービスに同期すると、ダウンロードされます。スマートフォンがBluetooth接続の範囲内にあり、Polar Flowアプリが実行されている場合、A-GPSデータはPolar Flowアプリ経由で1日に1回腕時計に自動でダウンロードされます。

A-GPS(補助GPS)有効期限

A-GPS(補助GPS)データファイルは最長14日間有効です。そのうち、最初の3日間のデータの精度が比較的高く、残りの日数において精度は次第に低下します。定期的に更新することにより、位置の精度を維持できます。

腕時計の現在のA-GPS(補助GPS)データファイルの有効期限を確認できます。腕時計から**Settings(設定) > General settings(基本設定) > About your watch(腕時計について) > A-GPS exp. date(A-GPS有効期限)**に進みます。データファイルの有効期限が切れている場合は、FlowSyncソフトウェアを介して、または、Polar Flowアプリを使用して、腕時計をPolar Flowウェブサービスに同期し、A-GPS(補助GPS)データを更新します。

A-GPS(補助GPS)データファイルの有効期限が切れると、現在位置を取得するのに長い時間がかかる場合があります。

① GPSのパフォーマンスを最大にするため、腕時計を手首でディスプレイが上を向いた状態で装着してください。腕時計のGPSアンテナの位置の関係上、ディスプレイを手首の内側に向けた状態でのトレーニングはお勧めできません。M430をバイクのハンドル上に装着する場合も、ディスプレイが上を向くのを確認してください。

ルートガイド

ルートガイド機能では、過去のセッションで記録したルートや、Polar Flowウェブサービスで他のユーザーが記録・共有したルートをとどって進むようにガイドします。ルート開始地点、ルート終着点、またはルートの至近地点(中間ルート)から選択することができます。まずはじめに、ウォッチはルート上のあなたが選択した開始地点にガイドします。一度ルートにのると、ウォッチがあなたの全

行程をガイドし、ルートから外れないようモニタリングします。ディスプレイ画面のガイダンスに従ってください。ディスプレイ画面の下に、残りの距離が表示されます。

ウォッチにルートを追加する

ウォッチにルートを追加するには、Flowウェブサービスのエクスプロアビュー、またはトレーニングセッションの分析ビューで、そのルートをお気に入りとして保存する必要があります。それからウォッチにそれを同期させて下さい。詳細については、[お気に入り](#)でご確認ください。

ルートガイダンスを使ってトレーニングセッションを開始



1. プレトレーニングモードで、LIGHT(左上)ボタンを押すか、タップし、クイックメニュー画面に入ります。
2. リストから **ルート** を選び、希望するルートを選択します。
3. ルートを開始するポイントを選択します:**スタートポイント**、**中間ルート**、**終着点から折り返し**、または **中間ルートから折り返し**。腕時計のコンパスを校正を促すメッセージが表示される場合もあります。その場合は、表示された指示に従って下さい。
4. 使用したいスポーツプロファイルを選び、トレーニングセッションを開始します。
5. ウォッチがあなたをルート上にガイドします。「**ルートのスタートポイントが見つかりました**」が、開始地点に到着した時点で表示されます。出発準備完了です。

終了すると、「**ルート終着点に到着しました**」が表示されます。

途中でルートを変更する

トレーニングセッションの途中でもルートを切り替えることができます。

1. BACK(左下)ボタンを押してトレーニングセッションを一時停止し、LIGHT(左上)ボタンを押しクイックメニュー画面に入ります。
2. 次にルートを選択すると、「**ルートを変更しますか?**」とメッセージが表示されます。「**はい**」を選択しリストから新しいルートを選びます。
3. 準備ができたなら、**スタート**をタップします。

ディスプレイ中のガイダンス



- 矢印は正しい方向を示します
- 進むにつれてルートがさらに表示されます
- 残りの距離

スタート地点に戻る

「スタート地点に戻る」機能では、トレーニングセッションのスタート地点にあなたをガイドします。

「スタート地点に戻る」機能を特定のトレーニングセッションで使うには:



1. プレトレーニングモードで、LIGHT(左上)ボタンを押すか、タップし、クイックメニュー画面に入ります。
2. リストから**スタート地点に戻る**を選択し、ONに設定します。

トレーニングセッション中も、「スタート地点に戻る」ことができます。セッションを一時停止し、LIGHT(左上)ボタンでクイックメニューをオープン、**スタート地点に戻る**にスクロールし、ONを選択します。

Polar Flowのスポーツプロファイルに、「スタート地点に戻る」機能を有効化したトレーニングビューを追加すると、その特定のスポーツプロファイルは常にON状態になり、トレーニングセッションごとの切り替えが不要になります。

「スタート地点に戻る」には:



- 目の前で腕時計を水平方向に持ちます。
- 腕時計があなたの進行方向を認識できるよう、そのまま動き続けてください。矢印がスタート地点への方向を示します。
- スタート地点に戻るには、矢印の指示通りに曲がってください。
- 腕時計の画面には、方角や、あなたの現在地とスタート地点の間の直線距離も表示されます。

腕時計の衛星信号が機能しなくなったり、バッテリーが切れた場合などに備え、あまり知らない場所に行くときは、必ず地図を携帯してください。

レースペース

レースペース機能は、定距離に対して安定したペースを維持し、目標タイムを達成できるよう、あなたをガイドします。目標タイムと距離を定め(例えば10Kを45分で走る、など)、その設定目標に対してどれだけ差が生じるかをチェックします。

レースペースは腕時計で設定でき、あるいはFlowウェブサービスまたはアプリでレースペース目標を設定して腕時計に同期することも可能です。

すでにその日に予定したレースペース目標がある場合は、腕時計がプレトレーニングモード始動と同時に開始するよう指示を促します。

腕時計でレースペース目標を入力

クイックメニューのプレトレーニングモード画面で、レースペース目標を入力設定できます。

1. 時刻表示画面でOK(右中央)ボタンを長押し、またはBACK(左下)ボタンを押して、プレトレーニングモードに入ります。次に、メインメニューから**トレーニングを開始**を選択します。
2. プレトレーニングモードで、クイックメニューのアイコンをタップ、またはLIGHT(左上)ボタンを押します。
3. リストからレースペースを選択して、距離と時間を設定します。OKを押して確定します。目標タイムを満了するために必要なペース/スピードを腕時計が表示し、それからプレトレーニングモードに戻るので、トレーニングセッションを開始できます。

STRAVA LIVEセグメント

Stravaセグメントは、アスリートがサイクリングまたはランニングでタイムを競い合う時に事前に設定する、ロード/トレイルのセクション(区間)です。セグメントは[Strava.com](https://www.strava.com)でStravaユーザーなら誰でも作成できるものです。セグメントを使用して自己タイムを比較したり、同じセグメントを完了した他のStravaユーザーのタイムと比較したりすることができます。各セグメントは、そのセグメントにおいて最高記録を達成した人をキング/クイーン・オブ・ザ・マウンテン(KOM/QOM)として公表されます。

Polar Grit XでStrava Liveセグメントの機能を使用するには、[Strava Summit分析パック](#)が必要であることに注意してください。Strava Liveセグメントを有効にして、セグメントをFlowアカウントにエクスポートし、Grit Xに同期すると、お気に入りのStravaセグメントに近づいたときに腕時計でアラートを受け取るようになります。

セグメントを実行すると、腕時計でセグメントの自己記録(PR)を上回っているか下回っているかを示すリアルタイムのパフォーマンスデータを取得できます。セグメントが完了すると、結果が計算され、すぐに腕時計で確認できますが、最終結果はStrava.comで確認する必要があります。

STRAVAとPOLAR FLOWアカウントの接続

Polar FlowウェブサービスまたはPolar FlowアプリでStravaとPolar Flowアカウントを接続できます。

Polar Flowウェブサービスで、**設定 > パートナー > Strava > 接続**に進みます。

または

Polar Flowアプリで、**基本設定 > 接続 > Strava** (ボタンをスワイプして接続)に進みます。

POLAR FLOWアカウントへのSTRAVAセグメントのインポート

1. Stravaアカウントで、Polar Flow「お気に入り」/Grit Xにインポートしたいセグメントを選択します。セグメント名の隣にある星のアイコンを選択して行います。
2. 次に、Polar Flowウェブサービスの「お気に入り」ページで「Strava Liveセグメントの更新」ボタンを選択し、Strava LiveセグメントをPolar Flowアカウントにインポートします。
3. Grit Xには最大100項目の「お気に入り」を保存できます。Grit Xに転送したいセグメントをStrava Liveセグメントの左側のボックスから選んでクリックし、右側のGrit X同期リストに移します。Grit Xの「お気に入り」内の順序は、ドラッグアンドドロップで変更できます。
4. Grit Xを同期し、変更を腕時計に保存します。

④ Polar Flowウェブサービスとアプリでの、お気に入り項目の管理方法に関するさらに詳しい情報は[「Polar Flowでお気に入り/トレーニング目標を管理する」](#)をご覧ください。

Stravaセグメントに関する詳しい内容は[Stravaサポート](#)をご覧ください。

STRAVA LIVEセグメントによるセッションの開始

④ Strava LiveセグメントにはGPSが必要です。使用したいランニングおよびサイクリングスポーツプロフィールでGPSがセットされていることを確認してください。

ランニングまたはサイクリングトレーニングセッションを開始すると、腕時計に同期された近くのStravaセグメント(サイクリングでは50 km以内、ランニングでは10 km以内)がStravaセグメントトレーニングビューに表示されます。セッション中はUP(右上)ボタンとDOWN(右下)ボタンを使って、Stravaセグメントビューをスクロールします。



セグメント(サイクリングでは200メートル以内、ランニングでは100メートル以内)に近づくと、腕時計にアラートを受け取り、セグメントまでの残りの距離がカウントダウンされます。腕時計のBACKボタンを押してセグメントをキャンセルできます。



セグメントの開始点に達すると、別のアラートが鳴ります。セグメントの記録が自動的に開始され、セグメントの名前とセグメントの個人記録時間が腕時計に表示されます。



ディスプレイには自己ベストを上回っているか下回っているか(あるいは、そのセグメントを初めて行っている場合はKOM/QOM)、そしてスピード/ペースと残りの距離が表示されます。



セグメント完了後、腕時計にはタイムが表示され、自己ベストタイムとの差が表示されます。自己記録を更新した場合は、PR記号が表示されます。



HILL SPLITTER™

Hill Splitter™は、トレーニングセッション中のアップヒル、ダウンヒルセクションでのパフォーマンスデータを提供します。Hill Splitter™はGPSをベースにしたスピード、距離、気圧高度データから、自動的にアップヒル、ダウンヒルセクションを検知します。コース上のすべてのヒルセクションにおける距離、スピード、上昇・下降率などのパフォーマンスデータを細かく記録し、表示することができます。トレーニングセッション中の上りセクションのプロファイルを記録し、過去のトレーニングセッションのヒルセクションデータと比較を行うことができます。各ヒルについての詳細情報が自動的に記録されるので、手動でラップを計測する必要はありません。

Hill Splitterは各トレーニングセッションの地形に適応します。実際のトレーニングでは、比較的平らな地形でトレーニングセッションを行った場合に、小さなヒルでもカウントされることを意味します。再び山道のような高度に大きな変化のあるエリアでトレーニングすると、最も小さなヒルはカウントされません。この適応は常にトレーニングセッションに特有です。

ヒルとしてカウントされる最小上昇または最小下降はスポーツプロファイルによって異なります。ダウンヒルスポーツ(スノーボード、ダウンヒルスキー、バックカントリースキー、テレマークスキー)では最小値は15メートルで他のすべてのスポーツでは10メートルです。

④ Hill Splitterには1秒のGPSの記録間隔が必要です。1分または2分の記録間隔では使用できません。

スポーツプロファイルへのHILL SPLITTERの追加

デフォルトでは、Hill Splitterトレーニングビューはすべてのランニング、サイクリング、ダウンヒルタイプのスポーツプロファイルでオンになっていますが、GPSと気圧高度を使用するすべてのスポーツプロファイルに追加できます。

Flowウェブサービスで:

1. 「**スポーツプロファイル**」に進み、追加したいスポーツプロファイルで「**編集**」を選択します。
2. 「**デバイスに関連**」を選択します
3. 「**Grit X**」>「**トレーニングビュー**」>「**新規追加**」>「**フルスクリーン**」>「**Hill Splitter**」を選択して保存します。

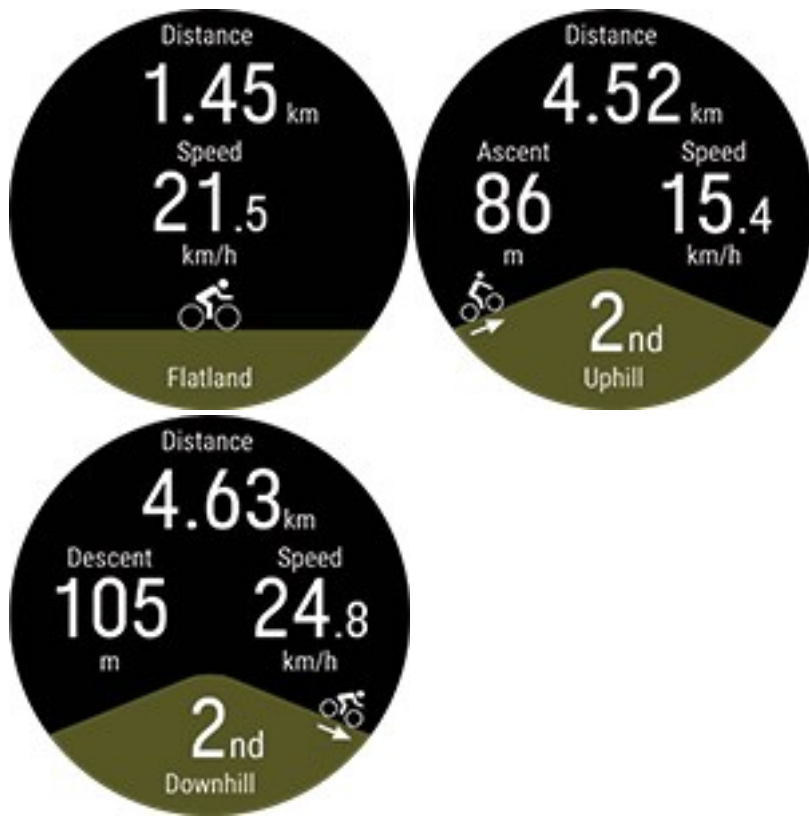
Flowモバイルアプリで:

1. メインメニューに進み、「**スポーツプロファイル**」を選択します。
2. スポーツを選択し、「**編集**」をタップします。
3. Hill Splitterトレーニングビューを追加します。
4. 準備ができたなら、「**終了**」をタップします。

設定をPolarデバイスに同期してください。

HILL SPLITTERを使ったトレーニング

トレーニングセッションの開始後、UP(右上)/DOWN(右下)ボタンでHill Splitterビューをスクロールします。トレーニングセッション中に表示できる詳細には以下のものが含まれます:



- 距離:現在のセグメントの距離 (平ら、アップヒル、またはダウンヒル)
- 現在のセグメントの上昇/下降
- スピード

ヒルから平らな土地に切り替える場合、若干の遅延があることに注意してください。これはヒルが終わったことを確認して行ってください。Hill Splitterトレーニングビューに表示されているヒルから平らな土地への切り替えに遅延がある場合でも、ヒルの終わりはデータには正確にマークされるので、Flowウェブサービスまたはアプリでトレーニング概要を表示すると、正確に表示されます。

ヒル詳細ポップアップ

ダウンヒルスポーツ(スノーボード、ダウンヒルスキー、バックカントリースキー、テレマークスキー)では、前のヒルを終了して、それからアップヒルを15メートル戻った後に、前のヒルの詳細の付いたポップアップが表示されます。これは、スキー場のリフトで引き返すときにポップアップが表示されるように設計されています。



- 距離:現在のセグメントの距離(平ら、アップヒル、またはダウンヒル)
- 現在のセグメントの上昇/下降
- 平均スピード
- ヒルナンバー

HILL SPLITTER™概要

トレーニングセッション後、トレーニング概要に以下の情報が表示されます:



- アップヒルとダウンヒルの数
- アップヒルとダウンヒルの合計距離

FLOWウェブサービスとアプリにおける詳細分析

トレーニングセッション後、データをFlowウェブサービスに同期すると、Flowウェブサービスで各アップヒル、ダウンヒル、平らなセグメントに関する詳細データを表示します。トレーニングセッションの概要がPolar Flowアプリでも確認できます。

各セグメントで利用可能なデータはスポーツプロファイルと使用したセンサーによって異なりますが、例えば高度、パワー、心拍数、ケイデンス、スピードデータを含むことがあります。

Mountain biking
Wednesday, Feb 26, 2020 15:57 | Polar Grit X

0 0 Relive Private

01:30:19 Duration **A B 25.53 km** Distance **162 bpm** Average heart rate **Max 191 | Min 107** **1341 kcal** Calories **Tempo training +** [less](#)

Sport
Mountain biking

How do you feel?
Okay

Training notes
Write a note about this training

03:32 min/km
Average pace
Max 02:04

51 rpm
Average cadence
Max 97

2 Uphill
1 Downhill

1.03 km
Uphill total
00:05:00

Very high
191 Cardio load

65% Carbohydrate
3% Protein
34% Fat

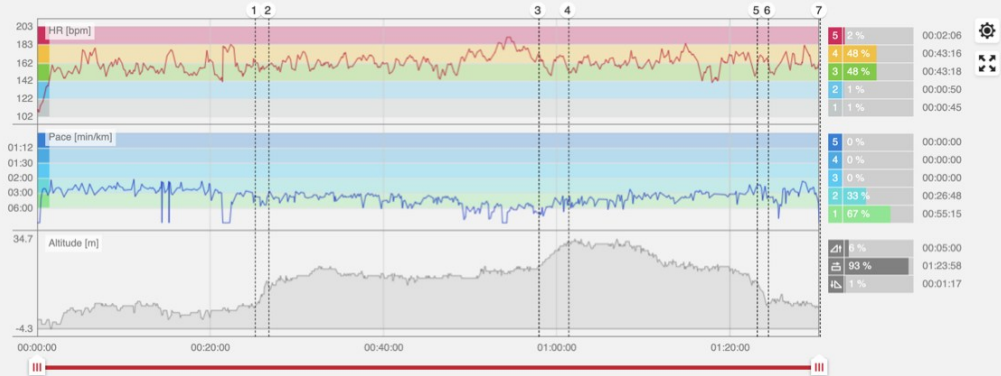
65 m
Ascent

0.46 km
Downhill total
00:01:17

Medium
641 Perceived load

5 Hard
/10 Your estimate (RPE)

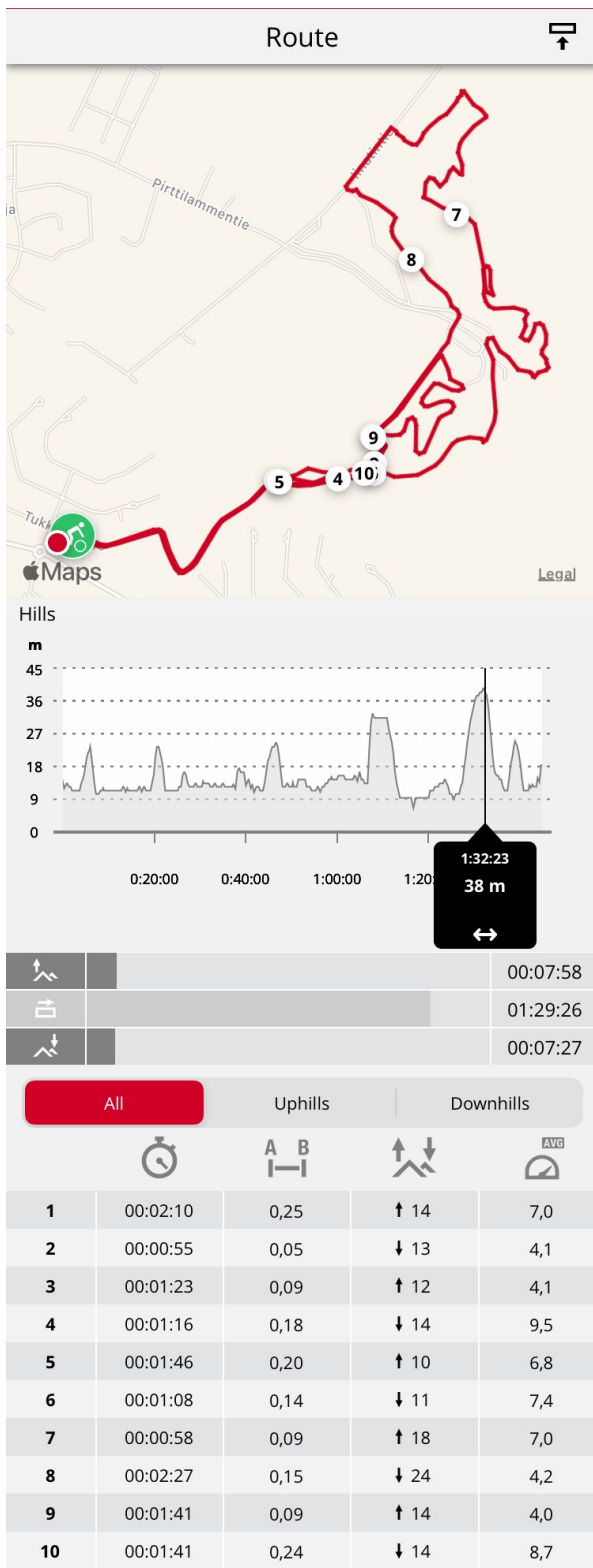
60 m
Descent



All hills Split into laps

No.	Phase	Duration	Distance	Ascent / Descent	Pace avg	Pace max	HR avg	HR max
1	Flat	00:25:07.0	8586 m	-	02:55 min/km	02:04 min/km	157 bpm	183 bpm
2	Uphill 1	00:01:34.0	390 m	14 m	03:56 min/km	03:14 min/km	157 bpm	160 bpm
3	Flat	00:31:12.0	7410 m	-	04:10 min/km	02:50 min/km	165 bpm	191 bpm
4	Uphill 2	00:03:26.0	645 m	14 m	05:10 min/km	03:20 min/km	161 bpm	171 bpm
5	Flat	00:21:45.0	6203 m	-	03:30 min/km	02:22 min/km	163 bpm	184 bpm
6	Downhill 1	00:01:17.0	464 m	11 m	02:42 min/km	02:20 min/km	162 bpm	171 bpm
7	Flat	00:05:58.0	1842 m	-	03:07 min/km	02:09 min/km	163 bpm	182 bpm

Export session Remove training




KOMOOT

Komootを使って地図上でルートを経路を細かな部分まで計画し、腕時計に転送すれば、移動中もターンバイターン方式のルートガイダンスを受けることができます！ロードバイク、ハイキング、バイクパッキング、またはマウンテンバイクで、Komootの優れたプランニングおよびナビゲーションテクノロジーを利用して素晴らしいアウトドアの魅力を手軽に発見できるようになります。

Komootアカウントをお持ちでない場合は作成してください。Komootにサインアップすると、中心機能すべてを無料で試すことができる地域が与えられます。Komootでは、お住まいの地域を無料地域としてロック解除することを推奨しています。それからKomootをPolar Flowに接続すると、すべてのKomootルートが腕時計に入ります。

Komootの使用でヘルプが必要な場合は、support.komoot.com/hc/en-usのサポートサイトをご覧ください。

 Komootルートには1秒のGPSの記録間隔が必要です。1分または2分の記録間隔では使用できません。


KOMOOTとPOLAR FLOWアカウントの接続

まず、Polar FlowアカウントとKomootアカウントをお持ちであることを確認します。Polar FlowウェブサービスまたはPolar FlowアプリでKomootとPolar Flowアカウントを接続できます。

Polar Flowウェブサービスで、「設定」>「パートナー」>「Komoot」>「接続」に進みます。


または


Polar Flowアプリで、「基本設定」>「接続」>Komoot (ボタンをスワイプして接続)に進みます。

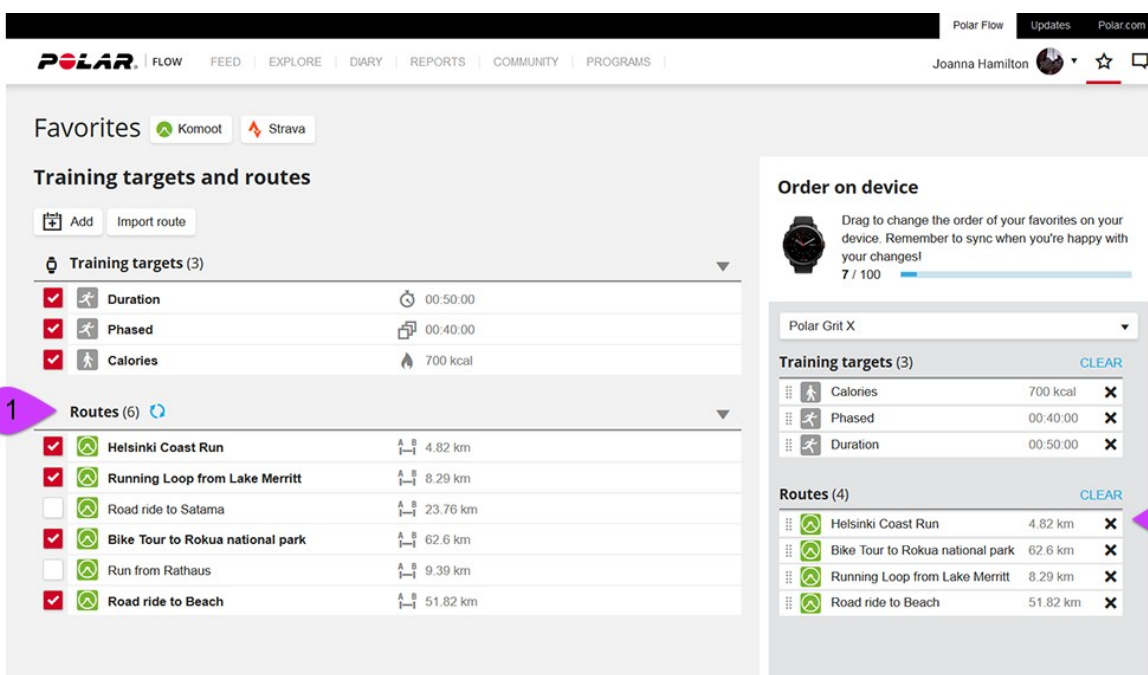
 KomootアカウントとPolar Flowアカウントを接続すると、計画したKomootツアーで、あなたのKomootアカウントでロック解除した地域で開始するものがすべてPolar Flowのお気に入りに入り同期されます。

腕時計にKOMOOTルートを同期する

Polar Flowウェブサービスまたはアプリで、腕時計に転送したいルートを選ぶことができます。腕時計には最大100項目の「お気に入り」を保存できます。

Flowウェブサービスで、ページの一番上にあるメニューバーのお気に入りアイコン  をクリックして、お気に入りページに入ります。

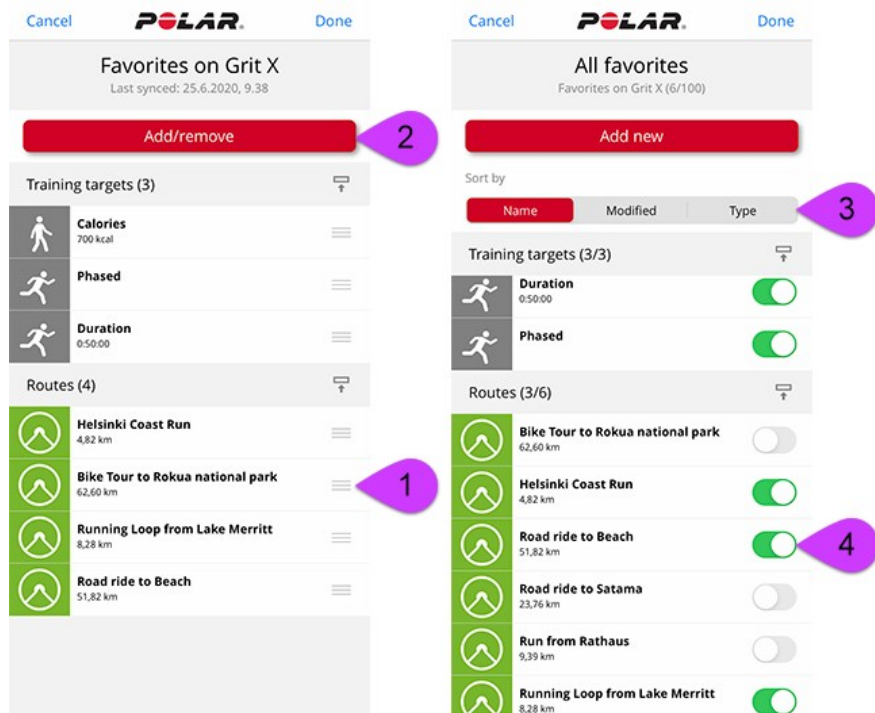
1. ルートをルートリストの左側のボックスから選んでクリックし、右側の腕時計用同期リストに移します。Komootで計画した新しいルートがある場合は、 ボタンをクリックして、このルートをルートリストに更新できます。
2. 腕時計におけるルートの順序は、ドラッグ&ドロップにより変更できます。Xをクリックすることにより個々のルートを削除でき、**削除**をクリックすることにより、すべてのルートを一度に削除できます。腕時計から削除した場合でも、それらのルートは引き続きお気に入りとして利用できることに注意してください。
3. 腕時計を同期して、変更内容を保存します。



The screenshot displays the Polar Flow web interface. At the top, there's a navigation bar with 'POLAR | FLOW FEED | EXPLORE | DIARY | REPORTS | COMMUNITY | PROGRAMS' and user information for 'Joanna Hamilton'. Below this, the 'Favorites' section is active, showing 'Komoot' and 'Strava' sources. The 'Training targets and routes' section has 'Add' and 'Import route' buttons. Under 'Training targets (3)', there are three items: 'Duration' (00:50:00), 'Phased' (00:40:00), and 'Calories' (700 kcal). The 'Routes (6)' section is highlighted with a red circle and the number '1'. It lists six routes with checkboxes and distance/duration: 'Helsinki Coast Run' (4.82 km), 'Running Loop from Lake Merritt' (8.29 km), 'Road ride to Salama' (23.76 km), 'Bike Tour to Rokua national park' (62.6 km), 'Run from Rathaus' (9.39 km), and 'Road ride to Beach' (51.82 km). On the right, the 'Order on device' section shows a watch icon and instructions to drag and drop items. It lists 'Training targets (3)' (Calories, Phased, Duration) and 'Routes (4)' (Helsinki Coast Run, Bike Tour to Rokua national park, Running Loop from Lake Merritt, Road ride to Beach). The 'Routes (4)' section is highlighted with a red circle and the number '2'.

Polar Flowアプリで、デバイスメニューに移動し、デバイスのページに移動します。腕時計上の現在のお気に入りを見るには、ページを下にスクロールし、**追加/削除** をタップします。


1. ☰ (iOS) / ≡ (Android) をタップしたまま長押しして、ルートを希望の場所にドラッグすることによって、腕時計におけるルートを並べ替えることができます。
2. ルートを追加または削除するには、もう一度 **追加/削除** をタップしてすべてのお気に入りにアクセスします。
3. お気に入りを **名前**、**修正済**、**種類** ごとに並べ替えられます。
4. 腕時計からルートを削除するには、左にスイッチします。ルートを追加するには、右にスイッチします。
5. 腕時計をアプリと同期して、変更を保存します。



Polar Flowウェブサービスとアプリでの、お気に入り項目の管理方法に関するさらに詳しい情報は「[Polar Flowでお気に入りトレーニング目標を管理する](#)」をご覧ください。

KOMOOTルートによるトレーニングセッションの開始



1. プレトレーニングモードで、LIGHT(左上) ボタンを押すか、 をタップし、クイックメニュー画面に入ります。
2. リストから **ルート** を選び、希望するKomootルートを選択します。最も近いルートが最初に表示されます。
3. ルートを開始するポイントを選択します:**スタートポイント**または**中間ルート**。
4. 使用したいスポーツプロファイルを選び、トレーニングセッションを開始します。
5. 腕時計があなたをルート上にガイドします。「**ルート開始地点が見つかりました**」が、開始地点に到着した時点で表示されます。出発準備完了です。

腕時計がターンバイターン方式の指示でルート全体を通じてガイドします。



SMART COACHING

日々のフィットネスレベルの評価やトレーニングプランの作成、正しい強度での筋トレのガイドやトレーニング直後のフィードバックなど、スマートコーチングは簡単にあなたのニーズに合わせてカスタマイズでき、トレーニングのモチベーションを上げる様々な独自機能を取り揃えています。

腕時計には、以下のPolarスマートコーチング機能があります。

- [Training Load Pro](#)
- [FuelWise™](#)
- [手首で測定するランニングパワー](#)
- [ランニングプログラム](#)
- [ランニングインデックス](#)
- [トレーニング効果](#)
- [スマートカロリー](#)
- [継続的な心拍数](#)
- [アクティビティガイド](#)
- [アクティビティ効果](#)
- [Nightly Recharge™回復計測](#)
- [Sleep Plus Stages™睡眠状態のトラッキング](#)
- [Serene™ガイドつき呼吸エクササイズ](#)
- [手首での心拍計測によるフィットネステスト](#)
- [FitSpark™デイリートレーニングガイド](#)

TRAINING LOAD PRO

新しいTraining Load Pro™ 機能は、トレーニングセッションが身体に負担をかけ、パフォーマンスにどのような影響を与えるかを理解するのに役立ちます。Training Load Proは、心臓血管計に対するトレーニング負荷レベル(カーディオ負荷)を提供し、あなたが感じる強度(自覚的な運動負荷)を考慮に入れます。筋肉への負荷は、トレーニングセッション中に筋肉がどれくらい疲労していたかを示します。各身体系がどれほど疲労しているかを認識しているときは、適切なシステムを適切なタイミングで実行してトレーニングを最適化することができます。

カーディオ負荷

カーディオ負荷は、トレーニング負荷を定量化するために一般に認められ、科学的に実績のある方法であるトレーニングインパルス計算 (TRIMP) に基づいています。カーディオ負荷値は、トレーニングセッションが心血管系にどの程度の負担をかけるかを示しま

す。カーディオ負荷が高ければ高いほど、心血管系のトレーニングセッションはより激しくなります。カーディオ負荷は、心拍数データおよびトレーニングセッション継続時間から各トレーニングの後に計算されます。

自覚的な運動負荷

あなたの主観的感情は、すべてのスポーツのトレーニング負荷を推定する便利な方法の1つです。自覚的な運動負荷は、トレーニングセッションの要求状況とセッションの継続時間に関する主観的な経験を考慮した値です。これは、主観的トレーニング負荷を定量化する科学的に認められた方法である「感情の評価」(RPE)により定量化されます。RPEスケールを使用することは、心拍数のみに基づいてトレーニング負荷を測定することには限界がある、例えば筋力トレーニングなどのスポーツに特に役立ちます。

① セッションをFlowモバイルアプリで評価し、トレーニングセッションに対する自覚的な運動負荷を取得します。1~10のスケールから選択できます。1は非常に簡単で、10は最大の労力です。

筋肉への負荷

筋肉への負荷は、トレーニングセッション中に筋肉がどれくらい疲労していたかを示します。筋肉への負荷は、ショートインターバル、スプリント、ヒルセッションなど、心拍数が強度の変化に反応するのに十分な時間がない高強度のトレーニングセッションでトレーニング負荷を定量化するのに役立ちます。

筋肉への負荷は、ランニングセッションまたはサイクリングセッション中に生成した機械エネルギー(kJ)の量を示します。これは、労力のために使用したエネルギー入力ではなく、エネルギー生産量を反映しています。一般的に、負荷が適している場合、エネルギー入力と出力の間の効率が良くなります。筋肉への負荷は、パワーと持続時間に基づいて計算されます。ランニングの場合は、あなたの体重も考慮されます。

① ランニングパワーは、GPSを有効にした状態でランニングタイプのスポーツプロファイルを使用した場合、または外付けランニングパワーセンサーを使用した場合に、手首で計測されます。サイクリングパワーは、サイクリングタイプのスポーツプロファイルを使用した場合や外付けサイクリングパワーセンサーを使用した場合に表示されます。

シングルセッションからのトレーニング負荷

シングルセッションからのトレーニング負荷は、腕時計、Flowアプリ、およびFlowウェブサービスのトレーニングセッション概要に表示されます。

測定された負荷ごとにトレーニング負荷の絶対値が得られます。負荷が高くなればなるほど、体に疲れが生じます。さらに、トレーニングセッションのトレーニング負荷を90日間のトレーニング負荷平均と比較した場合の視覚的な弾丸スケール解釈および言葉による説明を見ることができます。



Training Load Pro	
Medium Cardio load (TRIMP)	232 ...
Low Perceived load	420
Somewhat Hard Your estimate (RPE)	4/10 ...

弾丸スケールと言葉による説明は、あなたの進歩に従って適応します。つまり、スマートにトレーニングすれば、より高い負荷を許容できるようになります。トレーニングのフィットネスと耐久力が向上するにつれて、数か月前に3つの弾丸(中程度)に評価されたトレーニング負荷は、後に2つの弾丸(低)に評価される可能性があります。このアダプティブスケールは、現時点での体の調子によって、同じ種類のトレーニングセッションであっても身体に与える影響がまちまちであることを示しています。

●●●●● とても高い



負担および耐久力

新しいTraining Load Pro機能は、個々のトレーニングセッションのカーディオ負荷に加えて、短期間のカーディオ負荷(負担)と長期間のカーディオ負荷(耐久力)を測定します。

負担は、トレーニングにより、どれだけ疲れているかを示します。過去7日間の1日の平均負荷を示します。

耐久力は、カーディオトレーニングにどれくらい耐える準備ができているかを説明します。過去28日間の1日の平均負荷を示します。カーディオトレーニングに対する耐久力を向上させるには、長期間にわたりトレーニングを徐々に増やす必要があります。

カーディオ負荷ステータス

カーディオ負荷ステータスは、**負担**と**耐久力**の間の関係を調べ、それに基づいて、トレーニング不足、現状維持、効果的またはオーバートレーニングカーディオ負荷ステータスであるかどうかを示します。ステータスに基づいて個人的なフィードバックが得られません。


カーディオ負荷ステータスは、トレーニングがあなたの体に及ぼす影響とあなたの進歩にどのように影響するかを評価する際に役立ちます。過去のトレーニングが今日パフォーマンスにどのような影響を及ぼすかを知ることで、トレーニングの総量を制御し、トレーニングのタイミングをさまざまな強度で最適化することができます。トレーニングセッション後にトレーニングステータスがどのように変化するかを見ることで、トレーニングセッションによって発生した負荷の量を把握するのに役立ちます。


腕時計でのカーディオ負荷ステータス


時刻表示画面で、UP(右上)ボタンおよびDOWN(右下)ボタンを使用して、カーディオ負荷ステータス画面表示に移動します。




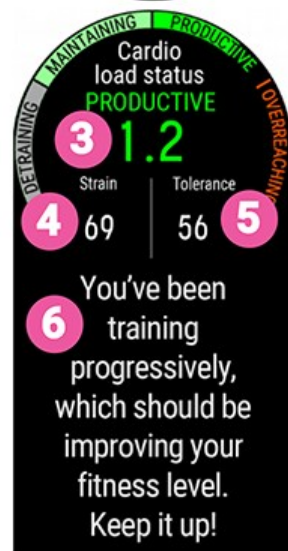
1. カーディオ負荷ステータスグラフ
2. カーディオ負荷ステータス

 オーバートレーニング(通常よりもはるかに高い負荷):

 効果的(負荷がゆっくと増加する)

 現状維持(通常よりやや低い負荷)

 トレーニング不足(通常より低い負荷)



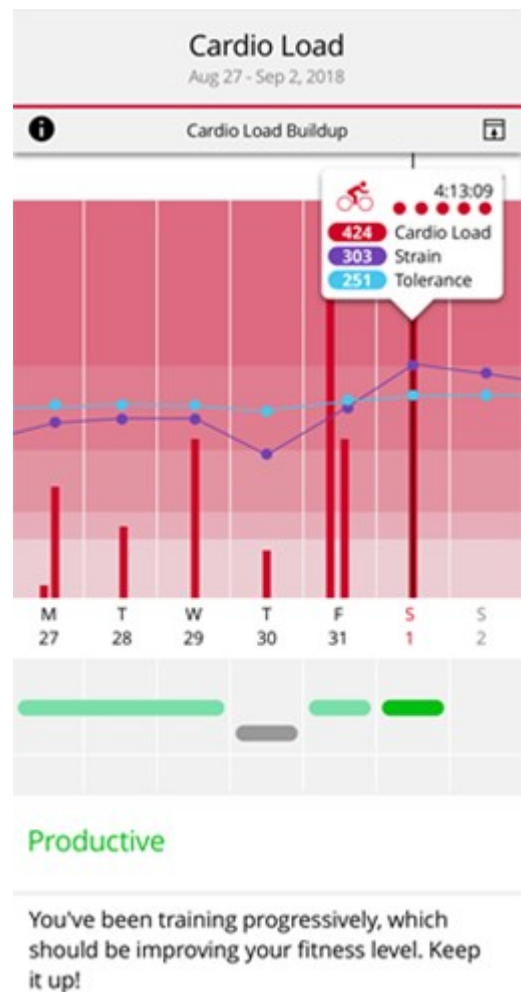
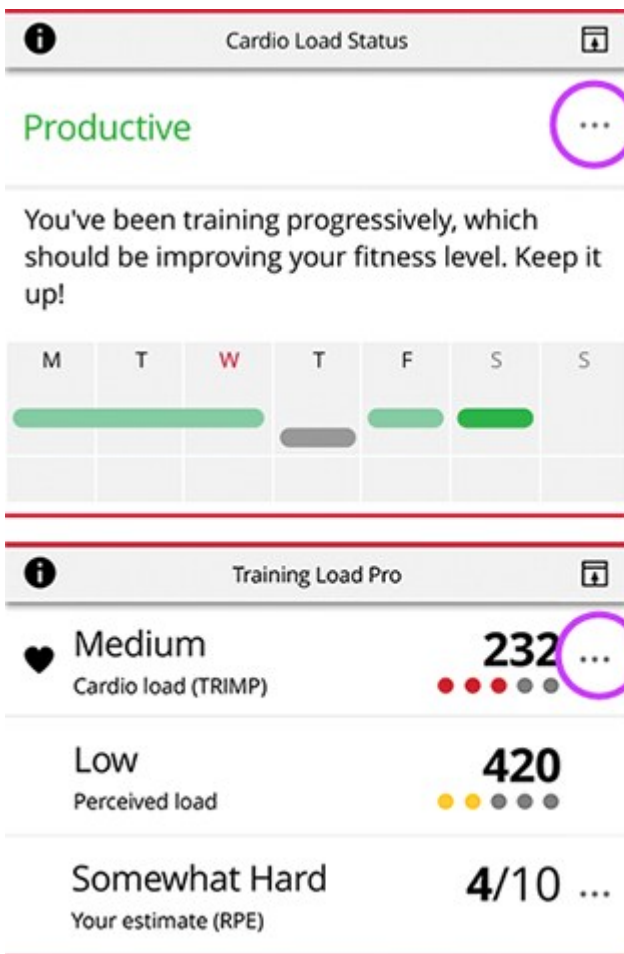
3. カーディオ負荷ステータスの数値(=負担を耐久力で除算した値)。
4. 負担
5. 耐久力
6. カーディオ負荷ステータスの言葉での説明

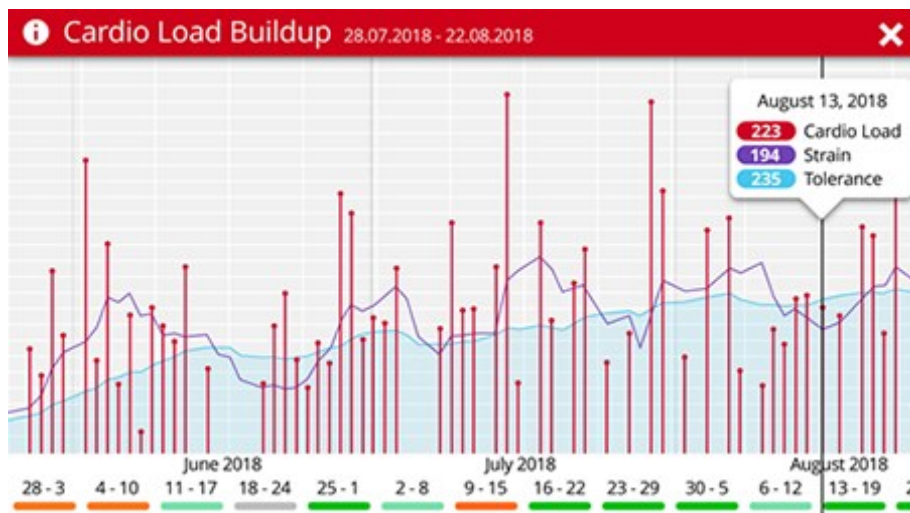
Flowアプリとウェブサービスにおけるカーディオ負荷ステータスの計算方法がアップデートされました。トレーニングを始めたばかりのときや、高強度でのトレーニングを終えた後の回復時など、負荷が低い状況でより実用的なフィードバックが得られるようになりました。新しいステータス「回復中」を追加し、低カーディオ負荷のフィードバックを調整しました。これで、効果的なレベルでトレーニングしていることをより良く反映できるようになりました。状況によっては、腕時計に表示されるフィードバックが、Flowアプリおよびウェブサービスに表示されるアップデート後のフィードバックと異なる場合があります。詳細については、[Flowアプリとウェブサービスにおけるカーディオ負荷ステータスフィードバックのアップデート](#)に関するサポート文書を参照してください。



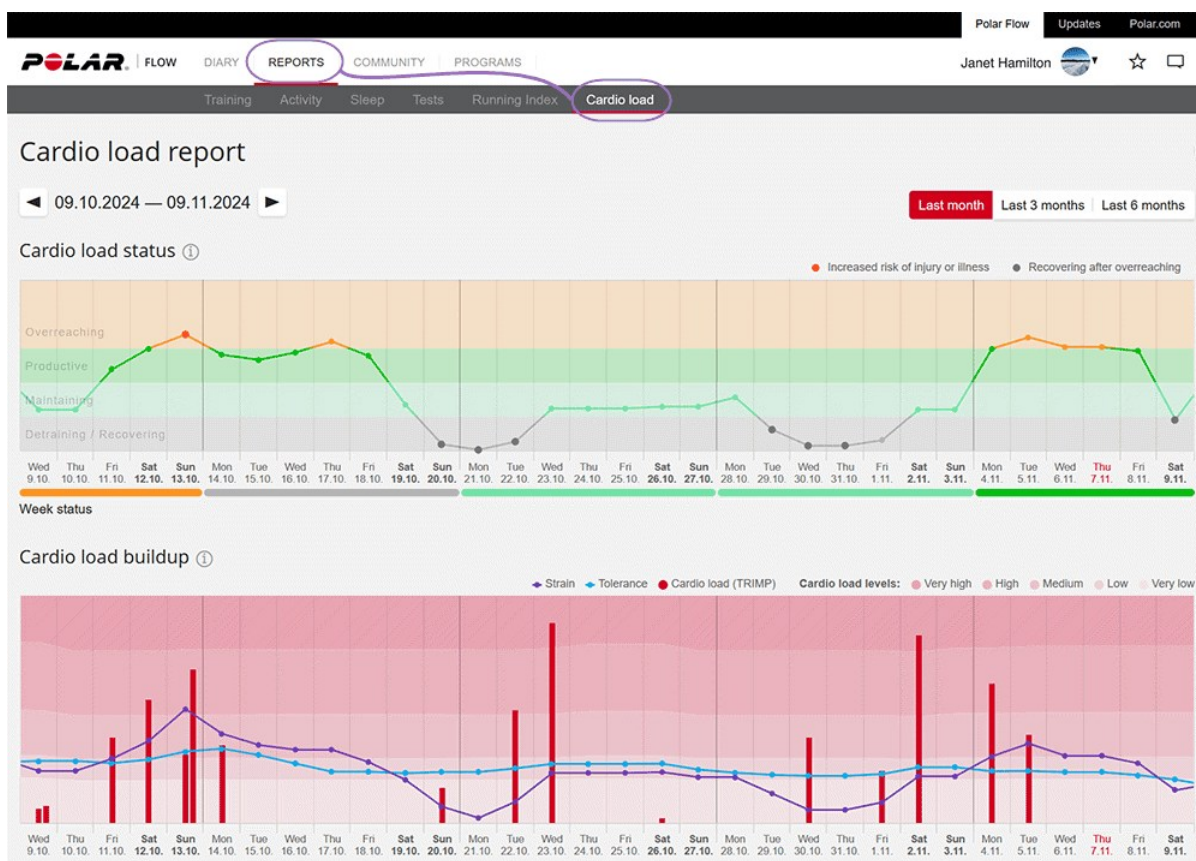
POLAR FLOWアプリとウェブサービスにおける長期的な分析

Polar Flowアプリとウェブサービスにおけるカーディオ負荷レポートでは、時間の経過とともにカーディオ負荷がどのように増強され、過去1週間または数か月にわたってカーディオ負荷がどのように変化したかを確認できます。Polar Flowアプリでカーディオ負荷の累積を表示するには、週間サマリー(カーディオ負荷ステータスモジュール)またはトレーニング概要(Training Load Proモジュール)の垂直3ドットアイコンをタップします。





Polar Flowウェブサービスにおいて、カーディオ負荷ステータスおよびカーディオ負荷の累積を表示するには、レポート > 心肺運動負荷に進みます。



カーディオ負荷ステータス

- オーバートレーニング(通常よりもはるかに高い負荷)
- 効果的(負荷がゆつくりと増加する)
- 現状維持(通常よりやや低い負荷)
- トレーニング不足 / 回復中(負荷は通常より低い)



赤色バーは、トレーニングセッションからのカーディオ負荷を示しています。バーが高くなればなるほど、あなたのカーディオシステムのトレーニングセッションはより困難になりました。



背景色は、5つの弾丸スケールや言葉の説明(かなり低い、低い、中程度、高い、とても高い)などのように、過去90日間のトレーニングセッション平均と比較して、トレーニングセッションがどれだけハードであったかを示します。



負担は、トレーニングにより、どれだけ疲れているかを示します。過去7日間の1日の平均カーディオ負荷を示します。



耐久力は、カーディオトレーニングにどれくらい耐える準備ができていないかを説明します。過去28日間の1日の平均カーディオ負荷を示します。カーディオトレーニングに対する耐久力を向上させるには、長期間にわたってトレーニングを徐々に増やしてください。

こちらの[詳細なガイド](#)でPolar Training Load Proの詳細が確認できます。

FUELWISE™

FuelWise™ 栄養補給リマインダー機能で、トレーニングセッション中も常にエネルギーあふれる力強さをキープ。FuelWise™は、栄養補給をリマインダーし、長時間に及ぶセッションでも適切なエネルギーレベルを維持するのに役立つ3つの機能を含んでいます。3つの機能とは、スマート炭水化物リマインダー、手動炭水化物リマインダー、そしてドリンクリマインダーです。

適切なエネルギーレベルを維持し、長時間にわたるパフォーマンスを通じて水分補給を十分に行うことは、本気で持久力を必要とするアスリート全員にとって非常に重要です。ベスト記録を残すためには、長いレースまたはトレーニングセッション中に炭水化物とドリンクの体内への定期的な補給が必須となります。炭水化物リマインダーとドリンクリマインダーという2つの便利なツールでFuelWiseは栄養と水分の最適な補給方法を見つけるのに役立ちます。

炭水化物は脂肪やタンパク質とは違って、すばやく吸収され、グルコースに変わるので栄養補給に理想的です。グルコースはトレーニング中に使用する主要なエネルギー源です。トレーニング強度が高くなると、脂肪燃焼量との比率において、より多くの炭水化物が消費されるようになります。トレーニングセッションが90分未満の場合、通常は炭水化物を補給する必要はありません。しかし、短時間のトレーニングセッション中でも炭水化物を余分に摂取することは、もっと機敏になり、集中力向上に役立ちます。

FUELWISEを使ったトレーニング

FuelWise™はメインメニューの**栄養補給**にあり、トレーニングセッション中の3種類のリマインダーによって構成されています。3種類のリマインダーとは、スマート炭水化物リマインダー、手動炭水化物リマインダー、そしてドリンクリマインダーです。スマート炭水化物リマインダーは、トレーニング頻度と身体情報を考慮に入れながら、トレーニングセッションの概算した強度と時間から必要な栄養補給量を計算します。手動炭水化物リマインダーとドリンクリマインダーは時間ベースで、例えば15分おきや30分おきなどあらかじめ設定されたインターバルでリマインダー通知が届きます。

栄養補給機能のうちいずれかを使用している場合、トレーニングセッションは**栄養補給**メニューから始まります。リマインダーを設定し、**次へ**を選択すると、プレトレーニングモードになります。次にスポーツプロファイルを選択し、トレーニングセッションを開始します。

スマート炭水化物リマインダー

スマート炭水化物リマインダーを使用する場合は、トレーニングセッションの概算した時間と強度を設定し、トレーニングセッション中に栄養補給が必要な炭水化物の量を算出します。栄養補給に必要な炭水化物の量を算出する場合、トレーニング頻度と年齢、性別、身長、体重、最大心拍数、安静時の心拍数、最大酸素摂取量、有酸素心拍数閾値、無酸素心拍数閾値を含む身体設定を考慮に入れています。

炭水化物の吸収能力はトレーニング頻度から算出されます。この能力によって炭水化物の最大量(1時間当たりのグラム)に制限され、スマート炭水化物リマインダーが最大量を通知します。このデータは、身体設定に基づいて心拍数と炭水化物消費量の関係を事前計算するときに使用します。炭水化物の推奨摂取率は、心拍数データと事前計算した心拍数対炭水化物消費量の比率関係に基づいて、上下に(上限と下限の範囲内で)調整されます。

トレーニング中、腕時計は実際のエネルギー消費量をトラッキングし、それに合わせてリマインダーの頻度を調整しますが、ポーションサイズ(炭水化物のグラム量)は1つのトレーニングセッションを通じて常に同じです。

スマート炭水化物リマインダーの設定

1. メインメニューで「栄養補給」>「スマート炭水化物リマインダー」を選択します。
2. トレーニングセッションの概算所要時間を設定します。30分が最小値です。
3. トレーニングセッションの概算強度を設定します。強度は心拍ゾーンとともに設定されます。様々なトレーニング強度について詳しく知るには、[心拍ゾーン](#)を参照してください。
4. 希望の補給食の**一食ごとの炭水化物量** (5-100グラム) を設定します。
5. 「次へ」を選択します。

リマインダーを設定すると、選択内容の概要が表示されます。この時点で、いま設定したリマインダーを削除することやドリンクリマインダーを追加することができます。トレーニングセッションを開始する準備ができたなら、「今すぐ使う」を選択して、プレトレーニングモードに進みます。

スマート炭水化物リマインダーにドリンクリマインダーを追加すると、リマインダーごとに必要なハイドレーションも概算されます。これは適度な運動量における条件下での平均発汗量を基準にしています



炭水化物を摂取する時間が来ると、バイブレーションや音とともに「カーボ要 () g」がディスプレイに表示されます。

手動炭水化物リマインダー

あらかじめ設定したインターバルで炭水化物を摂取するよう通知してくれるので、栄養補給された状態を維持するのに役立つ時間ベースのリマインダーです。5分から60分のインターバルで通知するよう設定できます。

手動炭水化物リマインダーの設定

1. メインメニューで「栄養補給」>「手動炭水化物リマインダー」を選択します。
2. リマインダーのインターバル(5-60分)を設定します。

リマインダーを設定すると、選択内容の概要が表示されます。この時点で、いま設定したリマインダーを削除することやドリンクリマインダーを追加することができます。トレーニングセッションを開始する準備ができたなら、「今すぐ使う」を選択して、プレトレーニングモードに進みます。



炭水化物を摂取する時間が来ると、バイブレーションや音とともに「カーボ要」がディスプレイに表示されます。

ドリンクリマインダー

水分を摂取するよう通知し、水分補給された状態を維持するのに役立つ時間ベースのリマインダーです。5分から60分のインターバルで通知するよう設定できます。

ドリンクリマインダーの設定

1. メインメニューで「**栄養補給**」>「**ドリンクリマインダー**」を選択します。
2. リマインダーのインターバル(5-60分)を設定します。

リマインダーを設定すると、選択内容の概要が表示されます。この時点で、いま設定したリマインダーを削除することや炭水化物リマインダーを追加することができます。トレーニングセッションを開始する準備ができたなら、「**今すぐ使う**」を選択して、プレトレーニングモードに進みます。



水分を摂取する時間が来ると、バイブレーションや音とともに「**ドリンク補給**」がディスプレイに表示されます。

FuelWise™について詳しく知るには: [FuelWise™](#)

ランニングパフォーマンステスト

ランニングパフォーマンステストは、ランニングスポーツにおいて、ランナーが自身の進捗状況を把握し、自分のトレーニングゾーン(心拍数、スピード、パワーゾーン)が確認できるよう開発されたツールです。テストを定期的に頻繁に実行することで、効率の良いトレーニングを計画することができ、またランニングパフォーマンスの変化をチェックすることが可能になります。

マックステストまたはサブマックステストのどちらも選べます。(ただし、最低でも最大心拍数の85%に到達することが必要です)。マックステストでは最大努力を要しますが、結果データの精度が高まります。マックステストでは、現在の個々の最大心拍数をチェックし、既存の設定内容をアップデートするのに役立つ最適な方法といえます。マックスランニングテストは、サブマックステストと比較すると、かなりの負荷が伴います。したがって、マックステスト実行直後の1~3日間は、軽めのトレーニングを心がけることをおすすめします。

サブマックステストは最大心拍数の85%さえ超えていれば実行可能な、安全であり労力を伴わないという特徴があり、マックステストの準備ができていない方には適当なオプションだと言えます。サブマックステストは何度でも繰り返し行うことができます。トレーニングセッション前のウォームアップエクササイズの一環として取り入れることもできるでしょう。個人設定に最大心拍数の正確なデータが設定されているかどうかは、サブマックステストの結果データの精度に影響する大変重要なポイントとなります。なぜならサブマックステストは最大心拍数の値から結果データを算出するからです。自分の最大心拍数を知らない方は、まずマックステストを行い最大心拍数を確認することから始めましょう。

できるだけ正確なテンポで、設定したスピード目標に向けて一定のペースでスピードを上げながら走ってください。テストを完了させるには、少なくとも最大心拍数の85%に到達することが必要となります。このターゲットに満たないケースは、現在の最大心拍数の設定値が高すぎる可能性が考えられます。個人設定の内容は手動で変更することができます。

テストの実施

テスト実行前に、ユーザーマニュアルの[健康とトレーニングに関する項目](#)、または商品パッケージに同梱されている重要情報シートをよくお読みください。病気を患っている時、ケガをしている時、また健康状態に何らかの不安がある場合は、テストを行わないでください。十分に回復したと確認できたら、テストを実行しましょう。当日、テスト前に疲労を伴うエクササイズは控えてください。ランニングシューズ、動きを妨げない衣服を着用してください。

テストは平らな地面で実行してください。似た環境において、定期的に繰り返し行ってください。できるだけ正確なテンポで、設定したスピード目標に向けて一定のペースでスピードを上げながら走ってください。テスト前の条件も毎回似た環境下で行ってください。

たとえば、前日に激しいトレーニングセッションを実行した、テスト直前に食事を多めにとった、などの要因はテスト結果に影響を及ぼします。テストを完了させるには、最短6分以上、少なくとも最大心拍数の85%に到達することが必要となります。

デフォルトではスピードの記録にGPSが作動するように設定されていますが、Bluetooth対応のストライドセンサーまたはSTRYDランニングパワーメーターを使ってテストを実行することも可能です。その場合、スピードはセンサーによって計測されます。

テスト中心拍数を検出できない時は、④「心拍センサーをチェック」のメッセージが表示されます。

テスト中衛星シグナルが途切れると、④「スピードをチェックできません、GPSシグナルが見つかりません」のメッセージが表示されます。

テストの詳細や実行方法を見る前に、腕時計の取扱方法詳細 [テスト > ランニングテスト > 使用方法](#) を再度お読みください。

1. まずはじめに [テスト > ランニングテスト > 開始時のスピード](#) から、スタートポイントのスピードを設定します。開始時のスピードは、4 ~ 10分/kmの範囲内で設定してください。開始時のスピードを高く設定しすぎると、テストを完了できない場合があります。
2. [テスト > ランニングテスト > スタート](#) 画面からスクロールダウンし、テストの概要をチェックします。テスト開始の準備ができたら、**次へ** を選択します。
3. 健康状態に関する質問に答え、確認項目をチェックし、プレトレーニングモードに移ります。
4. テスト表示画面にパープルカラーでスポーツプロファイルが表示されます。適当なインドアまたはアウトアのランニングを伴うスポーツプロファイルを選択します。腕時計がGPS衛星シグナル(GPSアイコンがグリーンに変わります)と心拍数を検出するまで、プレトレーニングモードのまま待機してください。
5. 表示画面かOKボタンを押して開始します。腕時計の指示に従って進めてください。
6. テストはまずウォームアップフェーズ(~10分)からスタートします。ディスプレイ画面のガイダンスに従って十分にウォームアップを行います。
7. しっかりとウォームアップしたら、**テスト開始** を選択します。実際のテストを開始するには、まず開始スピードに到達する必要があります。

テスト中：一定のペースで目標スピードに近づくために、青字で表示される数値にできるだけ従ってください。白字の数値は現在のスピードを表します。速すぎたり遅すぎたりペースが乱れると、腕時計からアラーム音がなります。



青い曲線の両端のスピードの数値は、許容範囲を示します。



一番下に表示されているのは現在のあなたの心拍数、サブマックステストに必要な最小心拍数、現在の最大心拍数の値です。

最大心拍数の値に到達しなかったとき、または越えてしまった時は、腕時計に**あなたの最大限の力を発揮できましたか?**の質問が表示されます。マックスレベルの能力が発揮できなくても、最大心拍数の85%ラインを超えていれば、テストはサブマックスレベルであると定義づけられます。現在の最大心拍数に到達、又はそれを越えると、テストは自動的にマックスレベルだと定義づけられます。

テスト結果

ランニングパフォーマンステストでは、あなたの最大有酸素パワー(MAP)、最大有酸素スピード(MAS)、最大酸素摂取量(VO_{2max})をチェックできます。さらにマックステストを実行すれば、最大心拍数(HR_{max})の値も知ることができます。最新テストの結果は、**テスト > ランニングテスト > 最新の結果**で確認できます。



- 最大有酸素パワー(MAP)は身体が摂取できる酸素量の最大値(VO_{2max})に達する時の最低運動強度です。最大有酸素パワーは通常、数分しか維持することができません。

- 最大有酸素スピード(MAS)は身体が摂取できる酸素量の最大値(VO_{2max})に達する時の最低運動強度です。最大有酸素スピードは通常、数分しか維持することができません。
- 最大酸素摂取量(VO_{2max})は最大限の身体能力を発揮している時に、身体が最大限に摂取できる酸素の量を示します。

MAP、MAS、 VO_{2max} の最新の値でスポーツプロファイル設定を更新すると、スピード、ペース、パワーゾーン、そしてカロリー計算において、あなたの現在のコンディションに適合するようにアップデートされます。さらにマックステストを実行すれば、最新の最大心拍数(HR_{max})値をベースにして心拍ゾーンもアップデート可能です。

注)トレーニングゾーンと最大心拍数(HR_{max})値を更新するには、結果データをPolar Flowアプリに同期させる必要があります。同期後にPolar Flowアプリを開くと、現在値を更新するかどうかメッセージが表示されます。ランニング系スポーツのスポーツプロファイル設定方法が更新されます。

トレーニング中パワーゾーン、スピード/ペースゾーン、心拍ゾーンをフォローすべきかどうかは、あなた自身の設定した目標とトレーニングのルーティン内容に因ります。パワーゾーンは、平らな地面、坂道、どちらでも特に関係ありません。スピードゾーンは、平らな地面を走る時のみ参照することができます。スピードゾーン、パワーゾーンは、共にインターバルトレーニングに役立つ機能です。

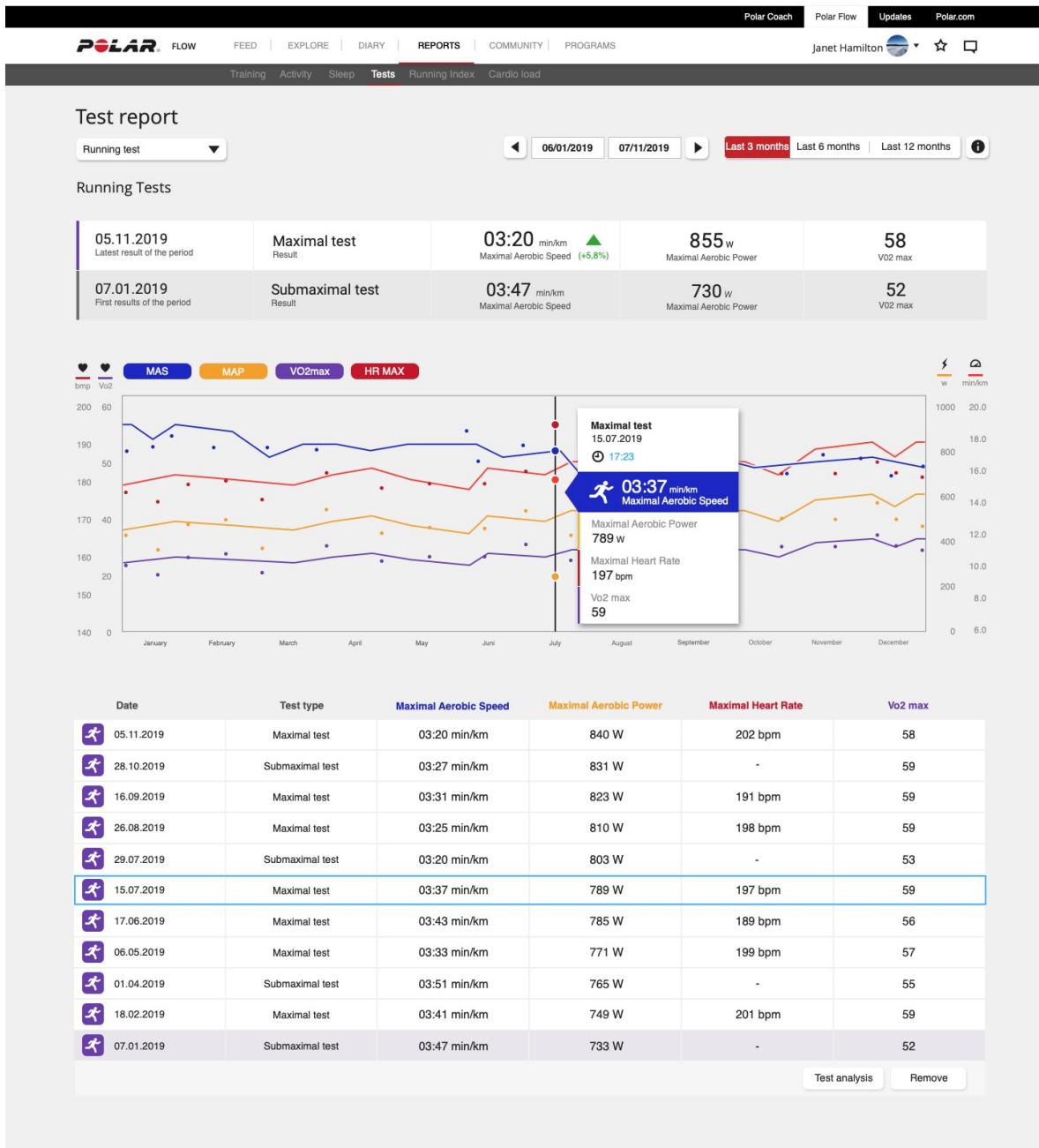
進捗状況を把握し適切なトレーニング強度をチェックする目的でランニングパフォーマンステストを行うなら、マックステストを3ヶ月ごとに繰り返すことをおすすめします。これは、トレーニングゾーンを常にアップデートしておくためです。進捗状況をさらに詳しくフォローするには、マックステストの間にサブマックステストを頻繁に繰り返すといいいでしょう。

注：ランニングパフォーマンステストでは、Running Indexの結果データを得ることはできません。

ランニングパフォーマンステストでは、入力した1つの体重データを反映します。注：体重設定を変更すると、テスト結果の比較をする際に影響を及ぼす可能性があります。

FLOWウェブサービスとアプリにおける詳細分析

Polar Flowに忘れずに同期しましょう。長期的なデータに基づく分析を行う際に役立つ、すべてのテストデータを、Polar Flowウェブサービスにまとめてあります。テストページでは今までに受けたすべてのテスト内容が確認でき、またその結果データを比較することが可能です。長期にわたる進捗状況やパフォーマンスの変化を確認できます。



手首で測定するランニングパワー

ランニングパワーは、心拍数のモニタリングと併用することで、あなたのランニングの外部負荷を測定できる優れたツールです。パワーはあなたの心拍数の速さを越えた時の強度によって変動します。ランニングパワーがインターバルやヒルクライムセッションで優れたガイダンスを提供できるのはそのためです。またこの機能を使用すれば、例えばレースなどのランニング中に、安定した走りのレベルを維持することも可能です。

値はGPSとバロメーターデータに基づき、Polar独自のアルゴリズムによって算出されます。この計算にはあなたの体重も影響するため、必ず最新の情報を記録しておいてください。

ランニングパワーと筋肉への負荷

Polarのシステム上、[Training Load Pro](#)のパラメーターの一つである筋肉への負荷はランニングパワーを用いて値を算出します。ランニングは筋骨格ストレスの原因ともなります。筋肉への負荷は、トレーニングセッション中に筋肉や関節にどれだけ負担がかかっているかを示します。これはランニングセッション(またはサイクリングパワーメーター使用時はサイクリングセッション)中に生成した自動的な動作(kJ)の量を表すものです。筋肉への負荷は、ショートインターバル、スプリント、ヒルセッションなど、心拍数が強度の変

化に反応するのに十分な時間がない高強度を要するランニングのトレーニングセッションで、トレーニング負荷を定量化するのに役立ちます。

腕時計画面上のランニングパワーの表示

ランニングパワーは、(GPSを使いランニングタイプのスポーツプロファイルを選択した場合の)ランニングセッションが終わると同時に自動的に算出されます。

Flowウェブサービスのスポーツプロファイル設定で、トレーニングビューをカスタマイズすることにより、セッション中に表示するパワーデータを選択できます。

ランニング中以下の項目を確認できます：



- 最大パワー
- 平均パワー
- ラップパワー
- 最大ラップパワー
- 平均オートラップパワー
- 最大オートラップパワー

セッション中、およびFlowウェブサービス、アプリでのパワーの表示方法を選択：

- ワット W
- kg当たりのワット数 W/kg
- MAPのパーセント値 (MAPの%値)

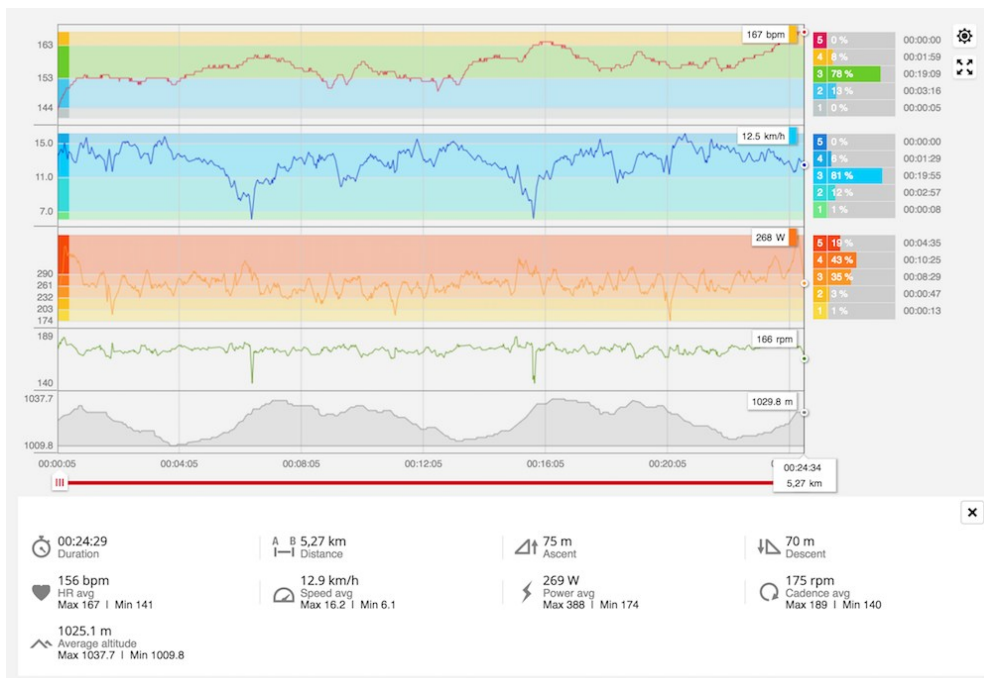
トレーニングセッションの後に腕時計の画面上に表示されるトレーニング概要で確認できる情報：



- あなたの平均パワー(ワット数)
- あなたの最大パワー(ワット数)
- 筋肉への負荷
- パワーゾーン内で費やした時間

Polarウェブサービス、アプリ上でのランニングパワーの表示方法：

分析に基づく詳細グラフは、Flowウェブサービスとアプリで確認できます。セッションから割り出されたあなたのパワー値、心拍数と比較してそれがどのように配分されたか、どのように上昇または下降したか、スピードの変化による影響を確認しましょう。



POLARランニングプログラム

Polarランニングプログラムは、あなたのフィットネスレベルに基づき、オーバートレーニングを避け、適切にトレーニングできるよう設計されたカスタマイズ可能なプログラムです。これはインテリジェントで、あなたの開発に基づいて適応し、いつレベルを下げるべきか、そしていつレベルを上げるべきかを知ることができます。各プログラムは、個人の特性、トレーニングの背景、調整時間を考慮しつつ、イベントに向けてカスタマイズできます。このプログラムは無料で、Polar Flowウェブサービス(www.polar.com/flow)で利用可能です。

プログラムは、5k、10k、ハーフマラソン、マラソンイベントで利用できます。各プログラムは、3つのフェーズ(基礎づくり、ビルドアップおよびテーピング)で構成されています。これらのフェーズは、徐々にあなたのパフォーマンスを開発し、あなたがレースの開催日に準備ができていないことを保証するように設計されています。ランニングトレーニングセッションは、イージー jog、ミディアムラン、ロングラン、テンポラン、およびインターバルの5つのタイプに分かれています。すべてのセッションには、ウォームアップ、ワーク、クールダウンのフェーズがあり、最適な結果が得られます。さらに、あなたの開発をサポートするために、筋力トレーニング、体幹トレーニング、モビリティトレーニングを行うこともできます。各トレーニング週は2〜5回のランニングセッションで構成され、週当たりのトレーニングセッションの合計時間は、フィットネスレベルに応じて1〜7時間です。プログラムの最短期間は9週間で、最大期間は20ヶ月です。

こちらの[詳細なガイド](#)でPolarランニングプログラムの詳細が確認できます。あるいは、「[ランニングプログラムの開始方法](#)」をお読みください。

ビデオを見るには以下のリンクをクリックしてください:

[使用開始方法](#)

[使用方法](#)

POLARランニングプログラムの作成

1. Polar Flowウェブサービス(www.polar.com/flow)にログインします。
2. タブからPrograms(プログラム)を選択します。
3. イベントを選択し、それに名前を付け、イベント日を設定し、いつプログラムを開始するかを設定します。
4. 身体アクティビティレベルの質問に記入します。*
5. プログラムにサポートトレーニングを含めるかどうかを選択します。
6. 身体的活動に関するアンケートを読み、記入します。
7. プログラムを確認し、必要に応じて設定を調整します。
8. 完了後、Start program(プログラム開始)を選択します。

* 4週間のトレーニング履歴が利用可能な場合、これらは事前に入力されます。

ランニング目標を開始

セッションの開始前に、トレーニングセッション目標をデバイスに同期していることを確認します。セッションは、トレーニング目標としてデバイスに同期されます。

その日に計画されたトレーニング目標を開始するには:

1. OK(右中央)ボタンを長押しして、プレトレーニングモードに入ります。
2. その日に計画されたトレーニング目標を開始するよう促されます。



3. OK(右中央)ボタンを押して、目標情報を表示します。
4. OK(右中央)ボタンを押して、プレトレーニングモードに戻り、使用するスポーツプロフィールを選択します。
5. 腕時計がすべての信号を見つけたら、OK(右中央)ボタンを押します。「記録を開始しました」と表示されたら、トレーニングを開始します。

あなたの進捗状況をフォロー

トレーニング結果は、USBケーブルまたはFlowアプリを経由して、デバイスからFlowウェブサービスに同期します。Programs(プログラム)タブから、進捗状況をフォローします。現在のプログラムの概要と進捗状況が表示されます。

ランニングインデックス

ランニングインデックスで、ランニングパフォーマンスの変化が簡単に把握できます。ランニングインデックススコアとは、最大有酸素ランニングパフォーマンス(VO_{2max})の推定値です。長期間にわたりランニングインデックスを記録することで、ランニングがいかに効率的で、ランニングパフォーマンスを向上させるかを確認できます。インデックスの向上は、同じペースを楽に維持できるようになったり、同じ労力でより早く走れるようになることを意味します。

パフォーマンスのより正確なデータを得るには、 HR_{max} 値を設定済みであることを確認してください。

心拍数が測定され、GPS機能がオンである/ストライドセンサーを使用している場合、以下の条件を満たした場合に毎回のトレーニングセッションにおいてランニングインデックスを算出します:

- スポーツプロフィールはランニングタイプのスポーツを選択している(ランニング、ロードランニング、トレイルランニングなど)
- 6km/h(3.75マイル/h)以上の速さで最短12分以上走り続けること

セッションの記録を開始すると算出は開始します。セッション中、赤信号などで2回まで中断しても算出は続きます。

Running Indexは、地形効果も考慮します。同じペースでも、上り坂のランニングは平らな地面でのランニングより生理的なストレスが高く、下り坂のランニングは平らな地面でのランニングよりもストレスが低くなります。上り坂と下り坂が考慮されるよう、高度データが有効であることを確認してください。高度データは気圧計によって収集されます。

GPSをオフに設定してランニングセッションでBluetooth対応のストライドセンサーを使用する時は、Running Indexの結果を取得するためにセンサーの校正をおこなう必要があります。

① 腕時計のトレーニングセッションのサマリーでランニングインデックスを表示できます。[Polar Flowウェブサービス](#)で進捗や、レースタイムの概算が確認できます。

以下の表で結果を比較してください。

短期的な分析

男性

年齢/年	とても低い	低い	普通	良い	高い	非常に高い	最高
20-24	< 32	32-37	38-43	44-50	51-56	57-62	> 62
25-29	< 31	31-35	36-42	43-48	49-53	54-59	> 59
30-34	< 29	29-34	35-40	41-45	46-51	52-56	> 56
35-39	< 28	28-32	33-38	39-43	44-48	49-54	> 54
40-44	< 26	26-31	32-35	36-41	42-46	47-51	> 51
45-49	< 25	25-29	30-34	35-39	40-43	44-48	> 48
50-54	< 24	24-27	28-32	33-36	37-41	42-46	> 46
55-59	< 22	22-26	27-30	31-34	35-39	40-43	> 43
60-65	< 21	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	> 40

女性

年齢/年	とても低い	低い	普通	良い	高い	非常に高い	最高
20-24	< 27	27-31	32-36	37-41	42-46	47-51	> 51
25-29	< 26	26-30	31-35	36-40	41-44	45-49	> 49
30-34	< 25	25-29	30-33	34-37	38-42	43-46	> 46
35-39	< 24	24-27	28-31	32-35	36-40	41-44	> 44
40-44	< 22	22-25	26-29	30-33	34-37	38-41	> 41
45-49	< 21	21-23	24-27	28-31	32-35	36-38	> 38
50-54	< 19	19-22	23-25	26-29	30-32	33-36	> 36
55-59	< 18	18-20	21-23	24-27	28-30	31-33	> 33
60-65	< 16	16-18	19-21	22-24	25-27	28-30	> 30

分類は米国、カナダ、欧州7か国で健康な大人の被験者から VO_{2max} を直接測定した62の調査の文献のレビューに基づいています。参考文献: Shvartz E、Reibold RC。『6歳～75歳の男性および女性の有酸素運動能力の基準: レビュー。』「Aviat Space Environ Med」誌、61:3-11, 1990。

ランニングインデックスは日によって変動する場合があります。多くの要因がランニングインデックスに影響します。測定値は、走る環境や地面の変化、風や気温など様々な要因の影響を受けます。

長期的な分析

1つのランニングインデックスの値から、その特定距離のランニングを成功させる為の傾向が読み取れます。Polar FlowウェブサービスのPROGRESS(進捗状況)タブの下で、ランニングインデックスを見つけることができます。このレポートは、あなたのランニングパフォーマンスがどのように長期間にわたって改善されたかを示しています。ランニングイベントに対するトレーニングを行うために、[Polar](#)

ランニングプログラムを使用している場合、ランニングインデックスの進捗状況に従って、ランニングがどのような目標に向かって改善されているかを確認できます。

以下の表は、そのランナーが最大限のパフォーマンスで、ある特定の距離を走る時間を推定しています。長期間にわたるランニングインデックスの平均値を、この表にあてはめることができます。推定値は、ランニングインデックスを計測した時と同じようなスピードや条件であった場合、より正確になります。

ランニングインデックス	Cooperテスト (m)	5 km (h:mm:ss)	10 km (h:mm:ss)	21.098 km (h:mm:ss)	42.195 km (h:mm:ss)
36	1800	0:36:20	1:15:10	2:48:00	5:43:00
38	1900	0:34:20	1:10:50	2:38:00	5:24:00
40	2000	0:32:20	1:07:00	2:29:30	5:06:00
42	2100	0:30:40	1:03:30	2:21:30	4:51:00
44	2200	0:29:10	1:00:20	2:14:30	4:37:00
46	2300	0:27:50	0:57:30	2:08:00	4:24:00
48	2400	0:26:30	0:55:00	2:02:00	4:12:00
50	2500	0:25:20	0:52:40	1:57:00	4:02:00
52	2600	0:24:20	0:50:30	1:52:00	3:52:00
54	2700	0:23:20	0:48:30	1:47:30	3:43:00
56	2800	0:22:30	0:46:40	1:43:30	3:35:00
58	2900	0:21:40	0:45:00	1:39:30	3:27:00
60	3000	0:20:50	0:43:20	1:36:00	3:20:00
62	3100	0:20:10	0:41:50	1:32:30	3:13:00
64	3200	0:19:30	0:40:30	1:29:30	3:07:00
66	3300	0:18:50	0:39:10	1:26:30	3:01:00
68	3350	0:18:20	0:38:00	1:24:00	2:55:00
70	3450	0:17:50	0:36:50	1:21:30	2:50:00
72	3550	0:17:10	0:35:50	1:19:00	2:45:00
74	3650	0:16:40	0:34:50	1:17:00	2:40:00
76	3750	0:16:20	0:33:50	1:14:30	2:36:00
78	3850	0:15:50	0:33:00	1:12:30	2:32:00

トレーニング効果

トレーニング効果機能は、トレーニングごとに効果に関するフィードバックを提供し、効果をより実感するのに役立ちます。また、フィードバックはFlowアプリおよびFlowウェブサービスでも確認できます。フィードバックを得るには、[心拍ゾーン](#)で合計10分以上のトレーニングをする必要があります。

トレーニング効果に関するフィードバックは、心拍ゾーンに基づき、各心拍ゾーンにおけるトレーニング時間と消費カロリーから判断されます。

各トレーニング効果の説明は、下の表をご覧ください。

フィードバック	トレーニング効果
マキシマム(限界)トレーニング+	素晴らしいトレーニングでした! スプリント速度と運動効率の改善に必要な筋組織の神経伝達が向上しました。またこのセッションは、疲労耐性を向上させました。
マキシマム(限界)トレーニング	素晴らしいトレーニングでした! スプリント速度と運動効率の改善に必要な筋組織の神経伝達が向上しました。
マキシマム(限界)およびテンポトレーニング	素晴らしいトレーニングでした! スピードと運動効率の向上に役立ちました。このセッションは有酸素運動能力を高め高強度の運動を長時間持続する能力の向上に大変効果的です。
テンポおよびマキシマム(限界)トレーニング	素晴らしいトレーニングでした! 有酸素運動能と高強度の運動を長時間持続する能力を向上しました。またこのセッションは速度と運動効率を向上しました。
テンポトレーニング+	素晴らしいペースで長時間よく継続しました! 有酸素運動能力、スピード及び高強度の運動を長時間持続する能力を向上しました。またこのセッションは、疲労耐性を向上させました。
テンポトレーニング	素晴らしいペースです! 有酸素運動能力、スピード及び高強度の運動を長時間持続する能力を向上しました。
テンポおよび安定状態トレーニング	良いペースです! 高強度の運動を長時間持続する能力を向上させました。またこのセッションは有酸素運動能力と筋持久力を改善しました。
安定状態およびテンポトレーニング	良いペースです! 有酸素運動能力と筋持久力を向上させました。また、このセッションは高強度の運動を長時間持続する能力を改善しました。
安定状態のトレーニング+	素晴らしい! この長時間セッションで有酸素運動能力と筋持久力を向上しました。また、疲労耐性を改善しました。
安定状態トレーニング	素晴らしい! 筋持久力と有酸素運動能力を向上させました。
安定状態および基礎トレーニング、ロング	素晴らしい! この長時間セッションで有酸素運動能力と筋持久力を向上しました。また、基礎持久力と脂肪燃焼能力も改善しました。
安定状態および基礎トレーニング	素晴らしい! 筋持久力と有酸素運動能力を向上させました。また、このセッションで、基礎持久力と脂肪燃焼能力を改善しました。
基礎および安定状態のトレーニング、ロング	素晴らしい! この長時間セッションは、持久力と脂肪燃焼能力を改善させました。また、このセッションでは筋持久力と有酸素能力を向上させました。
基礎および安定状態のトレーニング	素晴らしい! 基礎持久力と脂肪燃焼能力を向上させました。また、このセッションでは筋持久力と有酸素能力を向上させました。
基礎トレーニング、ロング	素晴らしい! この長時間の低強度セッションで基礎持久力と脂肪燃焼能力を向上させました。
基礎トレーニング	よくできました! この低強度のセッションで、基礎持久力と脂肪燃焼能力を向上させました。
回復トレーニング	回復のために非常に良いセッションでした。このような軽い運動により体がトレーニングに慣れていきます。

スマートカロリー

市販される製品の中でも最も正確なカロリーカウンターの一つで、個人のデータに基づいて正確な消費カロリーを計算します。

- 体重、身長、年齢、性別
- 個人の最大心拍数(HR_{max})
- トレーニングまたはアクティビティの強度
- 最大酸素摂取量($VO2_{max}$)

カロリー計算は、加速度と心拍数データの組み合わせに基づきます。カロリー計算は正確にトレーニングでの消費カロリーを測定します。

トレーニング中に累積エネルギー消費量(キロカロリー、kcal)、トレーニング後にトレーニングセッションの消費カロリーを表示します。1日の合計消費カロリーを記録することもできます。

継続的な心拍数

継続的な心拍計測の機能は、24時間心拍数を測定します。これにより、サイクリングといった手首の動きの少ないアクティビティも記録できるため、日常的なカロリー消費と全体的なアクティビティの正確な測定が可能となります。

腕時計での継続的な心拍数

腕時計の「設定」>「基本設定」>「継続的な心拍計測」で、継続的な心拍計測機能をオン、オフまたは夜間のみモードに切り替えることができます。夜間のみモードを選択する場合、最も早い就寝時刻で開始するように心拍数計測をセットします。

① この機能は、デフォルトでオフになっています。腕時計で継続的な心拍計測機能を使用し続けると、電池を早く消耗します。Nightly Rechargeを機能させるために、継続的な心拍計測を有効にする必要があります。電池を節約して、さらにNightly Rechargeを使用する場合、継続的な心拍数計測を夜のみにセットします。

時刻表示画面で、UP(右上)ボタンおよびDOWN(右下)ボタンを使用して、心拍数文字盤表示に移動します。OKボタンを押して詳細表示を開きます。



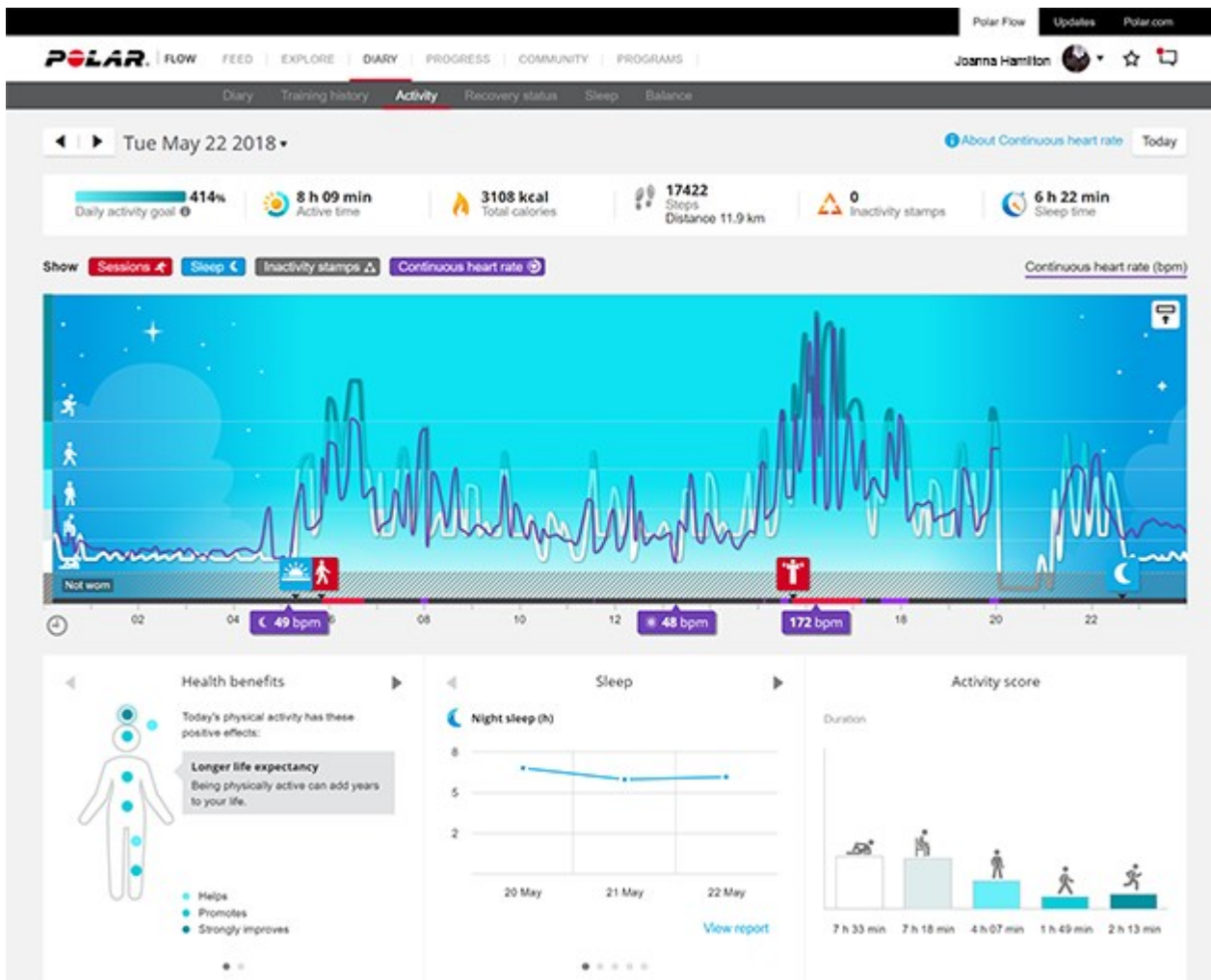
この機能がオンになっていると、腕時計は継続的に心拍数を測定し、それを心拍数画面表示に表示します。詳細を開くと、その日の最高心拍数と最低心拍数を確認したり、前夜の最低心拍数を確認することもできます。

腕時計は5分間隔で心拍数を追跡し、Polar FlowアプリまたはWebサービスで後で分析するためにデータを記録します。心拍数が上昇していることを腕時計が検知すると、継続的に心拍数を記録し始めます。継続的な記録は、1分以上速いペースで歩いた場合など、手首の動きに応じて開始することもできます。アクティビティレベルが十分に低くなると、心拍数の継続的な記録が自動的に停止します。腕が動いていないこと、または心拍数が上がっていないことを腕時計が検出すると、5分周期で心拍数が追跡され、その日の最も低い心拍数がわかります。

場合によっては、日中の最高または最低心拍数として連続心拍数サマリーに表示されるよりも、日中の腕時計の心拍数が低いことがあります。これは、表示されている測定値が計測間隔外にある場合に発生する可能性があります。

① 継続的な心拍数機能がオンで、背面のセンサーが肌に触れているときは、腕時計の背面にあるLEDが常に点灯しています。手首から正確な心拍数を読み取るための腕時計の装着方法については、[手首での心拍計測](#)を参照してください。

Polar Flowでは、ウェブまたはモバイルアプリのいずれかで、より詳細かつ長期間の継続的な心拍計測データを読み取ることができます。こちらの[詳細なガイド](#)で継続的な心拍計測の詳細を確認できます。



24時間/365日 アクティビティラッキング

腕時計は、腕の動きを内蔵3D加速度センサーで計測し、アクティビティを記録します。運動の頻度、強度、動きの規則性を身体情報と合わせて分析し、トレーニングに加え日常生活においても、どれくらいアクティブに過ごしたかを知らせてくれます。より正確なアクティビティ記録の結果が得られるよう、利き腕でない腕に腕時計を装着してください。

アクティビティ目標

腕時計の設定により、個人のアクティビティ目標を取得できます。アクティビティ目標は、個人データとアクティビティレベル設定に基づいており、Polar Flowアプリまたは[Polar Flowウェブサービス](http://www.polar.com/flow)で確認できます。

目標を変更する場合、Polar Flowアプリを開き、メニュー画面の名前/プロフィール写真をクリックし、下方にスワイプして「**アクティビティ目標**」を表示します。www.polar.com/flowにアクセスして、Polarアカウントにサインインします。名前をクリックして**> 設定 > アクティビティ目標**に進みます。あなたの典型的な1日とアクティビティ状態に近いものを選択します。選択エリアでは、選択したレベルの1日のアクティビティ目標を達成するまでの程度アクティブである必要があるか確認できます。

アクティビティ目標を達成するまで、1日に必要なアクティブ時間は、選択したレベルとアクティビティの強度により異なります。より集中的な運動により目標に達成する、または、1日を通して負担の少ない運動でアクティブに過ごすことができます。年齢や性別もアクティビティ目標を達成するのに必要な強度に影響します。年齢が若いほど、必要なアクティビティの強度は高まります。

腕時計のアクティビティデータ

時刻表示画面で、UP(右上)ボタンおよびDOWN(右下)ボタンを使用して、アクティビティ画面表示に移動します。



画面表示の周りにある円と日付・時刻の下のパーセント表示が、毎日のアクティビティ目標の達成状況を示します。円はアクティブになるにつれて満たされていきます。

さらに、以下のように1日の蓄積されたアクティビティ詳細を見ることができます：



- これまでの歩数。運動の量と種類が記録され、歩数の算出に変わります。
- アクティブ時間は、健康に適した運動の合計時間を表します。
- トレーニングとアクティビティによる消費カロリー数と、BMR(Basal metabolic rate: 生命を維持するために必要な最小代謝量・基礎代謝率)。

低活動アラート

身体活動が健康維持の主要な要因であることは、広く知られています。身体活動に加えて、長時間座り続けることを避けることが重要です。たとえ、日々トレーニングや十分なアクティビティを行っていても、長時間座り続けていることは健康に良くありません。腕時計は、1日のうちで動いていない時間が長すぎないかを判断し、座り続けることで健康に好ましくない影響が出ないようにサポートします。

55分間動いていない状態が続くと、低活動アラートを受け取ります：バイブレーションと共に、**It's time to move**(さあ、動きましょう!)と表示されます。立ち上がって、アクティブになる方法を見つけましょう。短い散歩をしたり、ストレッチをしたり、他の軽いアクティビティをしてください。動き始めるか、BACK(左下) ボタンを押すと、メッセージが消えます。低活動アラートから5分間以内に動かないと、低活動スタンプがつかます。これは同期後、Polar FlowアプリやFlowウェブサービス上で表示されます。Polar FlowアプリおよびPolar Flowウェブサービスで、低活動スタンプの数を確認できます。日々の習慣を見直し、よりアクティブな生活を指すの役に立ちます。

FLOWアプリおよびFLOWウェブサービスのアクティビティデータ

Flowアプリで、いつでもアクティビティデータを確認、分析できます。また、腕時計のデータをワイヤレスでFlowウェブサービスに同期できます。また、Flowウェブサービスでは、さらに詳細なアクティビティ情報が確認でき、理解を深めることができます。アクティビティレポート(進捗タブ)により、1日のアクティビティの長期トレンドを確認できます。日別、週別、月別のレポートを選択できます。

こちらの[詳細なガイド](#)で24時間/365日 アクティビティラッキングの詳細を確認できます。

アクティビティガイド

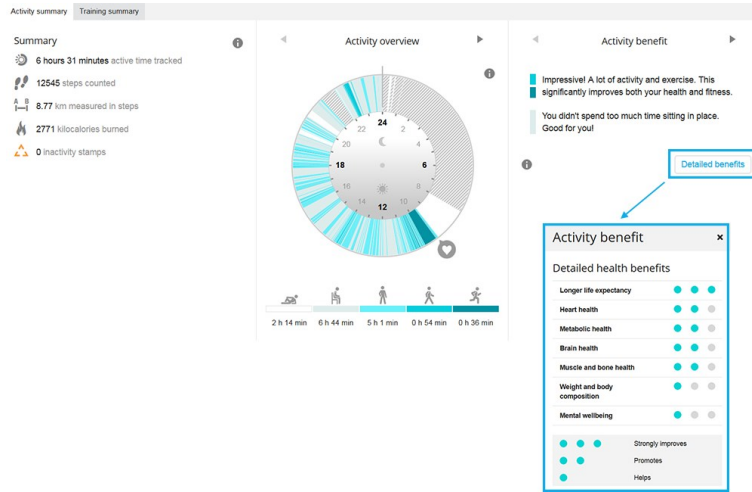
アクティビティガイド機能は、一日においてどの程度アクティブに運動したか、推奨される1日の活動量達成のためにどの程度のアクティビティが必要か教えてくれます。その日のアクティビティ目標の達成状況は、腕時計、Polar Flowアプリ、またはPolar Flowウェブサービスで確認できます。

詳細については、「[毎日24時間のアクティビティ記録](#)」をご確認ください。

アクティビティ効果

アクティビティ効果は、アクティブに過ごしていたことによる健康への効果と座り続けていたことによる健康への好ましくない影響についてフィードバックを提供します。フィードバックは、国際的なガイドライン、また、身体的活動と座り続けていることによる健康への影響に対する研究に基づいています。基本として、運動量が多いほど、健康への効果も大きくなります！

FlowアプリおよびFlowウェブサービスでは、1日のアクティビティのアクティビティ効果を確認できます。毎日、週ごと、月ごとにアクティビティ効果を確認できます。また、Flowウェブサービスで健康への効果についての詳細を確認することもできます。



詳細については、「[毎日24時間のアクティビティ記録](#)」をご確認ください。

NIGHTLY RECHARGE™ 回復計測

Nightly Recharge™ は夜間に回復状態を測定するシステムです。日中に受けた負荷から、どれだけ回復できたのかを確認できます。Nightly Recharge ステータスは、睡眠の質はどうだったか(睡眠ステータス)、睡眠(自律神経ステータス)の最初の何時間かの際に自律神経ステータス(ANS)がどの程度沈静化したか、の2つの要素をベースにしています。両要素は、昨夜の睡眠を過去28日間の通常レベルに対して比較することにより算出されます。腕時計は、夜間に睡眠ステータスと自律神経ステータスの両方を自動的に測定します。

Nightly Recharge ステータスは、腕時計の画面上、またはPolar Flowアプリから確認できます。測定したあなたのデータをベースにして、動きの内容や、睡眠状態に関するアドバイス、特に調子のよくない日などには、Polar Flowアプリで、エネルギーレベルの上げ方などを提案します。Nightly Rechargeにより、総合的な健康状態の向上と、トレーニング目標達成に近づくために、日々どのような生活を送ることが適当であるかを、把握することが可能になります。

Nightly Rechargeの使用を開始する方法

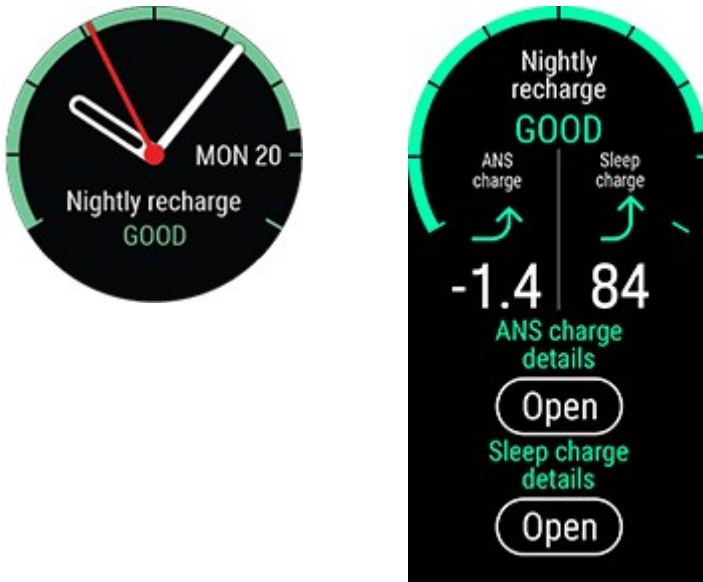


1. Nightly Rechargeを機能させるために、継続的な心拍計測を有効にする必要があります。継続的な心拍数計測を有効にするために、「設定」>「基本設定」>「継続的な心拍数計測」に進み、「オン」または「夜間のみ」を選択します。
2. 就寝時に、リストバンドを手首周りにきつく締め腕時計を装着します。腕時計の後面のセンサーが、常にあなたの皮膚と接触している必要があります。詳しい装着手順は、「[手首での心拍計測](#)」をご覧ください。
3. Nightly Recharge ステータスを腕時計上に表示する前に、腕時計を3晩装着する必要があります。あなたの通常レベルを検出するために最低限必要な期間であるためです。Nightly Rechargeデータを取得する前の段階でも、睡眠状態とANS測定データの詳細(心拍数、心拍数変動、呼吸数)は閲覧することができます。3晩正常に測定されると、Nightly Recharge ステータスが腕時計に表示されます。

腕時計でのNightly Recharge

腕時計が最短で4時間の睡眠を検知すると、Nightly Rechargeの画面表示に「お目覚めですか?」というメッセージが表示されます。OKを押して腕時計にあなたが目覚めたことを認識させます。OKで確認すると、腕時計にNightly Rechargeのサマリーが直ちに表示されます。Nightly Recharge ステータスは、昨夜の間にどれだけ回復できたかを示します。自律神経ステータスと睡眠ステータスのスコアは、Nightly Recharge ステータスを計算するときに考慮されます。Nightly Recharge ステータスは、次のスケールで評価されます：とても悪い-悪い-やや悪い-OK-良い-とても良い。

時刻表示画面で、UP(右上)ボタンおよびDOWN(右下)ボタンを使用して、Nightly Recharge文字盤表示に移動します。OKボタンを押してNightly Rechargeの詳細表示を開きます。



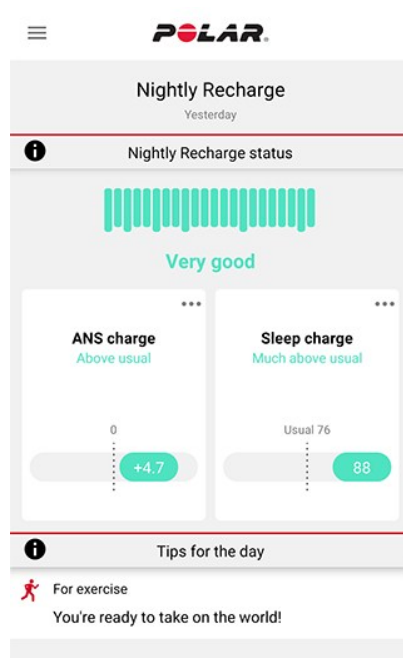
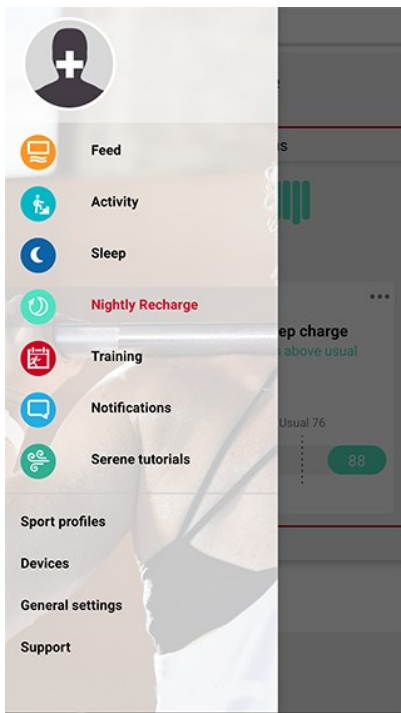
自律神経ステータスおよび睡眠ステータスに関する詳細情報を確認するには、自律神経ステータス詳細/睡眠ステータスまで下にスクロールしてOKボタンを押します。



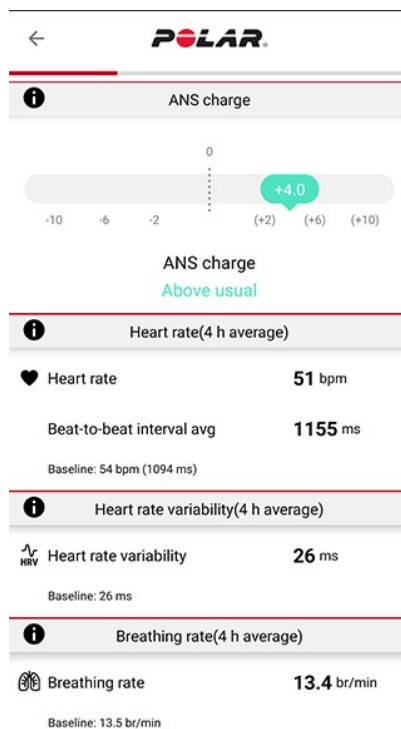
1. Nightly Recharge ステータスのグラフ
2. Nightly Recharge ステータスのスケール: とても悪い - 悪い - やや悪い - OK - 良い - とても良い。
3. 自律神経ステータスのグラフ
4. 自律神経ステータススケールは-10 ~ +10です。0前後が、あなたの通常レベルと考えてください。
5. 自律神経ステータスのスケール: 非常に低い - 通常より低い - 通常 - 通常より高い - 通常より非常に高い。
6. 心拍数 (bpm) (4時間平均)
7. 心拍間隔時間 (4時間平均)
8. 心拍数変動 (ミリ秒) (4時間平均)
9. 呼吸数 (br./分) (4時間平均)
10. 睡眠スコアのグラフ
11. 睡眠スコア (1 ~ 100) 睡眠時間と睡眠の質を1つの数字にまとめたスコアです。
12. 睡眠ステータス = 通常レベルに比較した睡眠スコアです。スケール: 非常に低い - 通常より低い - 通常 - 通常より高い - 通常より非常に高い。
13. 睡眠データ詳細詳細については、「腕時計の睡眠データ」ページ90をご覧ください。

Polar FlowアプリでのNightly Recharge

Polar Flowアプリで、Nightly Rechargeの詳細データを異なる夜のデータと比較し、分析することができます。昨夜のNightly Rechargeの詳細データを表示するには、Polar Flowアプリで、「Nightly Recharge」を選択してください。ディスプレイを右にスワイプして、前日のNightly Rechargeの詳細データを表示します。「自律神経ステータス」または「睡眠ステータス」ボックスをタップして、自律神経ステータスまたは睡眠ステータスの詳細表示を開きます。



Polar Flowアプリでの自律神経ステータス詳細データ



自律神経ステータスは、夜間、自律神経系 (ANS) がどれだけ沈静したかを表します。スケールは-10 ~ +10です。0前後が、あなたの通常レベルと考えてください。自律神経ステータスは、睡眠のほぼ最初の4時間の心拍数、心拍数変動および呼吸数を測定することにより算出されます。

成人の通常の心拍数の値は、40 ~ 100 bpmです。毎晩心拍数の値に差が出るのは、よくあることです。心的・身体的ストレスや、夜遅くにエクササイズを行った場合、病気、または、アルコールの摂取が、睡眠のはじめの何時間かの間、心拍数を上昇させる要因になります。あなたの通常レベルと昨晚の値を比較するのがベストでしょう。

心拍数変動 (HRV) とは、前後の拍動間の変動値を指します。一般的には、心拍数変動値が高い方が、健康状態も良く、エアロビクスフィットネスレベルも高めで、ストレスへの耐性にも優れていると考えられています。個人による差は大きく、20 ~ 150も値が開くことがあります。あなたの通常レベルと昨晚の値を比較するのがベストでしょう。

呼吸数は、睡眠に入ってからほぼ最初の約4時間における平均呼吸数を示します。心拍間隔時間データをもとに算出されます。心拍間隔時間は息を吸うことで短くなり、反対に息を吐くと長くなります。睡眠中、呼吸数は減り、主に睡眠ステージと共に変化します。健康な成人の安静時の一般的な呼吸数値は、毎分12 ~ 20といわれています。通常値より高くなると、これは発熱、または病気の可能性を示唆します。

Polar Flowアプリでの睡眠ステータスの詳細

Polar Flowアプリでの睡眠ステータスに関する情報については、「Polar Flowアプリとウェブサービスの睡眠データ」ページ92をご覧ください。

Polar Flowアプリでのパーソナライズされたアドバイス

測定したあなたのデータをベースにして、動きの内容や、睡眠状態に関するアドバイス、特に調子のよくない日などには、Polar Flowアプリで、エネルギーレベルの上げ方などを提案します。今日のアドバイスは、Polar FlowアプリのNightly Rechargeのオープニング画面に表示されます。

トレーニングについて

毎日、トレーニングに関するアドバイスをお届けします。今日は控えるべきか、それとも予定通りに進めるべきかを判断します。これらのアドバイスの基準となるデータは以下の通りです：

- Nightly Recharge ステータス
- 自律神経ステータス
- 睡眠ステータス
- カーディオ負荷ステータス

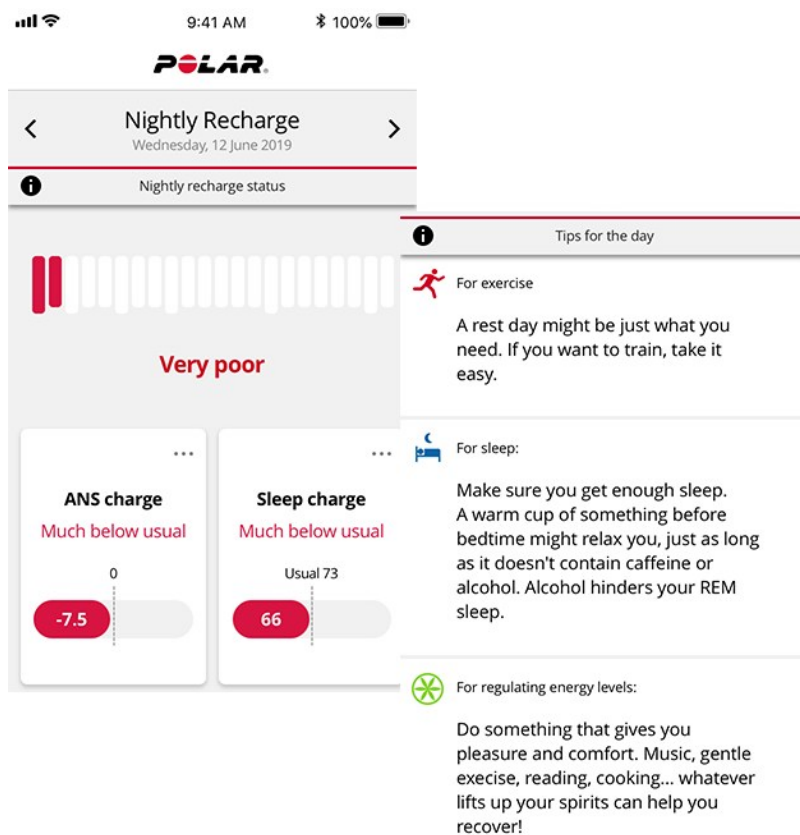
睡眠について

いつもより良く眠れなかった日には、睡眠に関するアドバイスを得ることができます。何を改善することでいつもの快眠を得られるのかを、お教えします。夜間測定されるデータの他にも、以下のあなたのデータを基準にします：

- 長期間ベースで測定した睡眠リズム
- カーディオ負荷ステータス
- 前日に行ったトレーニングの内容

エネルギーレベルを整えるために

自律神経ステータス、または、睡眠ステータスの値が特に低下している場合に、回復が不十分な日の活動をサポートするアドバイスを提供します。過熱気味の時にどのように沈静化するか、または、エネルギー低下時にどうそれを押し上げるかなど、具体的なアドバイスをお届けします。



こちらの [詳細なガイド](#) で、Nightly Rechargeの詳細を確認できます。

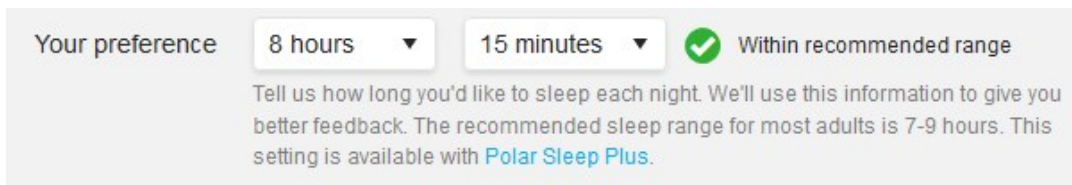
SLEEP PLUS STAGES™睡眠状態のトラッキング

Sleep Plus Stages は、自動的に睡眠の量と質を記録し、各睡眠ステージでどれだけの時間を費やしたかを表示します。これは、睡眠時間の睡眠の質に関わる項目をわかりやすく一つに取りまとめた値、睡眠スコアを提供します。睡眠スコアは、現在の睡眠科学に基づく良好な睡眠の指標に対して、あなたの睡眠を比較します。

睡眠スコアの項目をあなた自身の通常レベルと比較することにより、毎日の活動が睡眠にどのような影響を与え、調整する必要があるかも知れないことを認識することができます。腕時計およびPolar Flowアプリで、睡眠状態の詳しい内容を確認できます。Polar Flowウェブサービスの長期間にわたる睡眠データにより、睡眠パターンを詳細に分析できます。

Polar Sleep Plus Stages™を使って睡眠を記録する方法

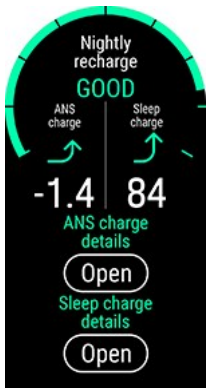
1. 最初に行う必要があることは、Polar Flowアプリまたは腕時計で、**自分が望む最適睡眠時間を設定**することです。Polar Flowアプリで、あなたのプロフィールをタップし、**自分が望む最適睡眠時間**を選択します。希望の睡眠時間を選択し、完了をタップします。あるいは、flow.polar.comで、Flowアカウントにサインインする、または、新しいアカウントを作成し、「設定」>「個人設定」>「自分が望む最適睡眠時間」を選択します。希望の睡眠時間を設定し、保存を選択します。腕時計の「設定」>「個人設定」>「自分が望む最適睡眠時間」で、自分が望む最適睡眠時間を設定します。



希望の睡眠時間とは、毎晩必要とする睡眠時間です。デフォルトで、あなたの年齢グループの平均推奨時間（18～64歳の場合は8時間）に設定されます。8時間の睡眠時間が長すぎる、または、短すぎると感じる場合は、あなたが必要とする希望の睡眠時間に調整することをお勧めします。これを行うことにより、希望に睡眠時間に比較して、どれだけ眠れているかに関する正確なフィードバックを取得することができます。

2. Sleep Plus Stagesを機能させるために、継続的な心拍計測を有効にする必要があります。継続的な心拍数計測を有効にするために、「設定」>「基本設定」>「継続的な心拍数計測」に進み、「オン」または「夜間のみ」を選択します。リストバンドを手首周りにきつく締めます。腕時計の後面のセンサーが、常にあなたの皮膚と接触している必要があります。詳細な装着手順については、「[手首での心拍計測](#)」をご覧ください。
3. 腕時計は、就寝時刻、起床時刻および睡眠時間を検出します。Sleep Plus Stagesの睡眠検出は、内蔵3D加速度センサーによる非利き手の運動の記録、および、光学式心拍計により手首から記録される心拍間隔時間データに基づきます。
4. 朝、**睡眠スコア**（1～100）を腕時計で確認できます。睡眠ステージ情報（浅い睡眠、深い睡眠、レム睡眠）、睡眠テーマ（睡眠量、睡眠の安定性、睡眠による回復度）に関するフィードバック含む1晩寝た後の睡眠スコアを取得できます。3日目の夜を過ぎると、通常レベルに対して比較できます。
5. 睡眠の質に関する自分自身の認識を腕時計またはPolar Flowアプリで記録できます。あなた自身の評価は睡眠ステータス計算に考慮されませんが、自分自身の認識を記録し、睡眠ステータス評価と比較できます。

腕時計の睡眠データ



起床時に睡眠の詳細に **Nightly Recharge** 画面表示を介してアクセスできます。OKボタンを押して、Nightly Rechargeステータス詳細を開き、次に、DOWN(右下)ボタンで「**睡眠ステータス詳細**」まで下にスクロールします。OKボタンを押して詳細を開きます。

手動で睡眠状態のトラッキングを停止することも可能です。腕時計が最短で4時間の睡眠を検知すると、Nightly Rechargeの文字盤表示に「**お目覚めですか?**」というメッセージが表示されます。OKを押して腕時計にあなたが目覚めたことを認識させます。OKで確認すると、腕時計に睡眠のサマリーが直ちに表示されます。

睡眠ステータス詳細画面では、これらの情報が確認できます:

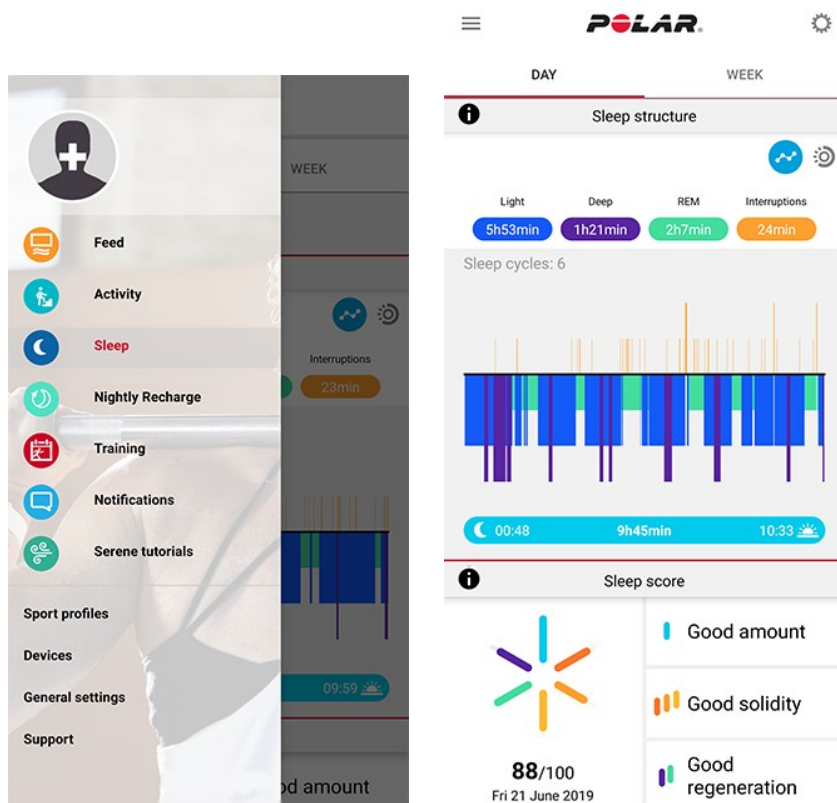
1. **睡眠スコアステータスグラフ**
2. **睡眠スコア (1 ~ 100)** 睡眠時間と睡眠の質を1つの数字にまとめたスコアです。
3. **睡眠ステータス** = 通常レベルに比較した睡眠スコアです。スケール: 非常に低い - 通常より低い - 通常 - 通常より高い - 通常より非常に高い。
4. 「**睡眠時間**」とは、就寝から起床までの時間のことをいいます。
5. **実際の睡眠時間 (%)** とは、就寝から起床までに実際に眠っていた時間のことをいいます。より具体的に、睡眠時間から中断の時間を引いたものとなります。実際に眠っていた時間が実際の睡眠となります。
6. **継続状況 (1 ~ 5)**: 睡眠の継続状況データは、あなたの睡眠時間がどれだけ継続的だったかを評価します。睡眠の継続状況は、1 ~ 5の段階で評価されます: 中断していた - ほとんどの間中断していた - ほとんどの間継続していた - 継続していた - とても長く継続していた。
7. **長い中断 (分)** は、1分を超える睡眠の中断中に目覚めていた時間を表します。通常夜間の睡眠時には、時間の長短に関わらず、頻繁に睡眠が断絶します。睡眠から目覚めている状態があるという事です。あなたがこれを覚えているかどうかは、中断した時間の長さによります。一般的にこれが短時間の場合は記憶には残りません。長時間になると、例えば、起きて台所に水を飲みに行った場合などは、記憶に残るでしょう。中断は、睡眠タイムライン上に黄色のバーして表示されます。
8. **睡眠サイクル**: 正常な人は、通常、一晩の間に4 ~ 5の睡眠サイクルを繰り返します。これは、約8時間の睡眠と等しくなります。
9. **レム睡眠 (%)**: REM(レム)とは、Rapid Eye Movement(敏速な眼の動き)を意味します。レム睡眠は、いわゆる逆説睡眠であり、脳内活動が活発化しますが、夢により行動を避けるため、筋肉は非活発化します。深い睡眠が身体を回復するのと同様に、レム睡眠は、心的な回復を促し、記憶力や学習能力を伸ばす効果があります。
10. **深い睡眠 (%)**: 深い睡眠とは、身体的环境的刺激に対する応答性が低下しているため、容易に覚醒できない睡眠ステージです。深い睡眠状態は、夜間の時間帯の最初の半分の間に発生します。この睡眠ステージは、身体を回復させ、免疫システムをサポートします。さらに、記憶力や学習能力にも何らかの影響があると考えられています。深い睡眠ステージは、いわゆる徐波睡眠です。
11. **浅い睡眠 (%)**: 浅い睡眠とは、覚醒状態と深い睡眠ステージの間の移行ステージです。環境的刺激に対する応答性は

高いままなので、浅い睡眠から容易に起きることができます。また、浅い睡眠は、精神的および身体的な回復を促進します。ただし、この点については、レム睡眠と深い睡眠が、最も重要な睡眠ステージです。

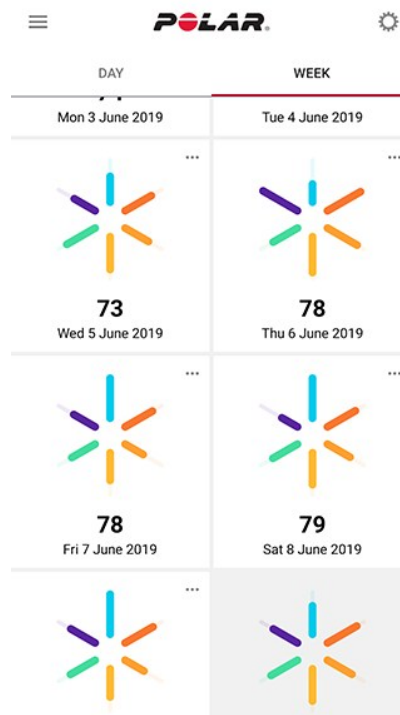
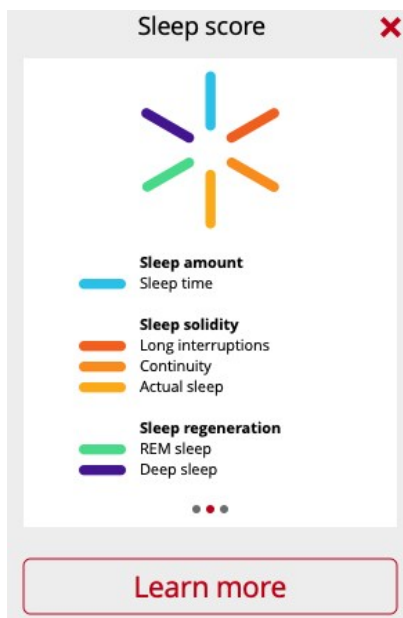
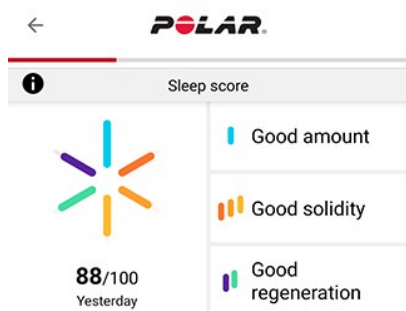
Polar Flowアプリとウェブサービスの睡眠 データ

睡眠は人により大きく異なります。睡眠を他の人と比較するのではなく、あなた自身の長期間の睡眠パターンを確認し、睡眠の仕方を理解してください。起床後、腕時計をPolar Flowアプリに同期して、昨夜の睡眠データを確認します。Polar Flowアプリで、日または週単位で睡眠データをモニタリングし、睡眠習慣や日中の活動が睡眠のどのような影響を及ぼしているのかを確認してください。

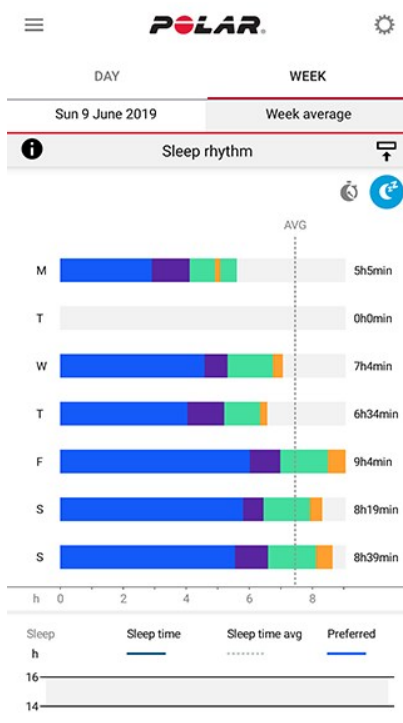
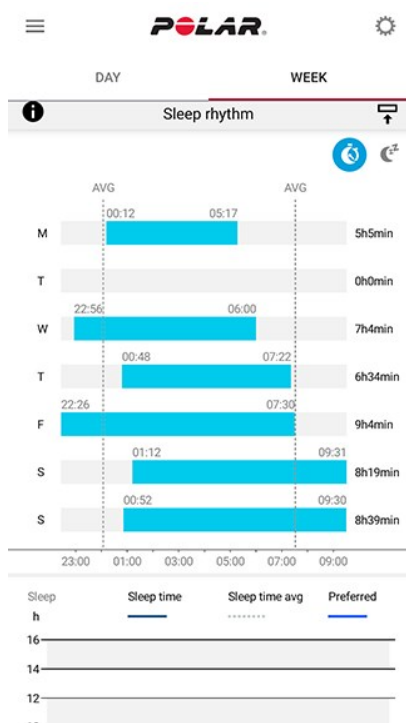
Polar Flowアプリのメニューから「睡眠」を選択して、睡眠データを確認します。睡眠の構成画面で、睡眠が異なるステージ(浅い睡眠、深い睡眠およびレム睡眠)を通して、どのように進行し、中断されるかを確認します。通常、睡眠サイクルは、浅い睡眠から深い睡眠へ、そして、レム睡眠に進みます。典型的に夜間の睡眠は、4~5回の睡眠サイクルから構成されます。これは、約8時間の睡眠と等しくなります。通常夜間の睡眠時には、時間の長短に関わらず、頻繁に睡眠が断絶します。長い中断は、睡眠の構成グラフで、オレンジ色の棒線が表示されます。



睡眠スコアの6つの項目は、3つのテーマ(睡眠量(合計睡眠時間)、睡眠の安定性(長い中断、継続状況、実際の睡眠時間)および睡眠による回復度(レム睡眠と深い睡眠))に分かれています。グラフの棒線が示しているのは、各項目ごとのスコアです。睡眠スコアは、これらのスコアの平均です。週間表示を選択して、睡眠スコアと睡眠の質(睡眠の安定性と睡眠による回復度のテーマ)が週の間になどのように変化するかを確認できます。



睡眠リズムセクションは、睡眠時間と睡眠ステージの週間表示を提供します。



Flowウェブサービスで、長期間にわたる睡眠データを睡眠ステージと共に表示するには、「進捗状況」に進み、「睡眠レポート」タブを選択します。

睡眠レポートは、長期間の睡眠パターンを表示します。1か月、3か月、6か月の睡眠詳細の表示期間を選択できます。次の睡眠データ(就寝、起床、睡眠時間、レム睡眠、深い睡眠、睡眠に対する中断)の平均を確認できます。睡眠グラフの上にマウスを合わせることで、睡眠データの詳細を確認できます。



こちらの [詳細なガイド](#) でPolar Sleep Plus Stagesの詳細が確認できます。

SLEEPWISE™

Polar SleepWise TMIは、日中の活性度レベルやパフォーマンス発揮のコンディションを理解するのに役立ちます。最近の睡眠の量と質に加え、Polarは睡眠リズムの効果も考慮します。SleepWiseでは、最近の睡眠が日中の活性度やパフォーマンス発揮のコンディションをどのように高めているかが分かります。Polarでは、これを日中活性ガイドと呼んでいます。これは、健康的な睡眠リズムの達成と維持を助け、最近の睡眠があなたの日中の活性度に及ぼしている影響を描写するものです。活性度が高まれば反応時間、正確性、判断や決断力が改善され、パフォーマンスを発揮するコンディションも向上します。

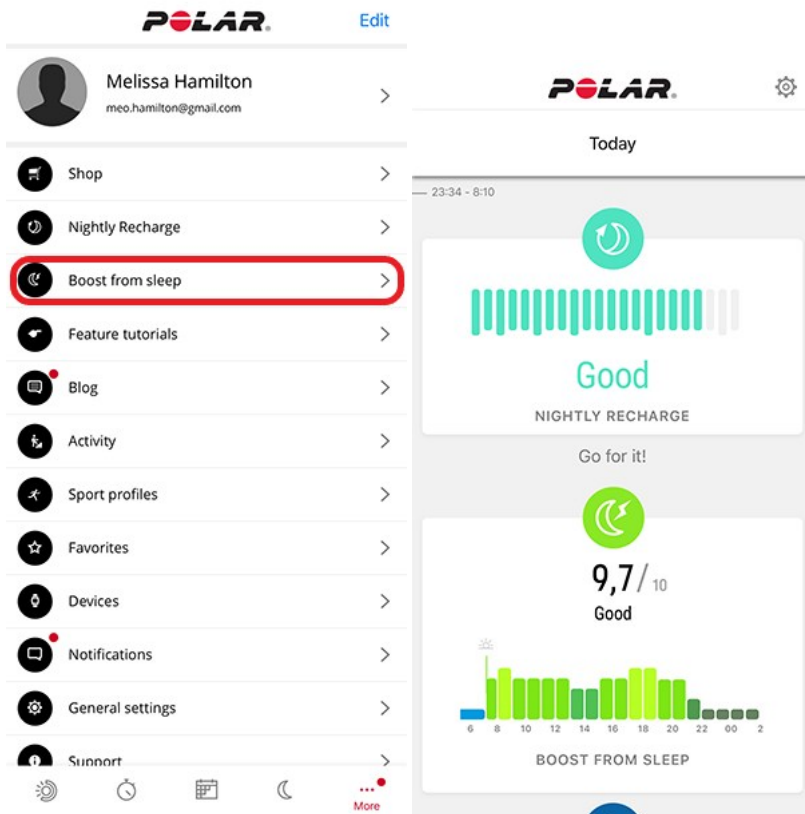
パーソナライズされたフィードバックを受け取るには、**希望の睡眠時間**が必ず実際の睡眠ニーズにマッチするように設定してください。

SleepWise は完全自動で機能します。あなたがしなければいけないのは、Sleep Plus Stagesに対応するPolarウォッチを使って、自分の睡眠をトラッキングすることだけです。これはPolar Flow アプリ上でご利用いただけます。

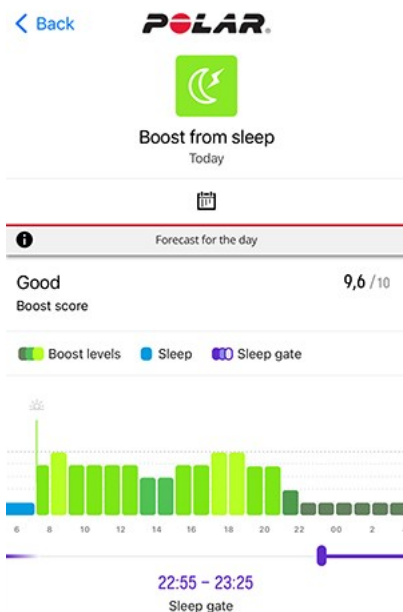
毎日の日中活性ガイド

日中活性ガイドの予測を見るには、過去7日以内に少なくとも5回の睡眠結果が必要であることにご注意ください。腕時計を装着していなかったり、睡眠状態のトラッキングが上手く行かなかったりした場合は、睡眠時間をアプリにて手動で入力して睡眠結果数を増やすことも可能です。

Polar Flowアプリで日中活性ガイドの予測を見るには、メニューから日中活性ガイドを選んでください。または、**ダイアリー**のカードでも毎日の日中活性ガイドの予測を素早く確認することができます。カードをタップすると、その日の日中活性ガイドの表示が開きます。



日中活性ガイドの表示が開きます:



朝には、一日を通した睡眠効果の変化の予測を確認し、これに応じて活性度を促進するアクティビティ(昼寝、コーヒー、外を歩く等)を計画することができます。また、睡眠リズムのちょっとした変化についても、シンプルな表示と数字でフィードバックが提供されるため、それらの変化が良いものか、または悪いものかを認識できるようになっています。これは、睡眠の効果が長年にわたって積み上げられていく様子を理解するのに役立ちます。睡眠負債や不規則な就寝・起床のリズムがもたらす影響が目に見える形で表示されます。

活性スコアは、毎日の予測を数字で要約したものです。これにより、予測結果を日付ごとに簡単に比較できます。活性スコアには、**最高**、**良い**、**普通**、または**まあまあ**があります。「最高」の活性スコアは、日中に睡眠から得られる効果が最大であることを意

味します。たとえば、睡眠負債が多い場合などは、活性スコアは「まあまあ」になります。たとえば週末などのために、トレンドにてパターンが繰り返し表示されることもあります。

毎日の**予測グラフ**は、最近の睡眠が一日を通してもたらす効果の見込みを示します。

影がより薄くバーが高いほど、**活性レベル**は高くなっています。これは、研ぎ澄まされた気持ちでパフォーマンスを発揮するコンディションが整っている可能性が高いことを意味しています。影がより濃く下にあるほど、効果は弱まっています。これは、活性度が落ち、場合によっては眠気さえも感じる可能性があることを意味しています。

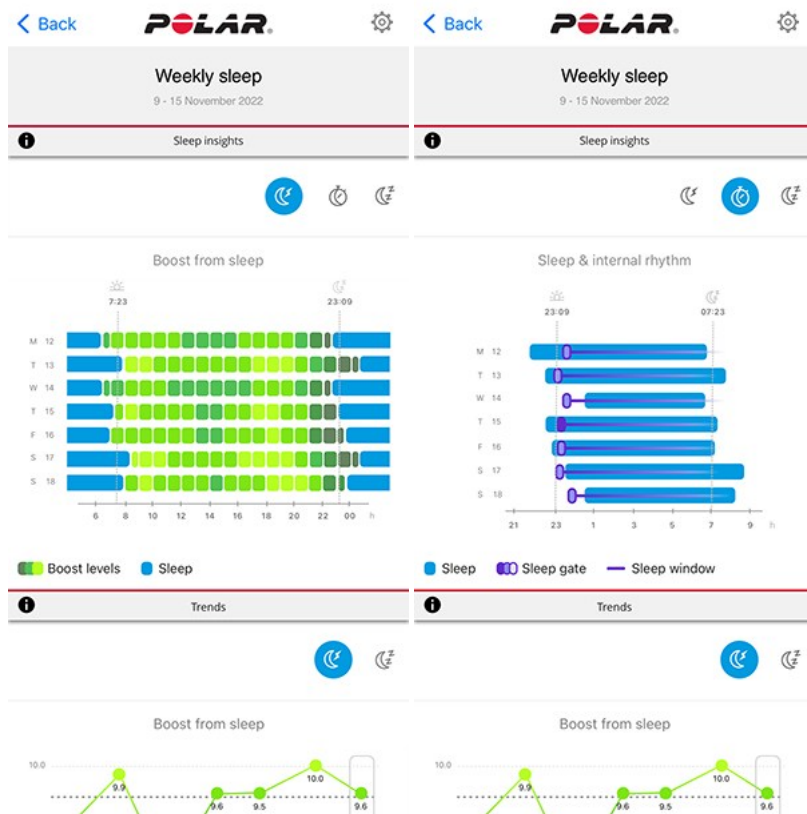
活性レベル

この予測は、睡眠のみに基づいていることにご留意ください。あなたが日中に行うこと(または行わないこと)が予測に影響を与えることは一切ありません。つまり、コーヒーを何杯か飲んだり、冷たいシャワーを浴びたり、または普段より早いペースで歩いたりしても、グラフがこれに反応して変化することはありません。また、どれくらい冴えた気分になるかには、内発的な動機も関係します。睡眠に基づいた活性レベルがいくら高くても、非常に退屈な授業を受けている間は眠気を催しやすいことでしょう。他方、よく眠れなかった次の日でも、本当に興味深い課題に取り組むときには、非常に冴えた気分になることもあるでしょう。毎日の予測を確認しているうちに、活性レベルが午後には一時落ち込み、その後またアップすることが分かってきます。しかし、この「午後のスランプ」について心配する必要はありません。これは体内リズムによるもので、すべての人間に共通する現象です。過去の予測の推移をじっくりと観察することで、今日の活性レベルが前の晩の睡眠だけでなく、最近の睡眠履歴からも影響を受けていることが分かります。たとえば、週末の夜更かしの影響は何日も続く可能性があります。

入眠時間帯は、あなたの身体が眠りに落ちる準備ができる時間を予測するものです。しかしながら、体内リズムは毎日のコミットメントに常に連動するわけではありません。このため、入眠時間帯は必ずしも実生活での理想的な就寝時間と一致しないことがあります。たとえば、長い休暇やまたは単なる週末など、休んだ後に仕事に戻るときなども、こうしたことが起こる可能性があります。

週ごとの睡眠

週ごとの睡眠表示では、複数の夜から得たあなたの睡眠の詳細を比較・分析することができます。カレンダーのアイコンをタップしてアクセスしてください。



日中活性ガイドグラフは、睡眠が最近のあなたの一日に与えてきた影響を示しています。これに基づいて、自分の睡眠スケジュールを変更してもよいでしょう。

睡眠 & 体内リズムグラフでは、実際の睡眠リズムが体内の概日リズムからどれくらい逸脱しているかが分かります。これら2つのリズム、つまり実際のリズムと体内リズムを同期させると、多くの健康上の恩恵を得ることができます。定期的な就寝・起床時間を守ると、これらのリズムを同期し易くなります。自分の行動が体内リズムに与える影響を確認できます。たとえば、週末に夜更かしをしたり、タイムゾーンを横断して旅をすることなどによって、リズムの同期が上手くいかない場合があります。

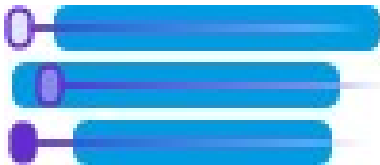
入眠時間帯は、あなたの身体が眠りに落ちる準備ができる時間を予測するものです。これはあなたのデータから明確に判断できることもあれば、そうではない場合もあります。不規則な睡眠リズムや普段とは違う睡眠時間により、体内リズムが混乱し、入眠時間帯が分かりにくくなる可能性があります。

入眠時間帯の判断レベル

3/3 2/3 1/3

規則的な睡眠リズムを守っていれば、入眠時間帯を明確に判断できることが期待できます (3/3)。睡眠リズムが激しく変化した場合、入眠時間帯を判断することは難しくなります。

体内リズム



体内リズムとは、あなたの身体が自然に眠りを欲する時、または自然に目覚める時があることを意味しています。グラフ内の紫の線は、あなたのスリープウィンドウです。これは、あなたの身体が睡眠状態を自然に欲するタイムスパンを表しています。青いバーは、あなたの実際の睡眠時間のリズムを示しています。これら2つのリズム、つまり実際のリズムと体内リズムを同期させると、多くの健康上の恩恵を得ることができます。定期的な就寝・起床時間を守ると、これらのリズムを同期し易くなります。

通常の就業時間に働いている人々は、夜更かしをして週末には遅くまで寝ている傾向になりがちです。彼らの入眠時間帯が、日曜夜にも夜更かし傾向になるのはこのためです。このソーシャル・ジェットラグ(社会的時差ぼけ)の典型的なケースでは、日曜の夜に入眠しにくいことで、睡眠不足の状態での新しい週を迎えることになる場合があります。日曜の不眠と月曜の睡眠不足を避けるには、毎日同じ時間に就寝・起床するのが定石です。しかしながら、もしも夜更かししてしまつたら、遅い時間まで寝るのではなく、午後の早い時間に昼寝をするべきです。

科学的情報

PolarのSleepWise機能は、睡眠状態のトラッキングと生物数学モデリングを利用し、最近の睡眠状態に基づいて日中の活性度を予測します。睡眠が活性度の向上に及ぼす影響を予測するために、Polarモデルは睡眠量、睡眠の質、睡眠のタイミングを個人の睡眠ニーズと体内の概日リズムに照らし合わせて評価します。このモデルでは、1時間刻みの活性レベル、1日の活性スコア、入眠時間帯、スリープウィンドウが予測されます。入眠時間帯とは、個人のスリープウィンドウのスタート時点、つまりあなたの身体が自然に眠りを欲するようになる時点を示しています。完全に信頼できる予測結果を出すために、SleepWiseは1~2週間かけて十分なデータを収集します。

生物数学モデリングは、さまざまな睡眠計画が起きている間の活性度に与える影響を予測する方法として、一般的に受け入れられています。学術文献では、何種類かの生物数学モデルが見受けられます。それぞれのモデルの詳細や用語は異なっているものの、通常、これらのモデルはどれも、覚醒時間、睡眠と覚醒の履歴、概日リズムを考慮するものです。これらのモデルのアウトプットは、通常は中度または強度の睡眠制限の後、精神運動覚醒検査に対して検証されます。精神運動覚醒検査は、ライトが画面に表示されたらすぐにボタンを押すというシンプルな検査です。そのような検査の結果は、集中力の維持、問題の解決、意思決定といった行動と相互に関係づけられます。

SERENE™ガイドつき呼吸エクササイズ

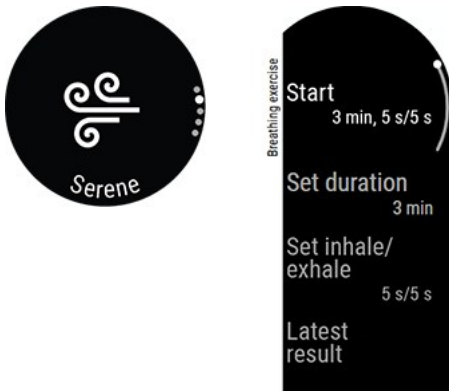
Serene™は、**ガイダンスを伴う深呼吸エクササイズ**です。心身をリラックスさせ、ストレスに的確に対処しましょう。Sereneは、ゆっくりと安定したリズムで呼吸するようガイダンスを行います。**毎分あたりの呼吸数は6回** - これが**ストレスを解消する**、効果的な呼吸のリズムです。ゆっくりと呼吸すると、心拍もそのリズムにだんだんと同調し始めます。そして心拍間隔時間もより大きく変化し始めます。

呼吸エクササイズ中、腕時計は、ディスプレイに表示するアニメーションと振動により、一定のゆっくりした呼吸のリズムを維持するようにサポートします。Sereneは、実行した動きに対する身体の反応を測定。リアルタイムであなたの進捗状況のバイオフィードバックを提供します。動きを一通り終了すると、3つの**平静ゾーン**で費やした時間のサマリーを見ることができます。ゾーンが高いほど、効果的なリズムによく同調していたという意味です。高いゾーンに費やした時間が長いほど、長期的にみた時に、効果が期待できると考えられます。Serene呼吸エクササイズを定期的を使用することで、**ストレスに上手く向き合い、睡眠の質**を改善することができ、また**健康的な生活**の総括的な向上につながります。

腕時計でのSerene呼吸エクササイズ

Serene呼吸エクササイズは、あなたを**深くゆっくりとした呼吸**に導き、心身を落ち着けられるようにします。ゆっくりと呼吸すると、心拍もそのリズムにだんだんと同調し始めます。深くゆっくりと呼吸すると、心拍間隔時間がより大きく変化します。深い呼吸により、心拍間隔時間に測定可能な反応が発生します。息を吸うと心拍間隔時間が短くなり(心拍数が早くなり)、息を吐くと心拍間隔時間が長くなります(心拍間隔遅くなります)。心拍間隔時間の変化は、**毎分あたり6呼吸サイクル**のリズム(息を吸う+息を吐く=10秒)に最も近づくと最大になります。これが、**ストレス解消効果**に最適な呼吸数です。このため、良い成果が得られたかどうかは、同期からだけではなく、最適な呼吸数にどれだけ近づいていたかにより測定されます。

Serene呼吸エクササイズのデフォルト時間は3分です。呼吸エクササイズの時間を2~20分の範囲に調整できます。必要に応じて、息を吸う時間と吐く時間も調整できます。最も速い呼吸頻度は、息を吸うことに対して3秒、息を吐くことに対して3秒にして、結果的に毎分あたり10回の呼吸になるように調整できます。最も遅い呼吸頻度は、息を吸うことに対して5秒、息を吐くことに対して7秒にして、結果的に毎分あたり5回の呼吸になるように調整できます。



呼吸エクササイズ全体を通して、腕をリラックスさせ、手を動かさないようにできる姿勢であることを確認してください。これにより、適切にリラックスし、Polar腕時計がトレーニングセッションの効果を正確に測定できます。

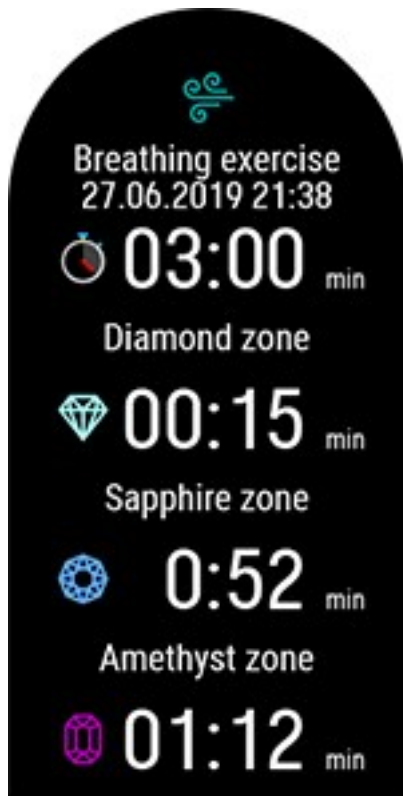
1. 手首の上にぴったりと腕時計を装着します。手首の骨の上、指1本分以上の幅を持たせてください。
2. 快適に座るか横になってください。
3. 腕時計の、「Serene」を選択し、次に「開始」を選択して呼吸エクササイズを開始してください。エクササイズは、15秒間の準備フェーズで始まります。
4. ディスプレイ上および振動によるガイダンスに従ってください。
5. BACK(左下)ボタンを押して、いつでもエクササイズを終了できます。
6. アニメーション内の主なガイダンス要素は、あなたの現在の平静ゾーンに応じて、**色が変わります**。
7. エクササイズ後、異なる平静ゾーンで費やした時間について、結果が腕時計に表示されます。



平静ゾーンは、アメジスト、サファイアおよびダイヤモンドです。平静ゾーンにより、あなたの心拍と呼吸がどのように同期しているか、毎分あたり6回の最適な呼吸数にどの程度近いかを確認できます。ゾーンが高いほど、効果的なリズムによく同調しているという意味です。最も高い平静ゾーン(ダイヤモンド)を達成するには、毎分あたり6回程度の呼吸の目標リズムまたはそれよりも遅いリズムを維持する必要があります。高いゾーンに費やした時間が長いほど、長期的にみた時に、効果が期待できると考えられます。

呼吸エクササイズの結果

動きを一通り終了すると、3つのserenityゾーンで費やした時間のサマリーを見ることができます。



こちらの [詳細なガイド](#) で、Serene™ガイドつき呼吸エクササイズの詳細を確認できます。

手首での心拍計測によるフィットネステスト

手首での心拍計測によるPolarフィットネステストは、安静時の有酸素運動(心血管)能力を短時間で測定する、容易で安全な方法です。シンプルな5分間のフィットネスレベル評価で、最大酸素摂取量(VO2max)の推定値を算出します。フィットネステストの計算は、安静時の心拍数、心拍数変動、個人情報(性別、年齢、身長、体重)、そして「トレーニング頻度」とよばれる身体アクティビティレベルに関する自己評価に基づいています。Polarフィットネステストは、健康な成人による利用目的で開発されています。

エアロビクスフィットネスレベルは、心血管系システムが、体内で酸素をどれだけ効率的に運搬しているかがキーとなります。エアロビクスフィットネスのレベルが高いほど、心臓が強く、効率的に働いていると言えます。良好なエアロビクスフィットネスには、健康の効果がたくさんあります。例えば、これは高血圧のリスクと心血管疾患や脳卒中のリスクを減らすのに役立ちます。エアロビクスフィットネスの改善を目指す場合、フィットネステストの結果が目に見えて変わるまでには平均6週間の定期的なトレーニングが必要となります。

まず、エアロビクスフィットネスの低い人は、より早く進歩が見られます。元々のエアロビクスフィットネスが高ければ高いほど、結果の改善度は小さくなります。

エアロビクスフィットネスは、多くの筋肉を使うトレーニングで向上させるのが、ベストな方法です。このようなアクティビティには、ランニング、サイクリング、ウォーキング、ボート、水泳、スケート、クロスカントリースキーが含まれます。進捗状況をモニタリングするには、最初の2週間のうちにテストを2、3回実行してベースライン値を決定し、その後は月に1回程度テストを繰り返します。

テスト結果が信頼できるものであることを保証するために、以下の基本要件を適用してください：

- テスト環境が穏やかであれば、家の中、オフィスの中、ヘルスクラブの中など、どこでもテストを実施できます。邪魔なノイズ（例：テレビ、ラジオ、電話）がなく、他の人があなたに話しかけないようにしてください。
- 常に同じ環境で同じ時間にテストを実施してください。
- テストの2～3時間前に、食べ過ぎたり、喫煙したりしないでください。
- テストの当日および前日は、激しい運動、アルコールの摂取、および医薬用興奮剤の使用を避けてください。
- リラックスした状態で、テストに臨んでください。テストを開始する前に、1～3分間、横になりリラックスしてください。

テスト前

テストを開始する前、トレーニング状況を含むあなたの身体的設定が正確であることを、「設定 > 個人設定」へ移動して確認します。

手首の上にぴったりと腕時計を装着します。手首の骨の上、指1本分以上の幅を持たせてください。腕時計の後面の心拍センサーが、常に皮膚と接触している必要があります。

テストの実施

腕時計の「フィットネステスト」>「リラックスしてテスト開始」を選択します。腕時計が心拍シグナルを検知し始めます。

心拍シグナルが見つかったら、「横になる」の表示が出ます。身体の動きを最小限にし、会話を止め、リラックスします。

BACK(左下) ボタンを押せば、どのフェーズでもテストを中断できます。「テストが取り消されました」と表示されます。

腕時計が、心拍シグナルを受信できない場合は、「テストに失敗しました」と表示されます。その場合、腕時計の背面にある心拍センサーがきちんと肌に触れているか確認してください。手首での心拍計測の場合における腕時計の装着方法については、[「手首での心拍計測」](#)をご確認ください。

テスト結果

テストが終了すると、腕時計はサウンドと振動で通知を送り、フィットネステストの結果と VO_{2max} の概算の説明を表示します。

「 VO_{2max} を個人設定に更新しますか？」と表示されます。

- OKボタンを押して、値を個人設定に保存します。
- 最近測定した VO_{2max} 値を知っており、それが結果から1フィットネスレベルクラス以上異なる場合は、BACK(左下) ボタンを押して、キャンセルしてください。

最新のテスト結果は、「テスト > フィットネステスト > 最新の結果」に表示されます。一番最近実施したテスト結果のみが表示されます。

フィットネステスト結果の視覚的な分析結果は、Flowウェブサービスを開き、ダイアリーから「テスト」を選択し、詳細を確認してください。



スマートフォンがBluetooth接続の範囲内にある場合、テスト終了後、腕時計がPolar Flowアプリと自動で同期します。

フィットネスレベルクラス

男性

年齢 / 年	とても低い	低い	普通	中	良い	とても良い	最高
20-24	< 32	32-37	38-43	44-50	51-56	57-62	> 62
25-29	< 31	31-35	36-42	43-48	49-53	54-59	> 59
30-34	< 29	29-34	35-40	41-45	46-51	52-56	> 56
35-39	< 28	28-32	33-38	39-43	44-48	49-54	> 54
40-44	< 26	26-31	32-35	36-41	42-46	47-51	> 51
45-49	< 25	25-29	30-34	35-39	40-43	44-48	> 48
50-54	< 24	24-27	28-32	33-36	37-41	42-46	> 46
55-59	< 22	22-26	27-30	31-34	35-39	40-43	> 43
60-65	< 21	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	> 40

女性

年齢 / 年	とても低い	低い	普通	中	良い	とても良い	最高
20-24	< 27	27-31	32-36	37-41	42-46	47-51	> 51
25-29	< 26	26-30	31-35	36-40	41-44	45-49	> 49
30-34	< 25	25-29	30-33	34-37	38-42	43-46	> 46
35-39	< 24	24-27	28-31	32-35	36-40	41-44	> 44
40-44	< 22	22-25	26-29	30-33	34-37	38-41	> 41
45-49	< 21	21-23	24-27	28-31	32-35	36-38	> 38
50-54	< 19	19-22	23-25	26-29	30-32	33-36	> 36
55-59	< 18	18-20	21-23	24-27	28-30	31-33	> 33
60-65	< 16	16-18	19-21	22-24	25-27	28-30	> 30

分類は米国、カナダ、欧州7か国の健康な大人の被験者から VO_{2max} を直接測定した、62の調査資料のレビューに基づいています。参考文献: Shvartz E, Reibold RC. 『6歳～75歳の男性および女性の有酸素運動能力の基準: レビュー。』「Aviat Space Environ Med」誌、61:3-11, 1990。

VO_{2MAX}

細胞組織への酸素供給能は、心肺機能によるものであるため、最大酸素摂取量(VO_{2max})と心肺機能の健康度には明確な相関性があります。 VO_{2max} (最大酸素摂取量、最大有酸素パワー)は、最大限の運動の際、身体が利用できる酸素の最大量です。これは心臓が筋肉に対して血液を供給できる最大能力に直接関係しています。 VO_{2max} は、フィットネステストにより測定または推測できます(例: 最大運動テスト、最大下運動テスト、Polarフィットネステストなど)。 VO_{2max} は、心肺機能の有効な指標であり、ランニング、サイクリング、クロスカントリースキー、水泳などの耐久性スポーツにおけるパフォーマンス能力のよい予測ファクターです。

VO_{2max} は、1分当たりのミリリットル($ml/min = ml \cdot min^{-1}$)、または体重(Kg単位)あたり($ml/kg/min = ml \cdot kg^{-1} \cdot min^{-1}$)で表されます。

FITSPARK™ デイリートレーニングガイド

FitSpark™トレーニングガイドでは、腕時計で容易に利用できる、**オンデマンドトレーニング**のテンプレートをデイリーベースで提供します。前の晩のあなた自身の **Nightly Recharge** ステータスを基準にした、個々のトレーニング履歴、回復状況、フィットネスレベルに見合ったトレーニングプランを提供します。FitSparkでは、毎日2~4種類のトレーニングオプション(あなたに最適なオプションを1種 + 1~3種の選択可能なオプション)をご用意しています。1日当たり最大4件のアドバイスが提供され、合計19種類のトレーニングが利用可能です。アドバイスには、**カーディオ**、**筋力** および **サポータティブ** トレーニングカテゴリからのトレーニングが含まれます。

FitSparkトレーニングは、Polarが定義した**トレーニング目標**のテンプレートです。トレーニングには、エクササイズの実施方法に関する手順、エクササイズを安全に適切な手法を使って行えるようにする、リアルタイムのステップバイステップのガイダンスが含まれます。すべてのトレーニングは時間ベースであり、現在のフィットネスレベルに基づいて調整され、フィットネスレベルにかかわらず、すべての人にとってセッションが適切になります。FitSparkトレーニング提案は、各トレーニングセッション(FitSparkを用いずに行われたトレーニングセッションを含む)後、深夜および起床時に更新されます。FitSparkは、選べる豊富なトレーニング内容をご用意。異なるタイプのトレーニングを楽しむことができます。

フィットネスレベルの決定方法

おすすめのトレーニング内容の選択基準は、あなたのフィットネスレベルをベースにしています:

- トレーニング履歴(過去28日間の週間平均心拍ゾーンの実績)
- VO2max/最大酸素摂取量(腕時計で記録した**フィットネステスト**によるデータ)
- **トレーニング頻度**

トレーニング履歴が無い場合にも、この機能を使用することができます。但し、FitSparkの機能は使用開始後7日間後に最適化されます。



フィットネスレベルが高くなると、トレーニング目標の時間が長くなります。フィットネスレベルが低い場合、厳しい筋力目標は利用できません。

トレーニングカテゴリに含まれるエクササイズの種類

カーディオセッションでは、様々な心拍ゾーンのトレーニングを様々な時間行うようにガイドされます。セッションには、時間ベースのウォームアップ、トレーニング、クールダウンフェーズが含まれます。カーディオセッションは、腕時計のすべてのスポーツプロフィールで行うことができます。

筋力セッションは、時間ベースのガイダンスによる筋力トレーニングから構成されるサーキットトレーニングです。自重トレーニングでは、自分自身の身体を抵抗として使用して行うことができ、追加ウェイトを必要としません。サーキットトレーニングでは、エクササイズを行うために、バンパープレート、ケトルベルまたはダンベルが必要です。

サポータティブセッションは、時間ベースのガイダンスによる筋力 および モビリティエクササイズから構成されるサーキットトレーニングです。

腕時計のFitSpark

時刻表示画面で、UP(右上)ボタンおよびDOWN(右下)ボタンを使って、FitSpark表示画面に移動します。

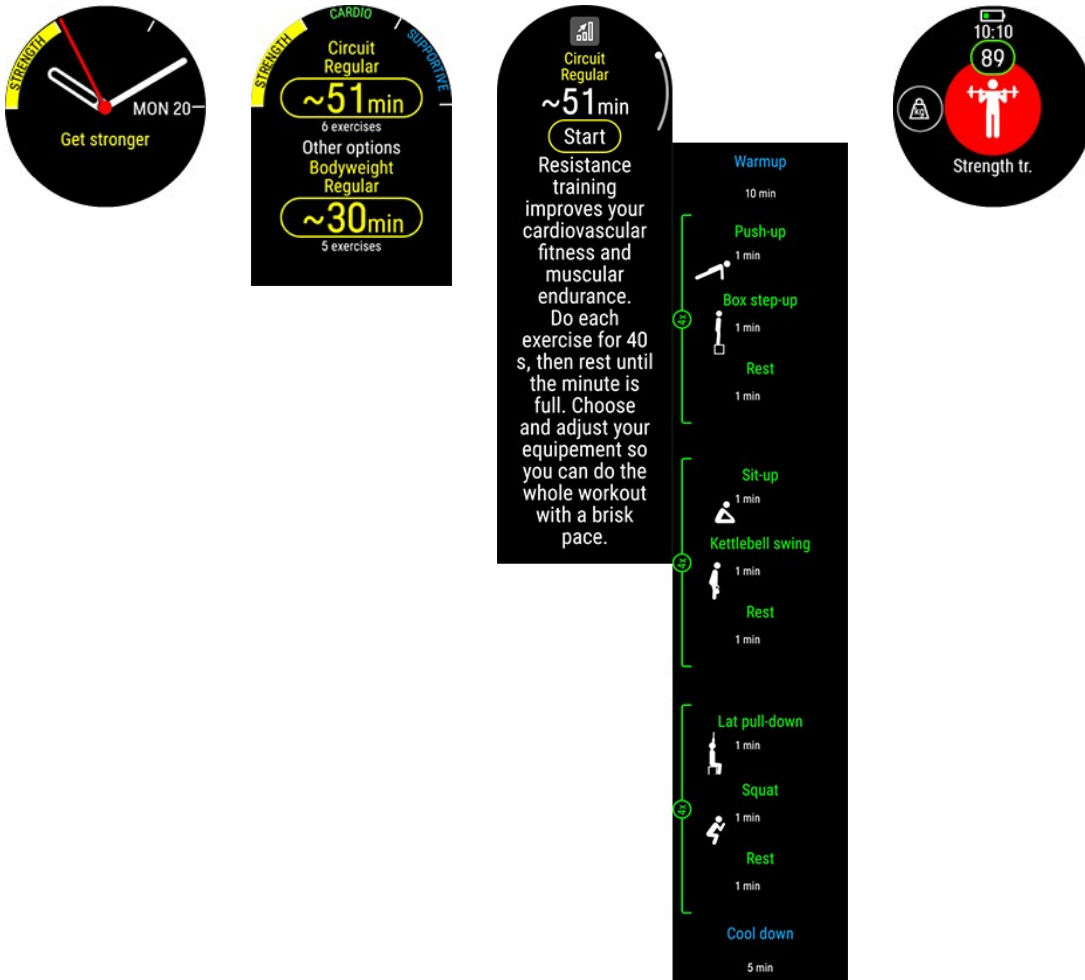
FitSpark画面表示には、様々なトレーニングカテゴリ用の次のビューが含まれます。





画面表示をプログラミングする: Polar Flowにアクティブなランニングプログラムがある場合、FitSparkのアドバイスは、ランニングプログラムのトレーニング目標に基づきます。

FitSpark表示画面でOKを押し、おすすめトレーニング内容を表示させます。トレーニング履歴やフィットネスレベル等のデータに基づく、あなたにとって最適なトレーニング内容が一番先に表示されます。下にスクロールすると、他のおすすめトレーニング内容を見ることができます。OKを押し、提案されたトレーニングの中から希望項目を選択すると、トレーニングの詳しい内容が表示されます。下にスクロールして、トレーニング(筋力およびサポーティブトレーニング)に含まれる動きの内容を確認します。また、個別の動きをタップして、その実行方法を確認します。**スタート**にスクロールしOKを押し、トレーニング目標としてスポーツプロファイルを選択します。これで設定は完了、トレーニング目標の実行をスタートできます。



トレーニング中

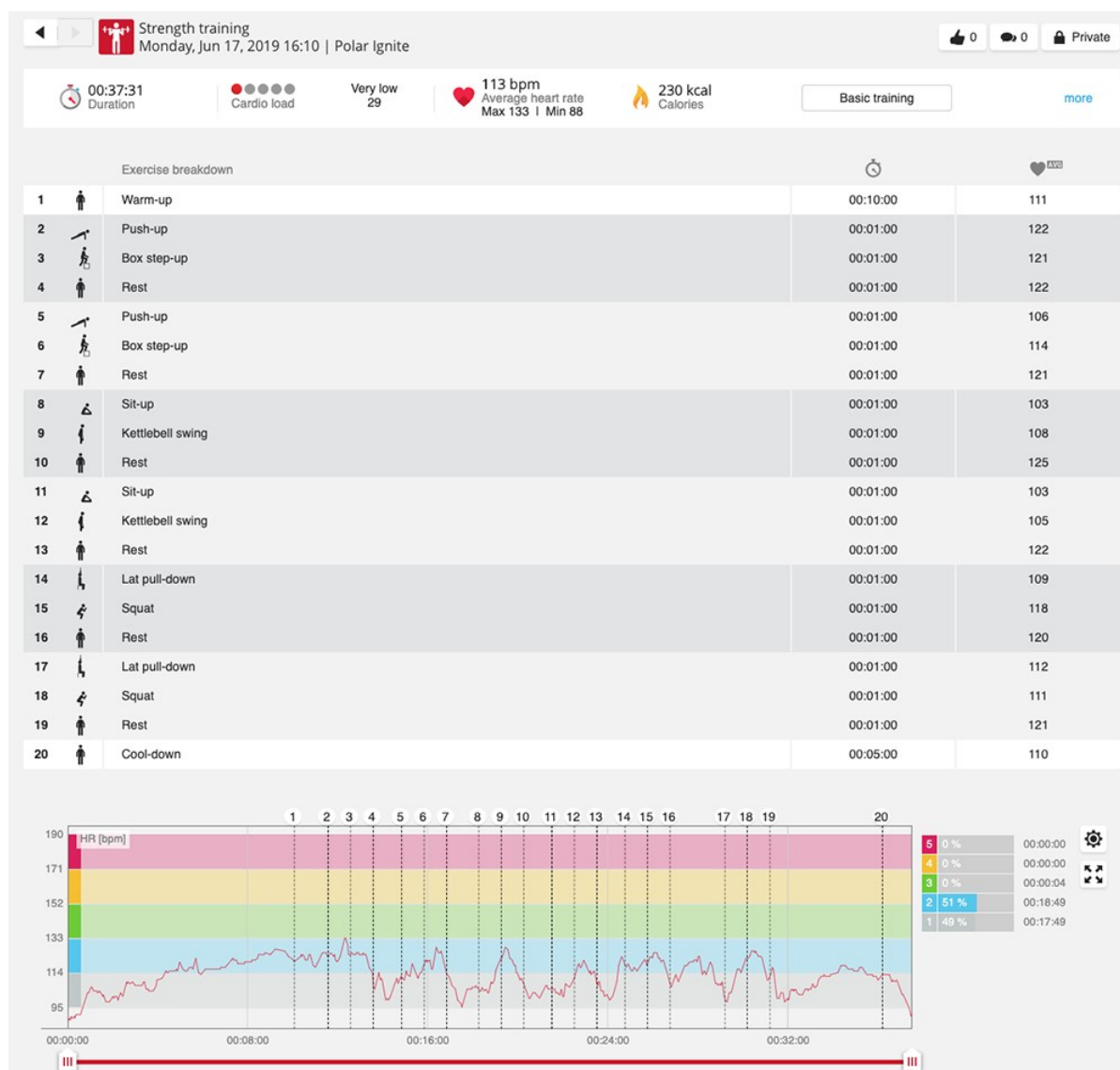
トレーニング中、腕時計は、トレーニング情報、カーディオ目標を達成するための心拍ゾーンに関する時間ベースのフェーズ、筋力およびサポーティブ目標を達成するためのエクササイズに関する時間ベースのフェーズを含む、ガイダンスを提供します。

筋力トレーニングおよびサポーティブトレーニングセッションは、便利なトレーニング計画に基づいており、エクササイズのアニメーションとリアルタイムでのステップ別ガイダンスが伴います。すべてのセッションには、いつ次のフェーズに切り替えるべきかを通知するタイマーとバイブレーションが含まれます。各動作を40秒間継続し、20秒間休憩して、次の動作を開始してください。最初のセットの全ラウンドを完了したら、次のセットを手動で開始してください。いつでも、トレーニングセッションを終了できます。トレーニングフェーズをスキップまたは再調整することはできません。



腕時計およびPolar Flowでのトレーニング結果

トレーニングセッションを完了すると、腕時計にトレーニングセッションの **サマリー** が表示されます。Polar FlowアプリまたはPolar Flowウェブサービスで、詳細な分析を確認します。カーディオトレーニング目標については、基本トレーニング結果が、トレーニングセッションのフェーズと心拍数データと共に表示されます。筋力およびサポータティブトレーニング目標については、詳細なトレーニング結果が、平均心拍数と各エクササイズで費やした時間と共に表示されます。これらはリストとして表示されます。また、各エクササイズも心拍数曲線上に表示されます。





トレーニングには、いくつかのリスクが含まれる可能性があります。定期的なトレーニングプログラムを開始する前に、[「トレーニング時のリスクを最小化する」](#)ためのガイダンスをお読みください。

スポーツプロファイル

スポーツプロファイルは、腕時計でトレーニング可能なスポーツを指します。腕時計では4種類のデフォルトのスポーツプロファイルが用意されていますが、新たなスポーツプロファイルをPolar Flowアプリまたはウェブサービスで追加して、腕時計に同期することでお気に入りのスポーツのリストを作成できます。

各スポーツプロファイルごとに特定の設定を保存できます。例えば、スポーツ別にトレーニング中に表示するデータを選択して**トレーニングビュー**をカスタム設定できます。心拍数だけ、または速度と距離だけなど、トレーニングニーズに合わせて自由に設定できます。

腕時計には、一度に最大20種類のスポーツプロファイルが保存できます。Polar FlowモバイルアプリまたはPolar Flowウェブサービスのスポーツプロファイルの数は制限されていません。

詳細については、[「Flowのスポーツプロファイル」](#)でご確認ください。

スポーツプロファイルを使用することで、各スポーツごとのトレーニング記録や進捗状況がわかります。トレーニング履歴や進捗状況は[Flowウェブサービス](#)で確認できます。

多くの屋内スポーツ、グループスポーツ、チームスポーツのプロファイルでは、「**HRを他のデバイスにも表示**」がデフォルトで有効になっていることに注意してください。これは、ジム機器といった、Bluetooth Smartワイヤレス技術を使用する対応デバイスが心拍数を検出できることを意味します。どのスポーツプロファイルでBluetooth通信がデフォルトで有効になっているか [Polarスポーツプロファイルリスト](#) で確認できます。 [スポーツプロファイル設定](#) でBluetooth通信を有効または無効にすることができます。

心拍ゾーン

最大心拍数における50%～100%の範囲は5つの心拍ゾーンに区切られます。あなたの心拍数を特定の心拍ゾーンに維持することで、ワークアウトの強度レベルを簡単にコントロールすることができます。各心拍ゾーンはそれぞれに効果的な要素があり、これらの内容を理解することで、ワークアウトから必要な効果を得るのに役立ちます。

つづきを読む: [心拍ゾーンとは?](#)

心拍センサーモード

心拍センサーモードを使えば、腕時計が心拍センサーに早変わり。トレーニングアプリやジム機器、サイクリングコンピューターなどのBluetoothデバイスで心拍数データを共有することもできます。心拍センサーモードで腕時計を使用するには、まず外付け受信デバイスとペアリングする必要があります。ペアリングの詳細な手順は、受信デバイスのユーザーガイドを参照してください。

心拍センサーモードをオンにする

- 時刻表示画面でOKボタンを長押し、またはBACK(左下)ボタンを押して、**トレーニングを開始**を選択します。選択したスポーツを表示させます。
- アイコンをタップするかLIGHT(左上)ボタンを押して、プレトレーニングモードからクイックメニューを開きます。
- 「**他のデバイスで心拍数を共有**」を選択します。
- 外付けデバイスのペアリングモードを有効にします。
- 外付けデバイスからGrit Xを選択します。
- 外付けデバイスでGrit Xとのペアリングを承認します。
- この設定が問題なく完了すると、Polarウォッチと外付けデバイスの両方で心拍数をチェックできるようになります。準備ができたなら、外付けデバイスからトレーニングセッションを開始します。トレーニングセッションを腕時計で記録する場合は、プレトレーニングモード画面で「OK」を押してトレーニングの記録を開始します。

心拍数データの共有をやめる

共有を停止するを選択します。プレトレーニングモードから出た場合や、トレーニングの記録を停止した場合にもまた、心拍数の共有は終了します。

スピードゾーン

スピード/ペースゾーンを使用して、セッション中のスピードまたはペースを簡単に監視し、スピード/ペースを調整して、目的のトレーニング効果を達成できます。ゾーンは、セッション中にトレーニングの効率をガイドするために使用でき、最適な効果を得るためにトレーニング強度をさまざまに調整することができます。

スピードゾーン設定

スピードゾーン設定は、Polar Flowウェブサービスで調整できます。5つの異なるゾーンがあり、ゾーン制限は手動で調整することも、デフォルトのゾーン制限を使用することもできます。これらはスポーツ特有で、各スポーツに最も合うようにゾーンを調整することを可能にします。このゾーンは、ランニングスポーツ(ランニングを含むチームスポーツを含む)、サイクリングスポーツ、ロービング、カヌーで利用できます。

デフォルト

「Default(デフォルト)」を選択した場合、リミットを変更できません。デフォルトのゾーンは比較的高いフィットネスレベルでトレーニングする方向けに設定されているスピード/ペースゾーンの参考的な値です。

フリー

「Free(フリー)」を選択した場合、すべてのリミットを変更できます。例えば、実際に測定し無酸素性閾値や有酸素性閾値、または乳酸閾値などの数値を把握している場合、あなた自身の閾値スピードまたはペースをベースにしたゾーンでトレーニングができます。無酸素性作業閾値のスピードおよびペースをゾーン5の最小値に設定することが推奨されますまた、有酸素性作業閾値を使用する場合、ゾーン3の最小値に設定します。

スピードゾーンによるトレーニング目標

スピード/ペースゾーンに基づいて、トレーニング目標を作成できます。FlowSyncを使用して目標を同期させると、トレーニング中にトレーニングデバイスからガイダンスが届きます。

トレーニング中

トレーニング中に、現在トレーニング中のゾーンと各ゾーンで費やされた時間を表示できます。

トレーニング後

腕時計のトレーニング概要には、各スピードゾーンで費やされた時間の概要が表示されます。同期後、詳細な視覚的スピードゾーン情報をFlowウェブサービスで表示できます。

リストデバイスで速度と距離を確認

腕時計は内蔵の加速度センサーで手首の動きから速度と距離を測定します。この機能は、屋内またはGPS信号が弱い場所でのランニングに便利です。精度を最適化するために、利き腕と身長を正しく設定してください。リストデバイスで速度と距離を確認する機能は、自然で快適なペースでのランニング時に最適に作動します。

腕時計は手首にしっかりと装着し、ずれたり、動いたりすることがないようにしてください。一定の読み取り値を維持できるよう、常に手首の同じ位置に装着してください。時計、アクティビティトラッカー、スマートフォン用アームバンドなどの他のデバイスを同じ腕に装着しないでください。また、地図またはスマートフォンなど、同じ手にもものを持たないでください。

次のランニングタイプのスポーツで、リストデバイスで速度と距離が確認できます：ウォーキング、ランニング、ジョギング、ロードランニング、トレイルランニング、トレッドミルランニング、トラック・フィールドランニング、ウルトラランニング。トレーニングセッション中に速度と距離を確認するには、必ず、速度と距離をランニング時に使用するスポーツプロファイルのトレーニングビューに追加してください。これは、Polar FlowモバイルアプリまたはPolar Flowウェブサービスの**スポーツプロファイル**で実行できます。

リストデバイスでケイデンスの確認

リストデバイスでケイデンスを測定できるため、ストライドセンサーを別途用意する必要なく、ランニングケイデンスを確認できます。ケイデンスは内蔵の加速度センサーで手首の動きから測定されます。ストライドセンサーを使用すると、ケイデンスは常にセンサーで測定されることに注意してください。

次のランニングタイプのスポーツで、リストデバイスでケイデンスが確認できます：ウォーキング、ランニング、ジョギング、ロードランニング、トレイルランニング、トレッドミルランニング、トラック・フィールドランニング、ウルトラランニング。

トレーニングセッション中にケイデンスを確認するには、ケイデンスをランニング時に使用するスポーツプロファイルのトレーニングビューに追加します。これは、Polar FlowモバイルアプリまたはPolar Flowウェブサービスの**スポーツプロファイル**で実行できます。

[「ランニングケイデンスのモニタリング」](#)および[「トレーニングでランニングケイデンスを活用する方法」](#)に関する詳細がご確認いただけます。

スイミングメトリクス

スイミングメトリクスは、各スイミングセッションの分析や、長期にわたるパフォーマンスと進捗の確認に役立ちます。



より正確な情報を得るために、腕時計を装着する手首を正しく設定してください。Polar Flowの商品設定から、どちらの手に腕時計を着用するように設定したことを確認できます。

プールスイミング

スイミングまたはプールスイミングプロファイルを使用する場合、腕時計が泳法を判別し、泳いだ距離、時間とペース、ストローク数、休息時間を記録します。さらに、SWOLFスコアにより、水泳技術の向上について確認できます。

泳法：腕時計は、以下の泳法を判別し、泳法に基づいたメトリクスや、トレーニングセッション全体についての合計の数値を算出します。

- 自由形
- 背泳ぎ
- 平泳ぎ
- バタフライ

ペースと距離：上の4つのうちの1つの泳法を腕時計が判別すると、ターンの回数も検知するようになり、さらに正確なペースと距離のデータを使用できるようになります。ペースと距離は、検知されたターンの数と設定されたプールの長さに基づいて測定されます。ターンする度に、合計距離にプールの長さが泳いだ距離として追加されます。

ストローク：腕時計は、1分当たりのストローク数、またはプールの長さ当たりのストローク数を示します。これにより、水泳の技術、リズム、タイミングについて学ぶことができます。

SWOLF(swimmingとgolfの略)は、効率性を把握するための間接的な測定値です。SWOLFは、プールを泳ぐのに要した時間とストローク数の合計により算出されます。例えば、30秒と10ストロークである距離を泳ぐと、SWOLFスコアは40となります。一般的に、ある距離とある泳法に対し、SWOLFが低くなるほど、効率的に泳いでいることになります。


SWOLFは個人によって大きく異なり、他の人のSWOLFスコアと比較されるものではありません。技術の向上・微調整に役立ち、様々な泳法に最適な効率を見つけるのに役立つ個人的なツールです。

プールの長さの設定

ペース、距離、ストローク数の計算、さらにSWOLFスコアの算出に影響を及ぼすため、正確なプールの長さを選択することが重要です。クイックメニューのプレトレーニングモード画面で、プールの長さを選択できます。LIGHT(左上)ボタンを押してクイックメニューにアクセスします。プールの長さ設定を選択し、必要であれば前に入力したプールの長さを変更してください。デフォルトの長さは、25メートル、50メートル、25ヤードですが、手動で長さを設定することもできます。設定できる最短の長さは、20メートル/ヤードです。

オープンウォータースイミング

オープンウォータースイミングプロファイルでは、腕時計が水泳の距離、ペース、フリースタイルのストローク数、ルートを記録します。

 自由形は、オープンウォーターのスイミングプロファイルが認識できる唯一の泳法です。

ペースと距離: 腕時計は、GPSを使用し、水泳時のペースと距離を計算します。


自由形のストローク数: 腕時計は、トレーニングセッションの平均ストロークレイトと最大ストロークレイト(1分当たりのストローク数)を記録します。

ルート: ルートはGPSにより記録され、水泳後に、Flowアプリやウェブサービスでマップ上でルートを確認できます。GPSは水中では機能しません。そのため、あなたの手が水面から離れているか、水面に非常に近いときに取得されたGPSデータからルートがフィルタリングされます。水の状態や衛星の位置などの外部要因がGPSデータの精度に影響を与える可能性があり、その結果、同じルートのデータは日々変化する可能性があります。

水中で心拍数を測定


お使いの腕時計は、新しいPolar Precision Primeセンサー融合技術を使用して手首から心拍数を自動的に測定し、スイミング中に心拍数を簡単かつ快適に測定することができます。水は、手首での心拍計測定が最適に機能するのを妨げる可能性があります。Polar Precision Primeの精度は、スイミングセッション中に平均心拍数と心拍ゾーンを監視し、正確な消費カロリー値、トレーニングセッションからのトレーニング負荷、心拍ゾーンに基づくトレーニング効果フィードバックを可能にするのに十分です。

心拍数データの精度を可能な限り高めるためには、腕時計を手首にぴったりと(他のスポーツよりもぴったりと)着用することが重要です。トレーニング中の腕時計の装着方法については、[「手首での心拍数測定機能を使用したトレーニング」](#)をご確認ください。

 Bluetoothは水中で機能しないため、水泳時に腕時計でチェストストラップ付きPolar心拍センサーを使用できないことに注意してください。

スイミングセッションの開始

1. BACK(左下)ボタンを押し、メインメニューから**トレーニングを開始**を選択し、**スイミング、プールスイミングまたはオープンウォータースイミングプロファイル**を表示させます。
2. **スイミング/プールスイミングプロファイルを使用するときは**、プールの長さが正しく設定されていることを確認して下さい。プールの長さを変更するには、LIGHT(左上)ボタンを押してクイックメニューにアクセスし、**プールの長さ設定**で正確な長さを設定します。

 プールに入るまでは、トレーニングセッションの記録を開始しないでください。ただし、水中ではボタンを押さないようにしてください。

3. トレーニング記録を開始するには、「スタート」ボタンを押します。

水泳中

Flowウェブサービスのスポーツプロフィールのセクション内で画面に表示する情報をカスタマイズできます。スイミングスポーツプロフィールのデフォルトのトレーニングビューでは、以下の情報がプロフィールされます：

- 心拍数と心拍数ZonePointer
- 距離
- トレーニング時間
- 休止時間(スイミングおよびプールスイミング)
- ペース(オープンウォータースイミング)
- 心拍数グラフ
- 平均心拍数
- 最大心拍数
- 時刻

水泳後

スイミングデータの概要は、トレーニングセッション直後に腕時計のトレーニング概要で確認できます。次の情報を見ることができます：



トレーニングセッションを開始した日付および時刻

トレーニングセッションの継続時間

スイミング距離



平均心拍数

最大心拍数

カーディオ負荷



心拍ゾーン



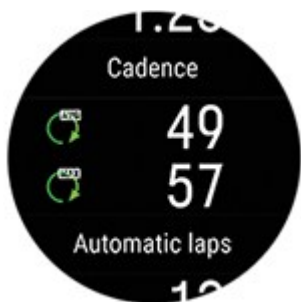
消費カロリー

カロリーに占める脂肪燃焼率 %



平均ペース

最高ペース



ストロークレート(1分当たりのストローク数)

- 平均ストロークレート
- 最大ストロークレート

プールスイミングセッション、心拍数、ペース、ストロークレート曲線の詳細な内訳を含む、スイムのより詳細な視覚的表現を見るには、腕時計をPolar Flowと同期させてください。

気圧計

気圧計機能には、高度、上方傾斜、下方傾斜、上昇、下降が含まれます。高度は、測定した気圧を高度に換算する大気圧センサーを使って測定します。上昇および下降率は、メートルおよびフィートで表示されます。

トレーニングセッションの最初の数分間に、GPSを介して気圧高度が自動的に2回校正されます。校正前のトレーニングセッションの開始時には、高度は気圧によってのみ決まるため、状況によっては不正確になることがあります。高度データは校正後に後補正されるため、トレーニングセッション開始時に表示される不正確な測定値は後で自動的に補正され、データを同期した後、セッション後にFlowウェブサービスおよびアプリで補正データを表示できます。

ピークまたは地形図のような信頼できるリファレンスが利用可能な場合、または海拔ゼロにある場合は、高度測定の精度を高めるために、手動で高度を校正することをお勧めします。高度はフルスクリーンの高度トレーニングビューから手動で校正できます。OK ボタンを押して現在の高度を設定します。

デバイスに土や汚れなどが付着していると、高度測定の精度に影響する可能性があります。気圧高度測定が正確に行われるようデバイスを清潔に保ってください。

コンパス

セッション中にコンパスを使用するには、表示したいスポーツプロファイルに追加する必要があります。Flowウェブサービスで、**Sport Profiles(スポーツプロファイル) > 追加したいスポーツプロファイルで edit(編集) を選択し > Related to device(デバイス関連)** に

進み、Grit X > Training views(トレーニングビュー) > Add new(新規追加) > Fullscreen(フルスクリーン) > Compass(コンパス)を選択して、保存を選択します。変更を腕時計に同期することを忘れないでください。

トレーニングセッション中のコンパスの使用

トレーニングセッション中に、UP(右上)/DOWN(右下)ボタンでコンパス表示をスクロールできます。ディスプレイにあなたの方角と各方位が表示されます。



コンパスの校正

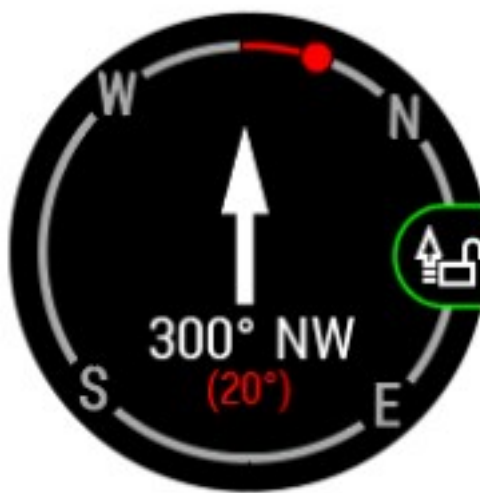
トレーニングセッション中にコンパスの校正を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、表示された指示に従って校正してください。

クイックメニューからコンパスを手動で校正することもできます。トレーニングセッションを一時停止して、LIGHT(左上)ボタンを押してクイックメニューにアクセスし、コンパスの校正を選択します。表示された指示に従ってください。

方角をロック

コンパストレーニングビュー画面でOKを押し、現在の方角に固定します。設定後は固定した方角との差異を、赤字で表示します。

まず最初に、忘れずにコンパスを校正しておいてください。



天気

天気ウォッチフェイスには、現在の日の1時間単位の予報、翌日の3時間単位の予報、2日後の6時間単位の予報が表示されます。表示される他の天気情報には風速、風の方向、湿度、降水確率が含まれます。

天気情報は天気ウォッチフェイスからのみ見ることができます。時刻表示画面で表示されるまで左右にスワイプします。

天気機能を使用するには、スマートフォンにPolar Flowアプリをインストールし、腕時計をアプリとペアリングする必要があります。天気情報を使用するには、位置情報サービス(iOS)または位置情報設定(Android)をオンに設定しておく必要があります。

今日の予報



- 予報の位置情報
- 最終更新日
- 更新(例えば場所が変更されたので天気情報を更新する必要がある場合、または最後に更新されてから時間が経った場合に表示されます)
- 現在の気温

- 体感温度

- 雨
- 風速
- 風の方向
- 湿度
- 1時間単位の予報



Weather forecast

11:00		17°	2 ↗
12:00		18°	2 ↗
13:00		19°	2 ↗
14:00		19°	2 ↗
15:00		19°	2 ↗
16:00		18°	2 ↗
17:00		18°	2 ↗
18:00		17°	2 ↗
19:00		17°	2 ↗
20:00		16°	2 ↗
21:00		16°	2 ↗
22:00		15°	2 ↗
23:00		15°	2 ↗

トレーニングセッション中の天気についての情報を含む天気の履歴が利用できないことに注意してください。

明日の予報

- 3時間ごとの低/高の予報

Tomorrow

0:00		14° / 15°
3:00		12° / 14°
6:00		14° / 16°
9:00		16° / 19°
12:00		19° / 20°
15:00		19° / 20°
18:00		16° / 19°
21:00		15° / 16°




- 6時間ごとの低/高の予報

パワーセーブ設定

パワーセーブ設定では、GPS記録間隔を変更し、手首での心拍計測をオフに設定し、スクリーンセーバーを使用することによりトレーニング時間を延ばすことができます。これらの設定でバッテリーの使用を最適化でき、非常に長時間のセッションやバッテリーが少ない状態で動作しているときにトレーニング時間が多く取れるようになります。

パワーセーブ設定は[クイックメニュー](#)にあります。トレーニングセッション中に一時停止した場合や、マルチスポーツセッションで移行

モードにある時には、プレトレーニングモードから、クイックメニューにアクセスできます。プレトレーニングモードでは、 をタップするか、LIGHT(左上)ボタンでアクセスできます。停止画面、移行モードで、はLIGHT(左上)ボタンでのみアクセスできます。

パワーセーブ設定で何らかの設定を行うと、その効果がプレトレーニングモードの概算トレーニング時間に見られます。パワーセーブ設定は各トレーニングセッションごとに別々に設定されることに注意してください。設定は保存されません。



① 気温が概算トレーニング時間に影響することに注意してください。寒い環境でトレーニングする場合、実際のトレーニング時間はトレーニングセッション開始時に表示された時間より短い可能性があります。

GPSの記録間隔

GPS記録間隔をより少ない頻度に設定します(1分または2分)。長時間のバッテリー持続時間が必要な場合、非常に長時間のトレーニングセッションで便利です。

② ルートガイダンスやKomootルート、Strava Liveセグメントのようなナビゲーション機能を使用するには、GPS記録間隔を1秒に設定する必要があることに注意してください。スポーツプロフィールと使用するセンサーによっては、例えばランニングパワー、スピード/ペース、距離などのその他の機能が影響を受ける場合があります。

手首での心拍計測

手首での心拍計測をオフに設定します。必ずしも心拍数データを必要としない場合は、パワー節約のためにオフに設定します。チェストストラップの心拍数モニターを使用する場合、手首での心拍計測はデフォルトでオフに設定されています。

スクリーンセーバー

トレーニングデータを継続的に表示される必要がないトレーニングセッションではスクリーンセーバーをオンに設定します。

スクリーンセーバーがオンに設定されていると、ディスプレイには時刻のみ表示されます。スクリーンセーバーを終了し、トレーニングデータを表示するには、いずれかのボタンを押します。スクリーンセーバーは8秒後に戻ります。

使用エネルギー

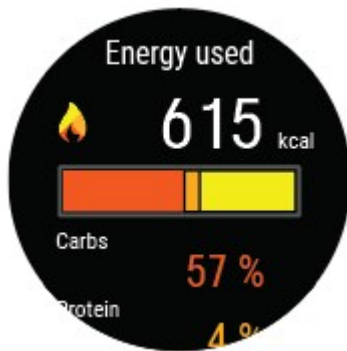
使用エネルギーの内訳はトレーニングセッション中に様々なエネルギー源(脂肪、炭水化物、タンパク質)をどれだけ使用したかを示しています。トレーニングセッションを終了した直後に腕時計のトレーニング概要で見ることができます。詳細情報はデータを同期した後にPolar Flowモバイルアプリで表示できます。

身体活動中は炭水化物と脂肪を主なエネルギー源として使用しています。トレーニング強度が高くなると、脂肪燃焼量との比率において、より多くの炭水化物が消費されるようになります。タンパク質の役割は通常かなり小さいですが、強度の高い活動と長時間のセッションの間はプロテインからエネルギーの約5~10%を使用することができます。

使用エネルギーの算出は心拍数を基準としています。この時、個々の身体情報の設定内容も、算出時の考慮に入れています。これには、年齢、性別、身長、体重、最大心拍数、安静時の心拍数、最大酸素摂取量、有酸素性作業閾値、無酸素性作業閾値が含まれます。最も精度の高いエネルギー源消費データが得られるよう、これらの設定をできるだけ正確に設定することが重要です。

使用エネルギー概要

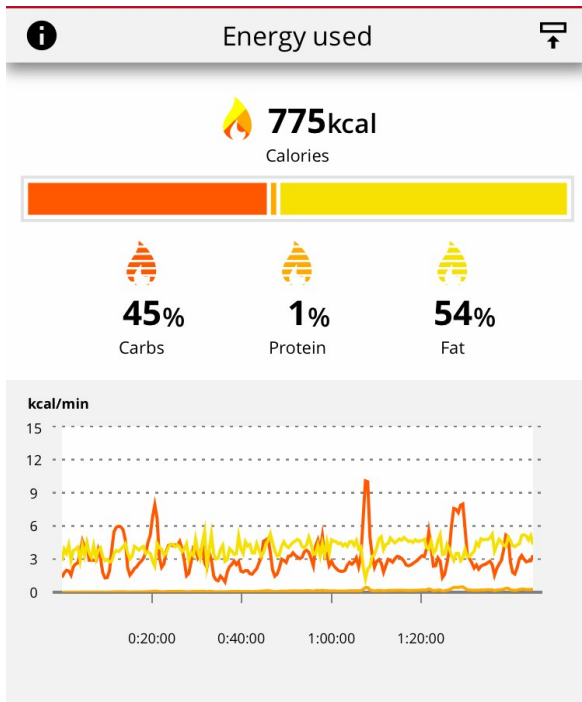
トレーニングセッション後、トレーニング概要に以下の情報が表示されます：



トレーニングセッション中に使用した炭水化物、タンパク質、脂肪。

①トレーニングセッション後に食事を摂った場合は、使用エネルギーの量をガイドラインとして解釈しないよう注意してください。

POLAR FLOWモバイルアプリの詳細分析



Polar Flowアプリでは、トレーニングセッションの各ポイントでのこれらのエネルギー源の使用量やセッションを通してエネルギーがどれくらい蓄積されたかを確認できます。トレーニング強度の変動により、異なるエネルギー源が使われることがこのグラフでわかります。同様にトレーニングセッション中の進み具合によっても、段階ごとにその結果は変わってきます。類似のトレーニングセッションでは時間の経過とともに内訳がどのように推移するかと比較し、脂肪を主要エネルギー源として使用する能力の向上を確認することもできます。

使用エネルギーについて詳しく知るには: [使用エネルギー源](#)

スマート通知

スマート通知では、電話の着信、メッセージ、アプリからの通知を腕時計上で表示できます。スマートフォンの画面に表示されるものと同じ通知を腕時計でも受信できます。通知はトレーニング時間外にも、トレーニングセッション中にも受け取れます。いつ通知を受信したいかを選択できます。スマート通知は、iOS、Android搭載スマートフォンで利用が可能です。

スマート通知を使うには、あなたのスマートフォン上でPolar Flowアプリが有効であること、またあなたの腕時計がそのスマートフォンとペアリング済みであることが条件となります。手順は、[腕時計とモバイルデバイスをペアリングする](#)をご参照ください。

スマート通知をオンにする

腕時計上で **設定 > 基本設定 > スマート通知** を選択し、オンに設定します。スマート通知をオフ、(トレーニング時間外は) オン、(トレーニング時は) オン、または常にオンに設定します。

スマート通知は、Polar Flowアプリのデバイス設定画面でオンに設定できます。通知設定をオンにした後、腕時計をPolar Flowアプリに同期させてください。



スマート通知をオンに設定した場合、Bluetoothが継続的にオンの状態になるため、腕時計やスマートフォンのバッテリーは、通常よりも早く消耗しますのでご注意ください。

通知非表示

一定の時間、通知や着信アラートを無効にするには、「通知非表示」をオンに設定します。オンの場合、設定した時間帯は通知または着信アラートが表示されません。

腕時計で、「設定」>「基本設定」>「非表示時間設定」に進みます。オフ、オンまたはオン(22:00~7:00)から選択し、通知非表示の設定を有効にする期間を設定します。開始時間と終了時間を選択します。

通知を見る

トレーニングしていないときは、通知を受信すると腕時計が振動し、ディスプレイ画面の左下部分に赤いドットが表示されます。BACK(左下)ボタンを押し、**通知**を選択するか、手首を回して、腕時計の画面上に表示される通知を閲覧できます。

トレーニングセッション中に通知を受信すると、腕時計が振動し、発信者が表示されます。通知を削除するには、通知閲覧中にOKボタンを押し、**削除**を選択します。腕時計のすべての通知を削除するには、通知リストを下にスクロールさせて、**全て削除**を選択します。

電話の呼び出しがかかると腕時計が振動し、発信者の名前が表示されます。腕時計上で通話に応答したり、受信を拒否することができます。



Phone notifications may function differently depending on the model of your Android phone.

音楽コントロール


スマートフォンで再生中の音楽とメディアを腕時計上から調整することができます。この操作は、トレーニング中、または静止中も時刻表示画面から実行できます。**設定 > 基本設定 > 音楽コントロール**から音楽の調整を実行します。トレーニング表示画面、時刻表示画面の両方から音楽をコントロールすることができます。セッション中は**トレーニング表示画面**から今額をコントロールできます。また時刻表示画面の音楽コントロールを使ってトレーニングをしていない時は、**文字盤**から音楽コントロール機能にアクセスします。**文字盤表示 > 音楽コントロール**から音楽コントロール機能を文字盤レイアウトに追加することも可能です。

音楽コントロール機能は、iOS、Android搭載スマートフォンで利用できます。音楽コントロール機能を使うには、あなたのスマートフォン上でFlowアプリが有効になっていること、また、腕時計がそのスマートフォンとペアリング済みであることが条件となります。手順は、[腕時計とモバイルデバイスをペアリングする](#)でご確認ください。Flowアプリ経由で腕時計とスマートフォンのペアリングが完了すると、音楽コントロール機能の設定が表示されます。Flowアプリ経由で腕時計の設定をすでに行った場合は、あなたの腕時計はすでにスマートフォンとペアリング済みということになります。

文字盤から設定する

トレーニング時間がいも、腕時計の音楽コントロール機能を追加した時刻表示画面から、音楽やメディアをコントロールできます。



- 時刻表示画面で、音楽コントロールが文字盤に表示されるまで左右にスワイプしてください。
- 一時停止/再生、または曲順の選択ができます。
- タップして  音量を調整します。

トレーニング中

トレーニング表示画面から音楽コントロール機能にアクセスしたい時は、トレーニングセッション開始後プレーヤーがONの状態の場合、トレーニングビューで音楽を調整できる設定が有効になります。



- UP(右上)ボタンを押し、トレーニングセッション中音楽コントロール可能なトレーニングビュー画面を選択します。
- OKボタンを押すと、前へ次へ、一時停止/再生ボタンが表示されます。UP(右上)ボタンとDOWN(右下)ボタンを使って前の曲、次の曲に切り替えます。一時停止したい時はOKボタンを押します。LIGHT(左上)ボタンをタップして音量を調整します。

変更可能なリストバンド

Grit Xは標準の22mmバンドを使用しています。変更可能なリストバンドを使用すると、あらゆる状況やスタイルに合わせて腕時計をパーソナライズできるので、いつでも着用し、24時間/365日 アクティビティラッキング、継続的な心拍数測定、睡眠状態のトラッキングを最大限に活用できます。

④GPSの精度に影響する場合がありますので、金属製のリストバンドの使用は避けることをお勧めします。

リストバンドを変更する

付属のリストバンドの交換方法はいたって簡単ですPolarのセレクションからお気に入りのリストバンドを選択するか、22 mmのスプリングバーを使用する他の腕時計バンドを使用してください。

1. バンドを取り外すには、クイックリリースノブを内側に押しバンドを腕時計から引き離します
2. クイックリリースノブを内側に押し、ピンのもう一方の端を腕時計の穴に合わせます
3. ノブを放して、バンドを所定の位置に固定します
4. ノブ部分がしっかりと固定されていれば、これで完了です

互換性のあるセンサー

互換性のあるBluetooth®センサーを使用して、トレーニングをさらに効果的なものにし、自分のパフォーマンスに関する理解をさらに深めましょう。多くのPolarセンサーに加えて腕時計は、いくつものサードパーティ製センサーに対応しています。

[互換性のあるPolarセンサーおよびアクセサリのリストを表示する](#)

[互換性のサードパーティ製センサーを表示する](#)

新しいセンサーを使用する前に、センサーを腕時計とペアリングする必要があります。ペアリングは約数秒間で完了し、腕時計があなたのセンサーからのみ信号を受信することで、グループトレーニングでも電波干渉を防ぎます。イベントやレースに参加する場合は、他のデータ転送による電波干渉を防止するため、あらかじめご自宅でペアリングしてください。手順については、[「センサーと腕時計をペアリングする」](#)を参照してください。

POLAR H10心拍センサー

チェストストラップ付きPolar H10心拍センサーを使用して、心拍数を最大精度で監視します。

Polar Precision Primeは、最も正確な光学式心拍数計測技術であり、どこでもほとんど動作しますが、手首上でセンサーを固定することが難しい、またはセンサーの近くの筋肉または腱を動かすことのできる多くのスポーツの場合は、Polar H10心拍センサーが、最高の心拍数精度を提供します。Polar H10心拍センサーは、心拍数の急激な上昇または下降に反応しますので、クイックスプリントを伴うインターバルタイプのトレーニングのための理想的な選択肢です。

Polar H10心拍センサーには、内部メモリが搭載されており、接続されたトレーニングデバイスや近くにモバイルトレーニングアプリがない状態で、1回のトレーニングセッションを記録できます。H10心拍センサーとPolar Beatアプリをペアリングして、アプリでトレーニングセッションを開始するだけです。このようにして、Polar H10心拍センサーを使用して、スイミングセッションから心拍数を記録することができます。詳細については、[Polar Beat](#)および[Polar H10心拍センサー](#)のサポートページでご確認ください。

サイクリングセッション中にPolar H10心拍センサーを使用するときは、自転車のハンドルバーに腕時計を取り付けて、ライディング中のトレーニングデータを簡単に表示できます。

POLARスピードセンサーBLUETOOTH® SMART

あなたのサイクルスピードに影響を与える要因はいくつもあります。当然、体力はその1つですが、気候条件や道路の傾斜の違いも大きな要因になります。あなたのスピードパフォーマンスに影響を与えるこれらの要因を測定するための最も高度な方法は、空気力学速度センサーです。

- ・リアルタイム、平均、最大の速度を測定
- ・平均速度を記録し、進捗とパフォーマンスの改善を確認
- ・軽量で堅牢、簡単に装着可能

POLARケイデンスセンサーBLUETOOTH® SMART

サイクリングセッションを測定する最も実用的な方法は、最先端のワイヤレスケイデンスセンサーです。センサーがリアルタイム、平均、最大のケイデンスを1分間の回転数で測定し、過去のライドとの比較が簡単にできます。

- ・最適なケイデンスを確認し、サイクリング技術を改善しましょう。
- ・干渉防止のケイデンスデータで、あなたのパフォーマンスを評価
- ・空気抵抗が少なく、軽量設計

サードパーティ製パワーセンサー

サイクリングパワー

サイクリングパワーを測定することにより、サイクリングパフォーマンスとペダリングテクニックを監視・向上させることができます。心拍数とは異なり、パワー出力は、努力の絶対値かつ目標値です。つまり、非常に信頼性の高い結果より、パワー値を同じ性別でほぼ同じ体型のサイクリング仲間と比較したり、キログラム当たりのワット数を比較したりすることができます。また、心拍数に対応するパワーゾーンを確認することにより、更なる洞察が得られます。

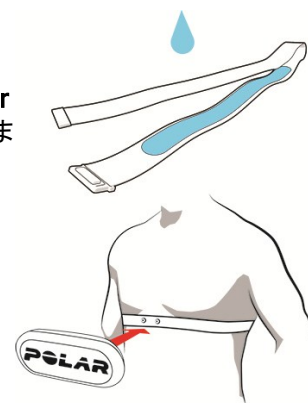
センサーと腕時計をペアリングする

心拍センサーと腕時計のペアリング

① 腕時計とペアリングされたPolar心拍センサーの装着時は、腕時計は手首による心拍数計測を行いません。

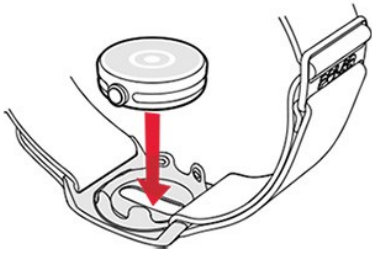
Polar H10

1. 湿らせた心拍センサーを装着します。
2. 腕時計で、**General Settings(基本設定) > Pair and sync(ペアリングと同期) > Pair sensor or other device(センサーまたは他のデバイスをペアリング)**に進み、OK(右中央)ボタンを押します。
3. 装着した心拍センサーと腕時計をタッチして、検出されるのを待ちます。
4. 心拍センサーが見つかったら、例えば、デバイスID「Polar H10 xxxxxxxxをペアリング」と表示されます。OK(右中央)ボタンを押すと、ペアリングが開始されます。
5. 完了すると、「ペアリング完了」と表示されます。

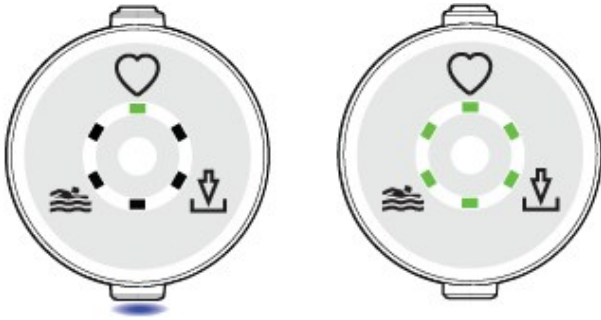


Polar OH1+, Polar Verity Sense

1. センサーをアームバンドホルダーにレンズを上向きにして設置し。



2. ライトが点灯するまでボタンを押しセンサーをオンにします。
3. **Verity Sense: センサーの選択モードがハート印の心拍数モードになっていることを確認してください。** 選択後6つのライトがすべてが点灯したらPolarウォッチのペアリングを開始できます。



4. 腕時計で、**General Settings(基本設定) > Pair and sync(ペアリングと同期) > Pair sensor or other device(センサーまたは他のデバイスをペアリング)**に進み、OK(右中央)ボタンを押します。
5. 心拍センサーが見つかったら、例えば、デバイスID「**Polar Sense xxxxxxxxをペアリング**」と表示されます。OK(右中央)ボタンを押すと、ペアリングが開始されます。
6. 完了すると、「**ペアリング完了**」と表示されます。



サイクリングセンサーと腕時計のペアリング

ケイデンスセンサー、スピードセンサーまたはサードパーティ製パワーセンサーをペアリングする前に、必ずセンサーが正しく取り付けられていることを確認してください。センサーの取り付けに関する詳細は、各センサーのユーザーマニュアルを参照してください。

① サードパーティ製パワーセンサーをペアリングする場合は、お使いの腕時計とセンサーに最新版のファームウェアがインストールされていることを確認してください。2台のパートランスミッターを使用する場合は、一度に1台のトランスミッターをペアリングする必要があります。

あります。1つ目のトランスミッターのペアリング後、2つ目つのトランスミッターをすぐにペアリングできます。各トランスミッターの裏側にあるデバイスIDを確認して、リストから正しいトランスミッターを選択します。

1. 腕時計で、**General Settings(基本設定) > Pair and sync(ペアリングと同期) > Pair sensor or other device(センサーまたは他のデバイスをペアリング)**に進み、OK(右中央)ボタンを押します。
2. 腕時計がセンサーを検索し始めます。**ケイデンスセンサー**: クランクを数回まわして、センサーを有効にします。センサーがオンになると、センサーの赤色ライトが点滅します。**スピードセンサー**: ホイールを数回まわして、センサーを有効にします。センサーがオンになると、センサーの赤色ライトが点滅します。**サードパーティ製パワーセンサー**: クランクを回転させてトランスミッターを起動します。
3. 心拍センサーが見つかったら、デバイスIDが表示されます。OK(右中央)ボタンを押すと、ペアリングが開始されます。
4. 完了すると、「**ペアリング完了**」と表示されます。

バイク設定

1. 「**Sensor linked to:(センサーが以下にリンクされました:)**」と表示されます。**Bike 1(バイク1)**、**Bike 2(バイク2)**または**Bike 3(バイク3)**を選択します。OKボタンで確認します。
2. 速度を測定する**スピードセンサー**または**パワーセンサー**をペアリングしている場合は、「**Set wheel size(ホイールサイズを設定)**」と表示されます。サイズを設定し、OKボタンを押します。
3. **クランク長**: クランクの長さ(mm)を設定します。この設定は、**パワーセンサー**とペアリングしている場合のみ表示されます。

ホイールサイズの測定

ホイールサイズの設定は、正しいサイクリング情報を得るために必須です。使用するバイクのホイールサイズを決定するには、2つの方法があります。

方法1

- 最も正確な結果を得るため、対象のホイールを実際に計測します。
- ホイールが地面に接触するポイントの印にバルブを利用します。その地点にマークを付けるため、地面に線を引きます。水平面でバイクを前進させ、ホイールを1回転させます。タイヤが地面に対し垂直になるようにしてください。ホイールが完全に1回転したら、バルブの位置に、地面に別な線を引きます。2本の線の間隔を測定します。
- ホイール外周を算出するには、バイクに乗る際の加重を考慮して4mmを差し引きます。

方法2

ホイール上に印刷してある直径(インチ単位またはETRTO)を確認します。表の右列にあるホイールサイズ(ミリ単位)を確認します。

ETRTO	ホイールサイズの直径(インチ)	ホイールサイズの設定(mm)
25-559	26 x 1.0	1884
23-571	650 x 23C	1909
35-559	26 x 1.50	1947
37-622	700 x 35C	1958
52-559	26 x 1.95	2022
20-622	700 x 20C	2051
52-559	26 x 2.0	2054
23-622	700 x 23C	2070
25-622	700 x 25C	2080
28-622	700 x 28	2101
32-622	700 x 32C	2126
42-622	700 x 40C	2189

ETRTO	ホイールサイズの直径(インチ)	ホイールサイズの設定(mm)
47-622	700 x 47C	2220

④ホイールサイズはホイールの種類や空気圧によって変わるため、表の数値は参考値になります。

サイクリングパワーセンサーを校正する

クイックメニューからセンサーの校正ができます。まずサイクリングスポーツプロファイルのいずれかを選択し、クランクを回転させてトランスミッターを起動します。次にクイックメニューから**パワーセンサーの校正**を選択し、画面の指示に従ってセンサーを校正します。お使いのパワーセンサー固有の校正手順については、メーカーの説明書を参照してください。

ストライドセンサーと腕時計のペアリング

1. Bluetooth対応のストライドセンサーをご使用の腕時計にペアリングするには、**General Settings(基本設定) > Pair and sync(ペアリングと同期) > Pair sensor or other device(センサーまたは他のデバイスをペアリング)**に進み、OK(右中央)ボタンを押します。
2. 腕時計がセンサーを検索し始めます。装着したセンサーと腕時計をタッチして、検出されるのを待ちます。
3. 心拍センサーが見つかったと、デバイスIDが表示されます。OK(右中央)ボタンを押すと、ペアリングが開始されます。
4. 完了すると、「**ペアリング完了**」と表示されます。

ストライドセンサーの校正

クイックメニューから手動でストライドセンサーを校正する方法は2つあります。ランニングスポーツプロファイルを選択して、「**ストライドセンサーの校正**」>「**ランニングの校正**」または「**校正内容**」の順に選択します。

- **ランニングの校正**: トレーニングセッションを開始して、設定した距離を走ります。距離は400m以上にしてください。その距離を走り終えたら、OKボタンを押してラップを取ります。実際に走った距離を設定し、OKボタンを押します。校正内容が更新されます。
 - ① **インターバルタイマー**は校正中に使用できませんのでご注意ください。インターバルタイマーをオンに設定している場合、腕時計がストライドセンサーの手動校正を有効にするためオフにするか確認します。校正後、一時停止モードのクイックメニューからタイマーをオンにすることができます。
- **校正内容**: 内容で正確な距離が分かる場合、手動で校正内容を設定します。

マニュアルおよび自動校正の詳細については、「[Grit X/Vantage V/Vantage Mを使ってストライドセンサーを校正する](#)」を確認してください。

ペアリングの解除

センサーまたはモバイルデバイスとのペアリングを解除するには:

1. **Settings(設定) > General settings(基本設定) > Pair and sync(ペアリングと同期) > Paired devices(ペアリング済のデバイス)**に移動し、OKボタンを押します。
2. リストから解除するデバイスを選択し、OKボタンを押します。
3. 「**Remove pairing?(ペアリングを解除しますか?)**」と表示されます。OKボタンを押して確認します。
4. 完了すると、「**Pairing removed(ペアリングを解除しました)**」を表示されます。

POLAR FLOW

POLAR FLOWアプリ

Polar Flowモバイルアプリでは、トレーニングやアクティビティデータのビジュアル解析を即時に閲覧できます。またアプリ内でトレーニングプランを立てることもできます。

トレーニングデータ

Polar Flowアプリでは、過去のセッションや予定中のトレーニングセッション情報に気軽にアクセスでき、また新しいトレーニング目標の設定も簡単にできます。クイック目標またはフェーズ目標の選択が可能です。

トレーニングの概要や、パフォーマンスの詳細分析をすぐにチェックできます。トレーニングダイアリーで週ごとのトレーニングの概要を表示します。トレーニング中のハイライトシーンを、[画像シェア](#)機能で友達と共有する楽しみ方もあります。

アクティビティデータ

24時間/365日 アクティビティラッキングの詳細を見る毎日のアクティビティ目標までの差異、またどうすれば達成できるかを確認できます。歩数、歩数と燃焼カロリー値をベースにしたトレーニング距離データもチェックできます。

睡眠データ

睡眠パターンを記録することにより、日常生活に起こる変化により何らかの影響を受けているかどうか確認でき、休息、毎日のアクティビティ、そしてトレーニングの適切なバランスを見つけることができます。Polar Flowアプリでタイミング、睡眠時間、睡眠量、および睡眠の質を表示することができます。

自分が望む最適睡眠時間を設定し、毎晩の目標睡眠時間を決めることができます。睡眠を評価することもできます。睡眠データ、自分が望む最適睡眠時間、睡眠の自己評価に基づいて、フィードバックが受けられます。

スポーツプロファイル

Polar Flowアプリ上で、簡単にスポーツプロファイルの追加、編集、削除、リスト整理を実行できます。Polar Flowアプリおよび腕時計上で、最大20種のスポーツプロファイルを設定できます。

詳細は、[Polar Flowのスポーツプロファイル](#)をご確認ください。

画像の共有

Polar Flowアプリの画像共有機能を使えば、トレーニングデータを添付した画像を、一般的なソーシャルメディア(Facebook、Instagramなど)で公開することができます。保存済みの写真、またはその場で撮影した写真を選べます。トレーニングデータを添えてカスタマイズすることも可能です。トレーニングセッション中にGPS記録機能をオンにしていた場合は、トレーニングルートのスナップショットも共有できます。

説明ビデオはこちらのリンクをクリック:

[Polar Flowアプリ|トレーニング結果の写真を共有する](#)

POLAR FLOWアプリの使用を開始する

モバイルデバイスとPolar Flowアプリを使用して、[腕時計を設定](#) できます。

Polar Flowアプリは、App StoreかGoogle Playからモバイルデバイスにダウンロードします。Polar Flowアプリの使用についてのサポートおよび詳細は、support.polar.com/en/support/Flow_appでご確認ください。

新しいモバイルデバイス(スマートフォン、タブレット)を使用する際には、はじめに腕時計とペアリングする必要があります。[ペアリング](#)で詳細をご確認ください。

トレーニングセッション後腕時計はトレーニングデータをPolar Flowアプリに自動で同期します。スマートフォンがインターネットに接続されている場合、アクティビティとトレーニングデータは自動でFlowウェブサービスに同期されます。Polar Flowアプリの使用は、トレーニングデータを腕時計からウェブサービスに同期する最も簡単な方法です。同期の詳細については、「[同期](#)」でご確認ください。

Polar Flowアプリの機能に関するさらに詳しい情報や手順は、[Polar Flowアプリ製品サポートページ](#)をご覧ください。

POLAR FLOWウェブサービス

Polar Flowウェブサービスではトレーニングの内容を詳しく分析。自分のパフォーマンスを把握することができます。スポーツプロフィールを追加し設定を調整することで、自分のトレーニングにのニーズに合わせ腕時計をカスタマイズすることが可能です。トレーニング中のハイライトシーンを、画像シェア機能でFlowコミュニティの友達と共有する楽しみ方もあります。またクラブ主催のクラスに登録すれば、各個人の能力に合わせた、ランニングイベントに向けトレーニングプログラムも利用できます。

Polar Flowウェブサービスは、毎日のアクティビティ目標や達成状況を表示し、日常の習慣とアクティビティが健康に与える効果を把握するのに役立ちます。

[腕時計の設定](#)は、PC上でflow.polar.com/startから実行できます。その際に、ウェブサービスのユーザーアカウントを作成し、腕時計とウェブサービス間のデータ同期に使用するFlowSyncソフトウェアをダウンロードおよびインストールするようガイドされます。モバイルデバイスとPolar Flowアプリを使用して設定を行った場合、設定時に作成したアカウント情報を使用してFlowウェブサービスにログインできます。

「ダイアリー」

ダイアリーでは、毎日のアクティビティ、睡眠、予定済みのトレーニングセッション(トレーニング目標)、また過去のトレーニング結果のレビューを閲覧できます。

レポート

レポートでは、あなたの進捗状況を表示します。

トレーニングレポートは、長期間におけるトレーニング中のあなたの進捗状況をモニタリングでき、とても便利です。特定のスポーツの週、月、年ごとのレポートを選べます。期間を選ぶ欄では、スポーツの種類と時間枠の両方を選択できます。レポートを希望する時間枠とスポーツをドロップダウンメニューから選択します。ネジのアイコンを押しレポートグラフで表示させたいデータ項目を選びます。

アクティビティレポートにより、毎日のアクティビティの長期トレンドを確認できます。日別、週別、月別のレポートを選択できます。アクティビティレポートでは、特定の期間における毎日のアクティビティ、歩数、カロリー値、睡眠のデータでベストな結果が記録された日をチェックすることもできます。

プログラム

Polar ランニングプログラムは、Polar 心拍ゾーンやあなた個人の傾向やトレーニング頻度を考慮しつつ、カスタマイズしたプランであなたを目標達成に導きます。この高度なプログラムには、あなたの進捗状況の経過が反映されます。Polar ランニングプログラムは、5k、10k、ハーフマラソン他マラソンイベントで利用できます。プログラムにより違いはありますが、各週2 - 5種のエクササイズプランを提供します。利用方法はとても簡単です。

Polar Flowウェブサービス使用についてのサポートおよび詳細情報は、support.polar.com/en/support/flowよりご確認ください。

POLAR FLOWのスポーツプロフィール

腕時計のデフォルトには、14個のスポーツプロフィールがあります。Polar Flowアプリまたはウェブサービスで、新しいスポーツプロフィールをスポーツリストに追加したり、設定を編集したりできます。腕時計本体には、最大20個のスポーツプロフィールが保存できます。Polar FlowアプリおよびPolar Flowウェブサービスで20個以上のスポーツプロフィールを保存すると、そのリストの上位20個が腕時計に同期されます。

スポーツプロフィールの順序は、リスト上でドラッグ&ドロップにより変更できます。移動したいスポーツを選択し、配置したい順番にドラッグします。

ビデオを見るには以下のリンクをクリックしてください:

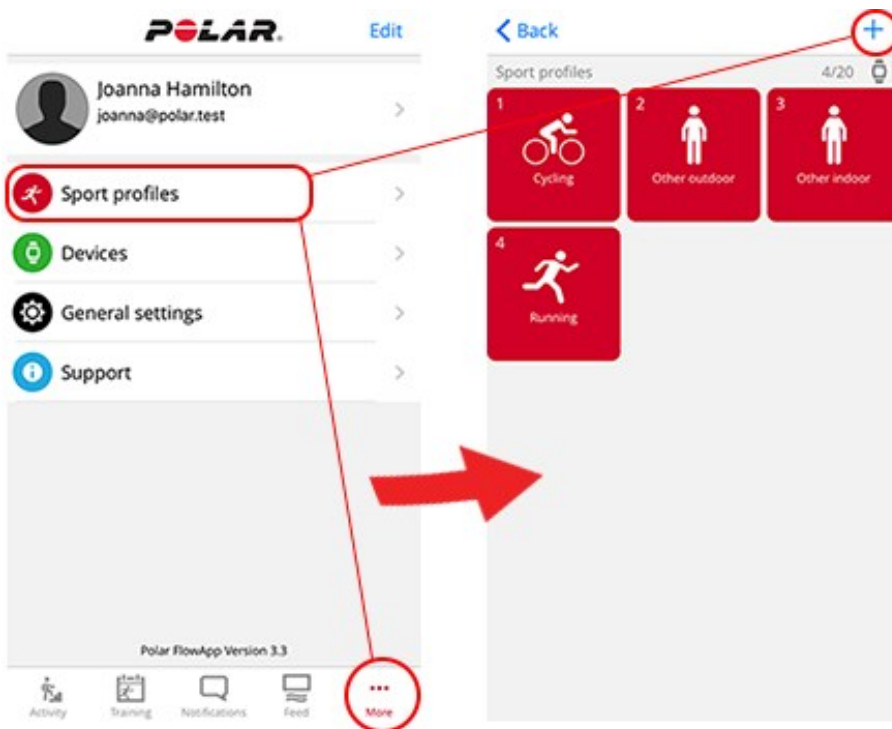
[Polar Flowアプリ | スポーツプロフィールの編集](#)

[Polar Flowウェブサービス | スポーツプロフィール](#)

スポーツプロフィールの追加

Polar Flowモバイルアプリで:

1. **スポーツプロフィールに進みます。**
2. **右上にあるプラスサインをタップします。**
3. **リストからスポーツを選択します。Androidアプリで「完了」をタップします。そのスポーツがスポーツプロフィールリストに追加されます。**



Polar Flowウェブサービスで:

1. **画面右上の名前/プロフィール写真をクリックします。**
2. **スポーツプロフィールを選択します。**

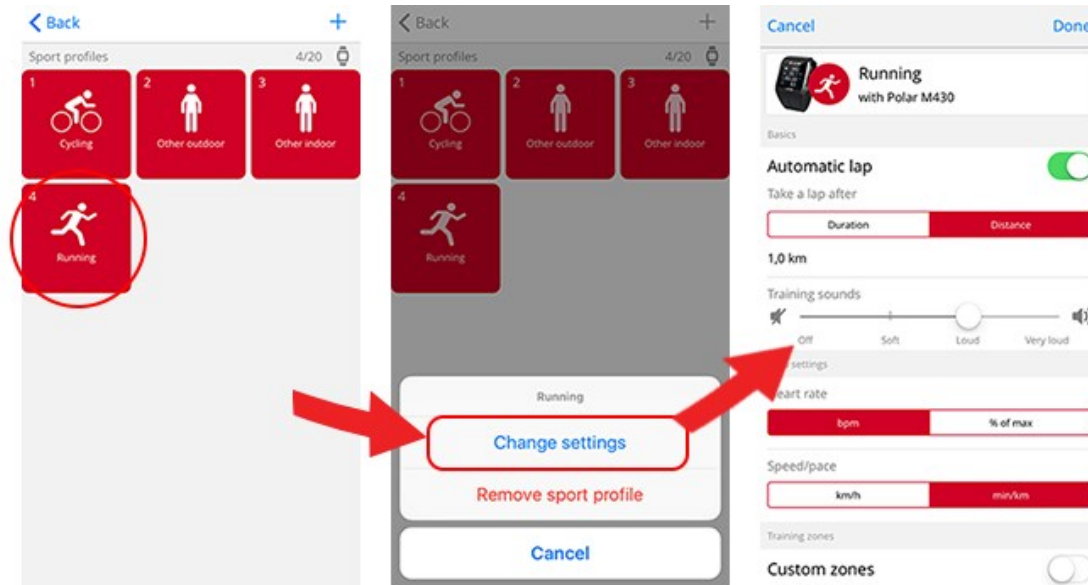
3. 「**スポーツプロファイルの追加**」をクリックして、リストからスポーツを選択します。
4. 選択したスポーツがあなたのスポーツリストに追加されます。

① 自身で新しいスポーツを作成することはできません。スポーツリストはPolarにより管理されています。これは、各スポーツがデフォルトの設定と数値を持っており、例えば、カロリー計算、トレーニング負荷、回復機能に影響するためです。

スポーツプロファイルの編集

Polar Flowモバイルアプリで:

1. **スポーツプロファイル**に進みます。
2. スポーツを選択し、「**設定を変更**」をタップします。
3. 完了したら、「**完了**」をタップします。設定を腕時計に同期してください。



Polar Flowウェブサービスで:

1. 画面右上の名前/プロフィール写真をクリックします。
2. **スポーツプロファイル**を選択します。
3. 編集したいスポーツの下の**編集**をクリックします。

各スポーツプロファイルで、以下の項目を編集できます:

基本

- オートラップ(時間または距離に基づいて設定可能)

心拍数

- 心拍数表示 (bpm、または最大の%)
- 心拍数を他のデバイスにも表示 (Bluetooth Smartワイヤレス技術を使用する他の対応するデバイス(例:ジム機器)が心拍数を検出できます。Polar Clubクラスでも腕時計を使用して心拍数をPolar Clubシステムに転送できます。)
- 心拍ゾーンの設定 (心拍ゾーンを利用することで、簡単にトレーニング強度を選択およびモニタリングすることができます。) デフォルトを選択した場合、心拍ゾーンのリミットを変更できません。フリーを選択した場合、すべてのリミットを変更できます。デフォルトの心拍ゾーンのリミットは、最大心拍数から算出されます。)

速度/ペース設定

- 速度/ペースビュー(速度 km/h / mphまたはペースmin/km / min/miを選択)
- 速度 ペース/ゾーンの設定(速度 ペース/ゾーンを利用することで、選択した項目に応じて速度またはペースを簡単に選択・モニタリングできます。デフォルトのゾーンは比較的高いフィットネスレベルでトレーニングする方向けに設定されている速度/ペースゾーンの参考的な値です。「デフォルト」を選択した場合、リミットを変更できません。「フリー」を選択した場合、すべてのリミットを変更できます。)

トレーニングビュー

セッション中にトレーニングビューに表示するデータを選択します。各スポーツプロファイルに、計8種類の異なるトレーニングビューを保存できます。各トレーニングビューには、最大4個の異なるデータフィールドを選択できます。

既存のビュー上の鉛筆アイコンをクリックして編集するか、または「**新しいビューを追加**」をクリックします。

動作とフィードバック

- バイブレーションフィードバック(バイブレーションのオン・オフを選択可能)

GPS と高度

- オートポーズ: トレーニング中に**オートポーズ**を使用するには、GPSを「**高精度**」に設定するか、またはストライドセンサーを使用する必要があります。動きが止まるとセッションが一時停止し、運動を再開すると自動的に記録を再開します。
- GPS記録間隔を設定します(オフまたは**High accuracy(高精度)** (つまり、GPS記録はオンになります) を設定できます)

スポーツプロファイルの設定を完了したら、「**保存**」をクリックします。設定を腕時計に同期してください。



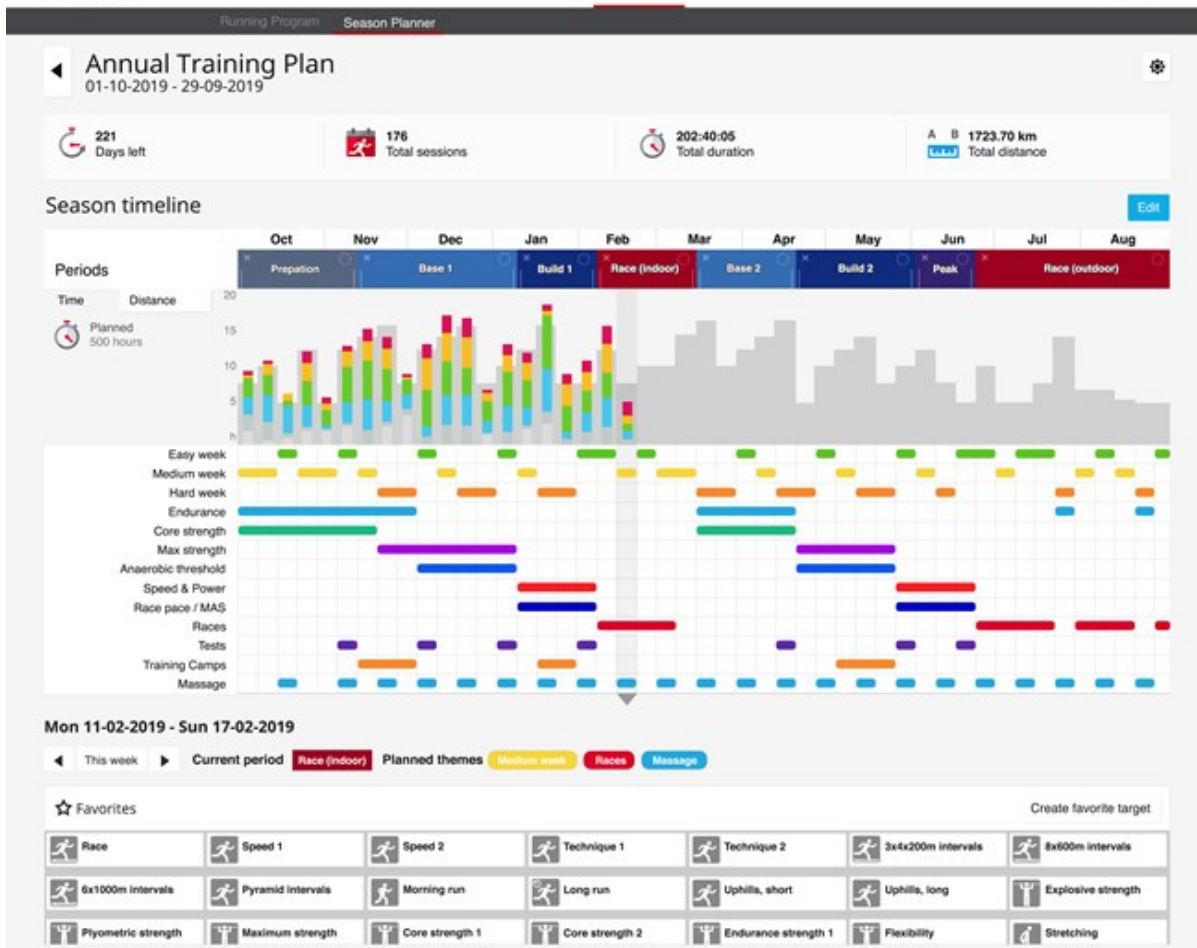
多くの屋内スポーツ、グループスポーツ、チームスポーツのプロファイルでは、「**HRを他のデバイスにも表示**」がデフォルトで有効になっていることに注意してください。これは、ジム機器といった、Bluetooth Smartワイヤレス技術を使用する対応デバイスが心拍数を検出できることを意味します。どのスポーツプロファイルでBluetooth通信がデフォルトで有効になっているか [Polarスポーツプロファイルリスト](#) で確認できます。スポーツプロファイル設定 でBluetooth通信を有効または無効にすることができます。

トレーニングの計画

Polar FlowウェブサービスまたはPolar Flowアプリでトレーニングを計画する、また、個別のトレーニング目標を作成することができます。

シーズンプランナーを使用してトレーニング計画を作成する

Polar Flowウェブサービスの[シーズンプランナー](#) は、年間のトレーニングプランを作成するために役立つ便利なツールです。トレーニングの目標は皆さん様々ですが、Polar Flowは個々のゴール達成に見合った包括的なプランニングを提供します。Polar Flowウェブサービスの [プログラム](#) タブから、シーズンプランナーを見つけることができます。



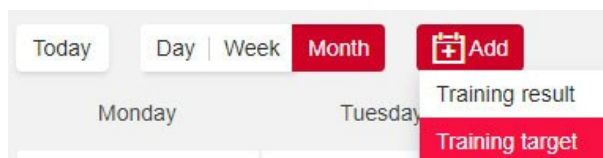
[Polar Flow for Coach](#) は、あなたのコーチがフルシーズンの計画から個別のトレーニングまで、細かくトレーニングを計画できる無料のリモートコーチングプラットフォームです。

POLAR FLOWアプリおよびウェブサービスでトレーニング目標を作成する

トレーニング目標は使用前にFlowSyncまたはFlowアプリ経由で腕時計に同期する必要があります。目標に合わせ、腕時計がトレーニング中の目標達成をサポートします。

Polar Flowウェブサービスでトレーニング目標を作成するには:

1. 「ダイアリー」に移動し、「追加」>「トレーニング目標」をクリックします。



2. トレーニング目標の追加画面で、スポーツを選択し、目標のタイトル(最大45文字)、日付、開始時刻、メモ(オプション)を入力します。

次に、トレーニング目標の種類を以下から選択します:

時間目標

1. 「時間」を選択します。
2. 時間を入力します。
3. 必要に応じて「お気に入り追加」☆をクリックし、目標をお気に入り一覧に追加します。
4. 目標を「ダイアリー」に追加するをクリックし、目標を「ダイアリー」に加えます。

距離目標

1. 「距離」を選択します。
2. 距離を入力します。
3. 必要に応じて「お気に入り追加」☆をクリックし、目標をお気に入り一覧に追加します。
4. 目標を「ダイアリー」に追加するをクリックし、目標を「ダイアリー」に加えます。

カロリー目標

1. 「カロリー」を選択します。
2. カロリー量を入力します。
3. 必要に応じて「お気に入り追加」☆をクリックし、目標をお気に入り一覧に追加します。
4. 目標を「ダイアリー」に追加するをクリックし、目標を「ダイアリー」に加えます。

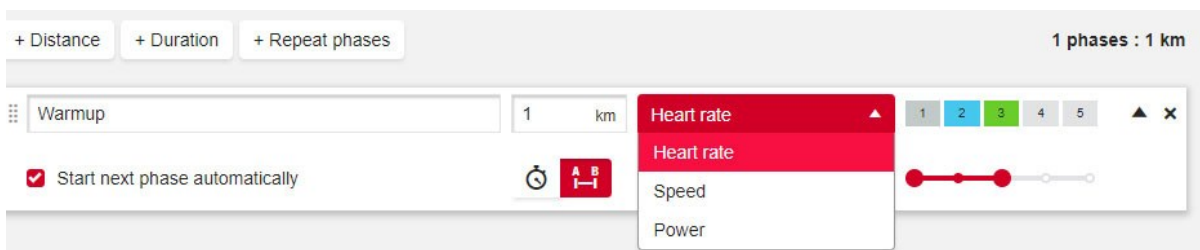
レースペース目標

1. レースペースを選択します。
2. 以下の項目のうち、2つを入力します: 時間、距離、またはレースペース。3つ目の値は自動的に表示されます。
3. 必要であれば、お気に入り追加 ☆をクリックし、目標をお気に入り一覧に追加することもできます。
4. 目標を「ダイアリー」に追加するをクリックし、目標を「ダイアリー」に加えます。

レースペースはGrit X、V800、Vantage M、Vantage M2、Vantage V、Vantage V2にのみ同期可能です。(A300、A360、A370、Ignite、M200、M400、M430、M460、M600とは同期できません。) ご注意ください。

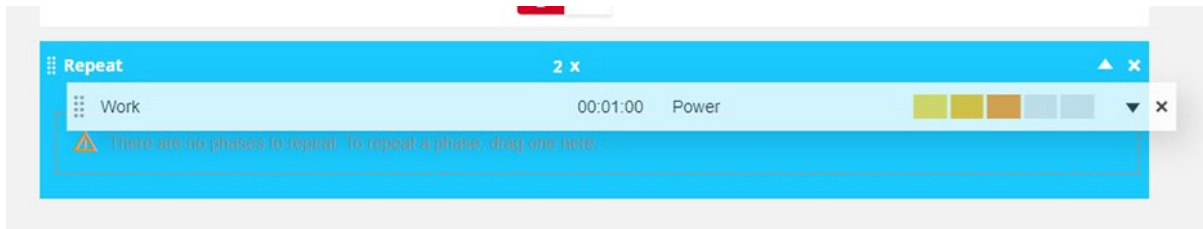
フェーズ目標

1. 「フェーズ目標」を選択します。
2. フェーズを目標に追加します。継続時間をクリックして、特定時間で決めたフェーズを追加するか、距離をクリックして、距離の長さで決めたフェーズを追加します。各フェーズの名前と継続時間/距離を選択します。
3. 自動的にフェーズを切り替えたい場合は、次のフェーズを自動的に開始にチェック印を入れます。チェック印を入れなかった場合は、手動でフェーズを切り替える必要があります。
4. 心拍数、スピード、またはパワーを基準にしてフェーズの強度を選択します。



① パワー値を基準にしたフェーズごとのトレーニング目標は現在、Vantage V2のみがサポートしています。

5. フェーズを繰り返したい場合は、+ フェーズを繰り返すを選び、「繰り返し」セクションにレポートするフェーズをドラッグします。



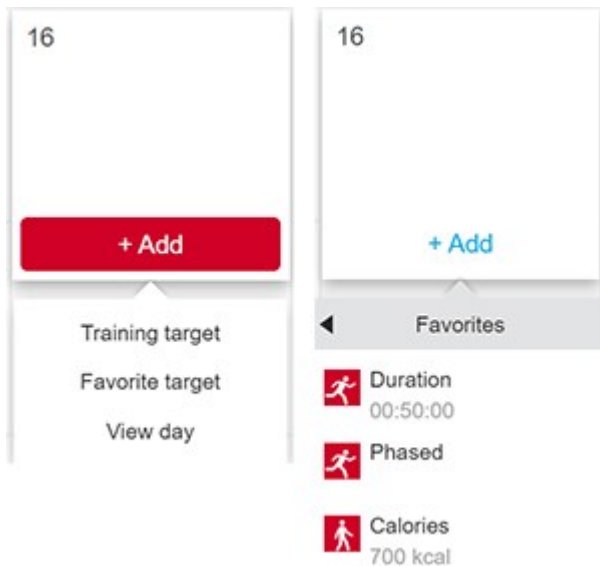
6. 「お気に入りに追加」をクリック☆し、目標をお気に入り一覧リストに追加します。
7. 目標を**ダイアリーに追加する**をクリックし、目標を**ダイアリー**に加えます。

お気に入りのトレーニング目標に基づいた目標を作成


目標を作成しお気に入りに追加すると、似たような目標を立てた時に、テンプレートとして使うことができます。これにより、トレーニング目標の作成がより簡単にできます。込み入ったフェーズトレーニング目標を一から作成する手間が不要になります。

既存の「お気に入り」項目をトレーニング目標のテンプレートとして使う場合は、次の手順に従ってください：

1. **ダイアリー**の日付にマウスを合わせます。
2. **+追加する > お気に入りの目標**をクリックし、**お気に入りリスト**から目標を選択します。



3. その日の予定目標として、お気に入り項目がダイアリーに追加されます。トレーニング目標の予定時間は、6pm(18:00)にデフォルト設定されています。
4. ダイアリー内の目標をクリックし、希望する内容に編集してください。この画面で目標を編集しても、お気に入りの目標は変更されません。
5. 保存をクリックし、変更内容に更新します。

 お気に入りページから好きなトレーニング目標を編集し、新しい目標を作成することも可能です。トップメニューから☆をクリックし、お気に入りページに移動します。


目標を腕時計に同期する

腕時計にFlowウェブサービスから、FlowSyncまたはPolar Flowアプリを使って、トレーニング目標を忘れずに同期しておいてください。同期を実行しない限り、この内容はFlowウェブサービスのダイアリー、お気に入りリスト以外では表示されません。


トレーニング目標セッションの開始方法に関する詳細は、「[トレーニングセッションの開始](#)」をご確認ください。

POLAR FLOWアプリでトレーニング目標を作成する

Polar Flowアプリでトレーニング目標を作成するには:

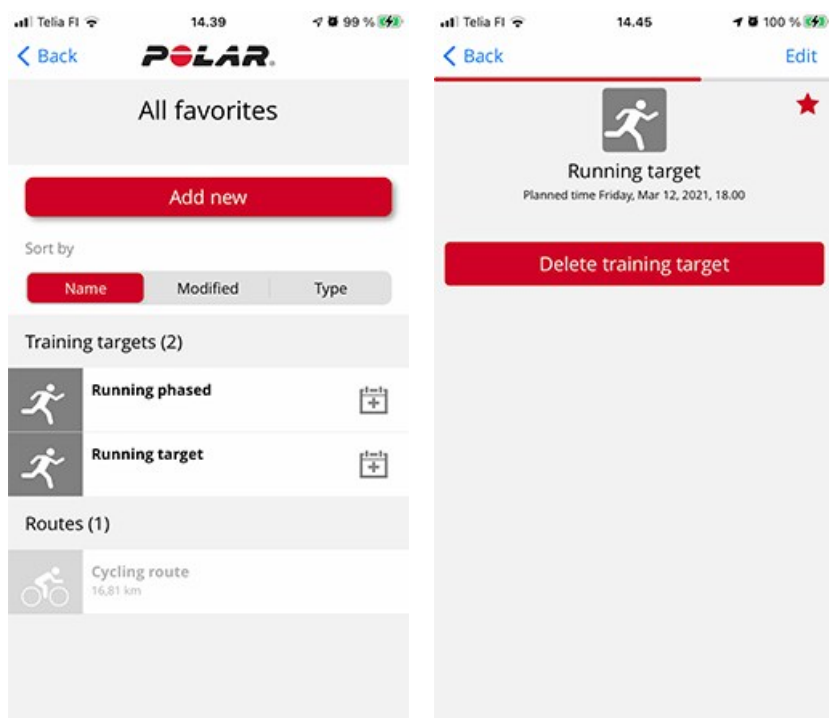
1. 「トレーニング」に進み、ページの一番上にある  をクリックします。
2. 次に、トレーニング目標の種類を以下から選択します:

お気に入りの目標

1. 「お気に入りの目標」を選択します。
2. 既存のお気に入りのトレーニング目標の一つを選択するか、トレーニング目標を「新規追加」します。
3. 既存の目標の横にある  をタップして、ダイアリーに追加します。
4. 選択したトレーニング目標は本日のトレーニングカレンダーに追加されます。ダイアリーからトレーニング目標を開き、トレーニング目標の時刻を編集します。
5. 「新規追加」を選択した場合は、新しいお気に入りのクイック目標、フェーズ目標、Strava Liveセグメント または Komootのルートを作成できます。

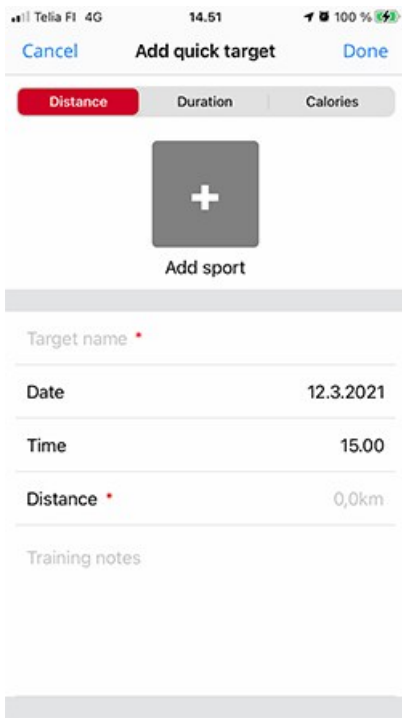


KomootのルートはGrit XとVantage V2のみで利用可能です。Strava LiveセグメントはGrit X、M460、V650、V800、Vantage V、Vantage V2で利用可能です。




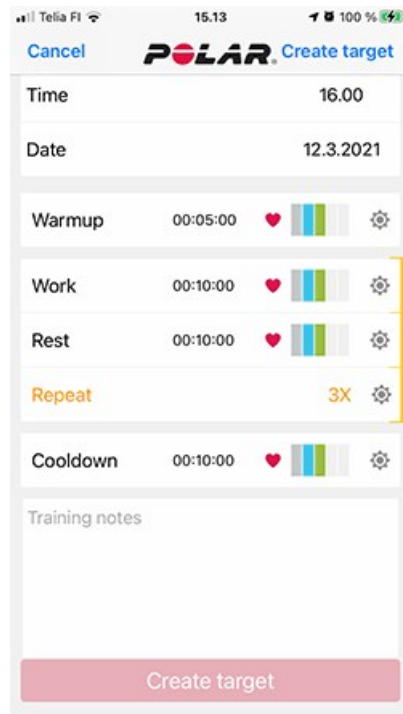
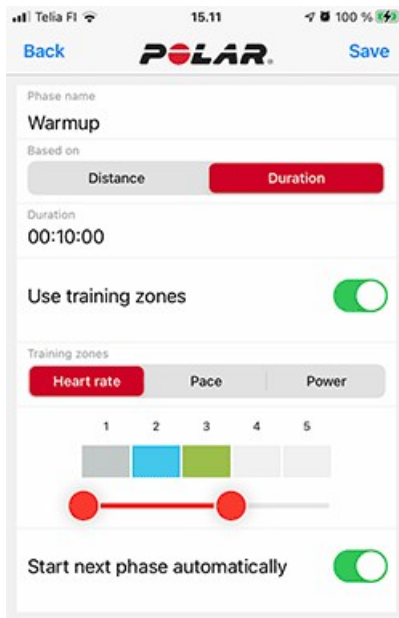
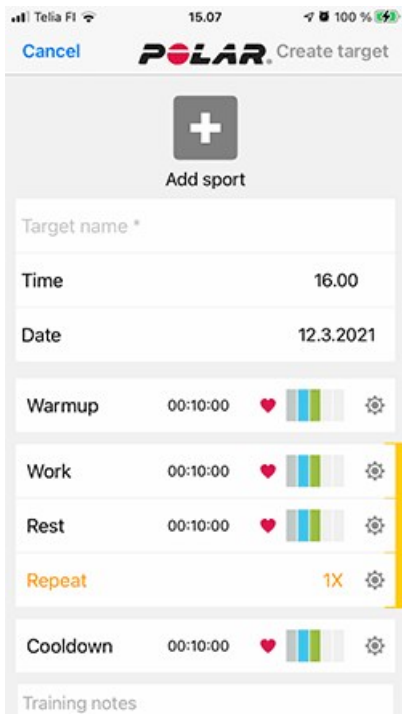
クイック目標

1. 「クイック目標」を選択します。
2. クイック目標が距離、時間、またはカロリーに基づくかを選択します。
3. スポーツを追加します。
4. 目標に名前を付けます。
5. 目標距離、時間、またはカロリー量を設定します。
6. 「終了」をタップすると、目標がトレーニングダイアリーに追加されます。



フェーズ目標

1. 「フェーズ目標」を選択します。
2. スポーツを追加します。
3. 目標に名前を付けます。
4. 目標の時刻と日付を設定します。
5. フェーズ目標の横にある  のアイコンをタップして、フェーズ設定を編集します。
6. 「目標を作成」をタップして、目標をトレーニングダイアリーに追加します。




腕時計を Polar Flowアプリと同期し、トレーニング目標を腕時計に移します。

お気に入り


Polar Flowウェブサービスのお気に入りから、トレーニング目標を保存・管理できます。腕時計で計画した目標としてお気に入りを使用できます。詳細については、[「Polar Flowウェブサービスでトレーニングを計画する」](#)でご確認ください。

Flowウェブサービス上で100個以上の「お気に入り」を保存した場合、そのリストの最初の100個が腕時計に同期されます。「お気に入り」内の順序は、ドラッグアンドドロップで変更できます。移動したいアイテムを選択し、移動先にドラッグします。


トレーニング目標を「お気に入り」に追加

1. [トレーニング目標を作成します](#)。
2. ページ右下の「Favorites(お気に入り)」アイコン  をクリックします。
3. 目標があなたの「お気に入り」に追加されます。


または

1. **Diary(ダイアリー)** から作成済みの既存の目標を開きます。
2. ページ右下の「Favorites(お気に入り)」アイコン  をクリックします。
3. 目標があなたの「お気に入り」に追加されます。

「お気に入り」を編集

1. あなたの名前の隣の右上にある「Favorites(お気に入り)」アイコン  をクリックします。あなたの、全ての「お気に入り」のトレーニング目標が表示されます。
2. 編集する「お気に入り」をクリックし、次に、**Edit(編集)** をクリックします。
3. スポーツ、目標名を変更したり、メモを追加したりすることができます。**Quick(クイック)** または **Phased(フェーズ)** の下で、目標のトレーニング詳細を変更できます。(詳細については、[「トレーニングの計画」](#)の章を参照してください。) 必要な変更を完了した後、**Update changes(変更を更新)** をクリックします。

「お気に入り」の削除

1. あなたの名前の隣の右上にある「Favorites(お気に入り)」アイコン  をクリックします。あなたの、全ての「お気に入り」のトレーニング目標が表示されます。
2. 「お気に入り」リストから削除するには、トレーニング目標の右上の「Delete(削除)」アイコンをクリックします。

同期

データをBluetooth接続経由でワイヤレスに腕時計からPolar Flowアプリに転送できます。あるいは、USBポートまたはFlowSyncソフトウェアを使用して、腕時計とPolar Flowウェブサービスを同期できます。腕時計とPolar Flowアプリ間でのデータ同期には、Polarアカウントが必要です。腕時計のデータをウェブサービスに直接同期させるには、Polarアカウントに加えて、FlowSyncソフトウェアが必要です。腕時計を設定している場合、Polarアカウントが作成されています。コンピュータを使用して腕時計を設定する場合は、コンピュータにFlowSyncソフトウェアがインストールされています。

腕時計、Flowウェブサービス、Flowモバイルアプリのどこからでも同期して、データを最新の状態に維持できます。

POLAR FLOWモバイルアプリとの同期

同期する前に以下をご確認ください：

- Flowアプリをインストール済みで、Polarアカウントを持っていること。
- モバイルデバイスのBluetoothがオンで、フライトモードがオフになっていること。
- モバイルデバイスと腕時計がペアリング済みであること。詳細については、[ペアリング](#)でご確認ください。

データの同期：

1. Flowアプリにサインインし、腕時計のBACK(左下)ボタンを長押しします。
2. 「デバイスに接続中」と表示され、続いて「アプリへ接続中」と表示されます。
3. 完了すると、「同期完了」と表示されます。

① スマートフォンがBluetooth接続の範囲内にある場合、トレーニングセッション終了後、腕時計はFlowアプリと自動で同期します。腕時計をPolar Flowアプリに同期すると、アクティビティやトレーニングデータは、インターネット経由でPolar Flowウェブサービスにも同期されます。

Polar Flowアプリの使用についてのサポート および詳細は、support.polar.com/ja/support/polar_flow_appでご確認ください。

FLOWSYNC経由でのPOLAR FLOWウェブサービスとの同期

Polar Flowウェブサービスへデータを同期するには、FlowSyncソフトウェアが必要です。flow.polar.com/startから、ダウンロード、インストールしてから同期します。

1. 腕時計をコンピュータに接続します。FlowSyncソフトウェアが起動していることを確認します。
2. FlowSyncウィンドウがコンピューター上で開き、同期が開始されます。
3. 完了すると、「完了」と表示されます。

腕時計をコンピュータに接続すると毎回、Polar FlowSyncソフトウェアによりデータがPolar Flowウェブサービスに転送され、変更済みの設定が同期されます。自動で同期が開始されない場合は、デスクトップアイコン(Windows)またはアプリケーションフォルダ(Max OS X)から、FlowSyncを起動してください。ファームウェアのアップデートが公開されると、FlowSyncによって通知され、インストールが求められます。

① 腕時計をコンピュータと接続中に、Polar Flowウェブサービス上で設定を変更した場合、FlowSync上の「同期」をクリックすると設定の変更が腕時計にも同期されます。

Polar Flowウェブサービスの使用についてのサポート および詳細は、support.polar.com/ja/support/polar_flow_web_serviceでご確認ください。

FlowSyncソフトウェアのご利用に関するサポート および詳細については、support.polar.com/ja/flowsyncにアクセスしてください。

重要情報

電池	135
電池の充電	136
トレーニング中の充電	137
電池の状態および通知	137
腕時計のお手入れ	137
腕時計を清潔に	137
保管	138
アフターサービス	138
注意事項	138
トレーニング中の電波干渉	138
健康とトレーニング	139
注意 - バッテリーはお子様の手の届かない所に保管してください	139
Polar製品の安全な使用方法	140
技術仕様	140
Grit X	140
Polar FlowSyncソフトウェア	142
Polar Flowモバイルアプリケーションの互換性	142
Polar製品の防水性	142
規制関連情報	143
Limited Polar International Guarantee(制限付きPolar国際保証)	143
免責条項	144

電池

腕時計には、充電可能な電池が搭載されています。充電式電池の寿命には限りがあります。その寿命の長さは電池技術、動作温度、充電習慣、そして腕時計の使用やお手入れの状態など、いくつかの要因に応じて変化します。腕時計を良好な状態に保ち、下記の指示に従って充電、収納を行うことで、電池の寿命を最大化できます。

- 腕時計の酸化や塩水(汗や海水など)や汚れによるその他の損傷を防ぐため、腕時計の充電接点を清潔に保ってください。充電接点を清潔に保つ効果的な方法は、毎回のトレーニングセッション後に腕時計をぬるま湯で洗い流すことです。腕時計は耐水性で、電気部品を傷つけることなく、流水で洗い流すことができます。
- 充電前に、腕時計とケーブルの充電用接点に水気、ほこりなどの汚れがないことを確認してください。汚れや湿気は優しく拭き取ってください。
- 温度が0°C/+32°Fを下回っている場合、または+40°C/+104°Fを上回っている場合は、腕時計を充電しないでください。
- 腕時計を、燃えやすい素材の近くや、燃えやすい面の上で充電しないでください。
- 腕時計が濡れているときは充電しないでください。
- 腕時計を、極端な寒暖のある場所(-10°C/14°F未満または50°C/120°F超)に置いたままにしたり、直射日光にさらしたりしないでください。
- 再充電する前に電池を完全に放電したり、または毎回満充電したりすることは避けてください。電池の充電レベルを10~90%に保持することで、電池への負荷を軽減し、電池の理想的なパフォーマンスの維持を助けるとともに、電池の寿命を延ばすことができます。
- 電池を長期間空のままにしたり、常に満充電にしたりしないでください。
- 腕時計は、一部充電された状態で、涼しく乾燥した場所に保管してください。しばらく腕時計を使わない場合は、保管前に腕時計を約50%まで充電してください。また、設定 > 腕時計についてで腕時計をオフにしてください。保管中も電池は少しずつ消耗します。腕時計を数か月間使用せずに保管する場合は、数か月ごとに充電することが推奨されます。

充電式電池は時間とともに段々と消耗し、容量が減っていきます。Polarウォッチをはじめとするスマートフォンや腕時計で使用されている充電式リチウムイオン電池の平均寿命は、約2～3年です。この段階では、電池の容量は当初の80%まで落ちています。この数字は、時間・使用によってさらに減少し続けます。電池の実際の寿命は、使用条件や運転条件によって異なります。

寿命に達した製品を廃棄する際は、Polarは自然環境や健康面への配慮から影響を最小限に抑えるため、現地の廃棄物処理規則に従って適切な処分を行うことを推奨しています。可能であれば、電子機器専用の収集場所にて手続きを行ってください。本製品を普通ごみとして廃棄しないでください。

電池の充電

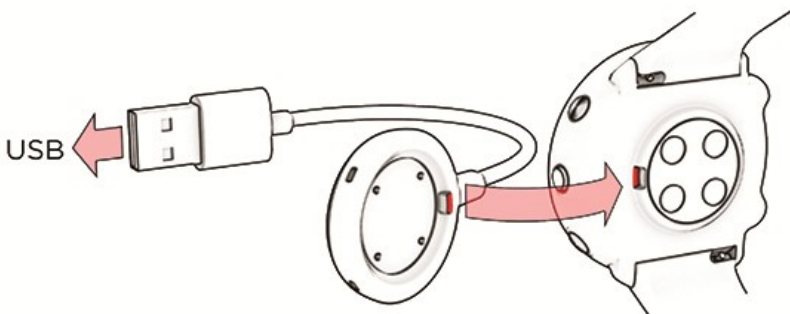
本製品セットに同梱されているUSBケーブルを使って、ご使用のコンピュータのUSBポートを介して電池を充電します。

バッテリーは、コンセントからも充電できます。その場合は、USB電源アダプタ(別売り)を使用してください。USB電源アダプタを使用する際には、そのアダプタに「出力5VDC」の刻印があり、500mA以上に対応することを必ずご確認ください。適切な安全認証を取得済みのUSB電源アダプタ(「LPS」、「Limited Power Supply」、「UL listed」または「CE」の刻印のある)のみを使用してください。



腕時計をコンピュータに接続すると、充電すると同時に、FlowSyncで同期を開始します。

1. ご利用の腕時計を充電するには、付属のケーブルを使用して、腕時計をパソコンのUSBポート、またはUSB充電器に接続します。ケーブルを時計の裏側に位置を合わせ(赤色でマークした箇所)接続してください。マグネットにより所定の位置に収まります。



2. 「充電中」とディスプレイに表示されます。



バッテリーが完全に空の状態では、充電アニメーションがディスプレイに表示されるまでに数分かかる場合がありますことにご留意ください。

3. 腕時計が完全に充電されると、電池アイコンがいっぱいになります。

トレーニング中の充電

モバイルバッテリーなどの携帯用充電器を使用したトレーニングセッション中は、腕時計を充電しないでください。トレーニングセッション中に腕時計を電源に接続しても、バッテリーは充電されません。トレーニング中に充電ケーブルに接続すると、汗や湿気によって腐食が発生し、充電ケーブルや腕時計が損傷する可能性があります。また、腕時計の充電中にトレーニングセッションを開始すると、充電は中止されます。

電池の状態および通知

電池の状態を示すシンボル

電池の状態を示すシンボルは、腕時計を見るために手首を回した時、時刻表示画面で「ライト」ボタンを押した時、または、メニューから時刻表示画面に戻る時に、表示されます。

電池残量の通知

- 電池残量が低下しているとき、「**電池残量少**」と表示されます。「**充電してください**」と、時刻表示モードで表示されます。腕時計の充電をお勧めします。
- トレーニングセッションを記録するための十分な残量が無い場合に、「**トレーニング前に充電してください**」が表示されます。

トレーニング中の低電池残量の通知：

- 電池残量が低下しているとき、「**電池残量少**」と表示されます。心拍数やGPSデータの計測に必要な電池残量が不足している場合に繰り返しこの通知が表示され、心拍数計測とGPS機能は中断されます。
- 電池残量が非常に少なくなると、「**記録完了**」と表示されます。腕時計はトレーニングの記録を停止し、トレーニングデータを保存します。
- 腕時計のディスプレイが真っ白の時は、電池が空でスリープモードに入っています。まず腕時計を充電してください。電池が完全に消耗した状態では、充電中のサインがディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。

腕時計のディスプレイが真っ白の時は、電池が空でスリープモードに入っています。まず腕時計を充電してください。電池が完全に消耗した状態では、充電中のサインがディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。

動作時間は、腕時計の使用環境の温度、使用する機能やセンサー、電池の消耗度といった、多くの要因により差が生じます。Flowアプリとの頻繁な同期作業も電池寿命を低下させる要因となります。電池の持続時間は、気温が氷点下を下回ると大幅に低下します。オーバーコートなど衣服の下に腕時計を装着することで温まり、動作時間を延ばすことができます。

腕時計のお手入れ

一般的な電化製品と同様に、Polar Grit Xも清潔に保ち、丁寧にお取り扱いください。以下の手順は、保証義務を実行し、デバイスを良好の状態に保ち、充電または同期時に起こりうる問題を避けることに役立ちます。

腕時計を清潔に

トレーニングセッション後は毎回、腕時計を、低刺激石鹼と水溶液で洗い、流水ですすぐことが推奨されます。そして、柔らかいタオルで乾かします。

充電と同期がスムーズに行えるよう、腕時計とケーブルの充電接点を常に清潔に保ってください。

充電前に、腕時計とケーブルの充電用接点に水気、ほこりなどの汚れがないことを確認してください。汚れや湿気は優しく拭き取ってください。腕時計が濡れているときは充電しないでください。

腕時計の酸化や塩水(汗や海水など)や汚れによるその他の損傷を防ぐため、腕時計の充電接点を清潔に保ってください。充電接点を清潔に保つ効果的な方法は、毎回のトレーニングセッション後に腕時計をぬるま湯で洗い流すことです。腕時計は耐水性で、電気部品を傷つけることなく、流水で洗い流すことができます。腕時計が濡れているときは充電しないでください。

光学心拍センサーを適切にケアします

背面カバーの光学式センサーの部分は傷がつかないようにしてください。傷や汚れにより、手首による心拍数測定のパフォーマンスが低下します。

腕時計を着用する部位に香水やローション、日焼け止め、虫除けスプレーを使用しないでください。腕時計がそれらのもの、またはその他の化学薬品に触れた場合は、低刺激石鹼と水溶液で洗い、流水ですすいでください。

保管

トレーニングデバイスは、涼しく乾燥した場所に保管してください。湿気の多い場所で保管しないでください。また通気性のない素材(プラスチックバックまたはスポーツバック)や濡れたタオルのように通電性の高いものと一緒にしないでください。車に放置したり、バイクマウントに取り付けたままにしたりするなど、トレーニングデバイスを長時間直射日光にさらさないでください。トレーニングデバイスは一部または完全に充電した状態で保管することが推奨されます。保管中も電池は少しずつ消耗します。トレーニングデバイスを数か月間使用せずに保管する場合は、数か月ごとに充電することが推奨されます。これにより電池寿命が延びます。

デバイスを寒暖の極端な場所(-10°C/14°F未満の温度、また、50°C/120°Fを超える温度)に置いたり、直射日光に晒さないでください。

アフターサービス

2年間の保証期間中は、認定Polarサービスセンターにのみ、製品修理等を依頼されることをお勧めします。正規のサービスセンター以外で修理したことによる損傷、またはそれに起因する間接的な損傷は保証の対象になりません。詳細については、Limited International Polar Guarantee(Polar国際保証)をご参照ください。

連絡先情報およびPolarサービスセンターの所在地については、www.polar.com/ja/support/serviceおよび各国のウェブサイトにごアクセスしてください。

注意事項

Polar製品(トレーニングデバイス、アクティビティラッカー、付属品)は、トレーニングセッション中および後の生理的な負担とリカバリーのレベルを示すために設計されています。Polarトレーニングデバイスおよびアクティビティラッカーは、心拍数を測定し、アクティビティを報告します。GPS内蔵Polarトレーニングデバイスは、速度、距離、位置を表示します。互換性のあるPolarアクセサリを使えば、Polarトレーニングデバイス上でスピードや距離、ケイデンス、ロケーション、パワー出力データを確認できるようになります。互換性のあるすべてのアクセサリのリストはwww.polar.com/ja/products/accessoriesをご覧ください。気圧センサー付きPolarトレーニングデバイスは、高度と他の変数を測定します。その他の目的での使用は、意図するものではありません。Polarトレーニングデバイスを専門的または工業的な精度を必要とする環境測定値を取得するために使用しないでください。

トレーニング中の電波干渉

電磁波による干渉とトレーニング器具

電気機器の付近では誤作動が起こる可能性があります。またトレーニングデバイスを使ってトレーニングする際に、WLANベースステーションがある場合、干渉が起きる可能性もあります。異常な読み取り値または誤作動を避けるために、誤動作の原因になる可能性のあるものからできるだけ離れてください。

LEDディスプレイ、モーター、電気ブレーキなどの電子・電気的な性質を伴う部品を搭載したトレーニング器具は、電波干渉を引き起こす信号を発信するおそれがあります。問題を解消するには、以下の方法を試してください：

1. 心拍センサーストラップを胸部から取り外した状態で、通常どおりトレーニング器具を使用します。
2. トレーニングデバイスを持ち歩き回るなどして、心拍信号のマークの表示が点滅せず、他の信号を受信しない場所を探します。電波干渉は、一般的にトレーニングデバイスのディスプレイの真正面で直に起こりやすく、左右では比較的起こりにくい場合があります。
3. 心拍センサーストラップを胸につけなおし、トレーニングデバイスをできるだけ干渉がないエリアで使用し続けてください。

トレーニングデバイスが依然として対象のトレーニング機器ともに使用できない場合、その環境がワイヤレスでの心拍測定をするには電氣的なノイズが多すぎる可能性があります。

健康とトレーニング

トレーニングには、いくつかのリスクが含まれる可能性があります。継続的なトレーニングプログラムを開始する前に、現在の健康状態に関する以下の質問事項をご確認ください。次の質問のいずれかが「はい」の場合は、トレーニング開始前に医師に相談されることをお勧めします。

- あなたは過去5年間以上、ほとんど身体的な運動をしていない状況ですか？
- 高血圧、または血中コレステロール値が高いですか？
- 高血圧治療薬または心臓関連の医薬品を服用していますか？
- 呼吸器系の既往歴がありますか？
- 何か病気の症状がありますか？
- 深刻な病気または治療からの回復中ですか？
- ペースメーカーまたはその他の埋め込み型電子機器を使用していますか？
- 喫煙しますか？
- 妊娠中ですか？

トレーニング強度に加え、心臓疾患の治療薬、血圧、身体的状態、喘息、呼吸、エナジードリンク、アルコール、ニコチン等も心拍数に影響を与える場合があります。

トレーニング中は、身体の状態の変化に注意を払うことが重要です。トレーニング中に急な痛みや過度な疲れを感じる場合は、トレーニングを直ちに中止するか、強度を下げて継続することをお勧めします。

注意！ ペースメーカー他体内埋め込み式の電子インプラントなどを使用している場合も、Polar製品をご使用いただけます。理論上は、Polar製品がペースメーカーに影響を及ぼすことはありません。また実際に、これまで電波干渉を経験したという報告例はありません。しかしながら、ペースメーカー他体内埋め込み式の電子インプラント等のデバイスの種類が多岐にわたるため、すべての製品との適合性を正式に保証することはできません。問題が疑われる場合、またはPolar製品使用中に通常と異なる感覚を経験した場合は、かかりつけの医師に相談するか、埋め込み式医療機器のメーカーにお問い合わせの上安全性をご確認ください。

接触性の皮膚アレルギー反応、本製品の使用によりアレルギー反応を起こしたと思われる場合は、[技術仕様に記載されている使用素材をご確認ください](#)。皮膚に異常を感じた場合は製品の使用をやめ、すみやかに医師にご相談ください。また、皮膚反応を起こした場合はPolarカスタマーケアにご報告ください。皮膚のアレルギー反応などを防ぐために、胸の心拍センサーをシャツの上に装着することもできます。ただし、センサーが正常に動作するには電極があたるシャツの部分が十分に濡れている必要があります。



湿気や強い摩擦により、心拍センサーやリストバンドから、淡色の衣服に色移りすることがあります。同様に濃い色の衣服から、淡色のトレーニングデバイスに色移りする可能性もあります。淡色のトレーニングデバイスの変色を抑え、長くお使いいただくために、トレーニング時は色移りのしないウェアを着用してください。香水やローション、日焼け止め製品、虫除けスプレーを皮膚につける際は、トレーニングデバイスまたは心拍センサーに付着しないよう注意してください。低気温の環境(-20°C~-10°C/-4°F~14°F)で使用する際は、トレーニングデバイスを、ジャケットの袖の中の皮膚に、直接着用することを推奨します。

注意 - バッテリーはお子様手の届かない所に保管してください

Polar心拍センサー(例:H10N、H9など)は、ボタン型電池を使用しています。ボタン型電池を誤飲すると、内蔵に重度のやけどを起こし、早くて2時間以内に命にかかわる危篤状態となり得ます。お子様の手の届かない安全な場所に保管するようにしてくだ

さい。バッテリーケースがきっちりと閉まらない場合は製品の使用を中止し、お子様の手の届かない安全な場所に保管するようにしてください。電池を誤飲した場合、また体内のどこかに入ってしまったと疑われる場合は、医師に至急ご相談ください。

POLAR製品の安全な使用方法

Polarは、Polar製品をお買い上げのお客様に**製品の販売開始から最低5年間**の製品サポートサービスをご提供しています。製品サポートサービスは、Polarデバイスに必要なファームウェアのアップデートや、重大な脆弱性に対する修正を含んでいます。Polarは既知の脆弱性のリリースを常にモニタリングしています。お持ちのPolar製品の更新を定期的に行ってください。また、Polar Flow モバイルアプリ、またはPolar FlowSync コンピューターソフトウェアから新しいファームウェアのバージョン情報の通知が届き次第、更新をすみやかに行ってください。

トレーニングセッションデータ、およびその他のデータは、お使いのPolar デバイスに保存されます。このデータには個人に関わる機密情報(氏名、身体的な情報、健康状態の一般情報、位置情報など)も含まれます。位置情報から、あなたのトレーニングのロケーションや、通常のトレーニングルートを把握することができます。こういった情報が保存されているため、デバイスの保管には注意してください。

スマート通知をリストデバイスで利用する際は、アプリからのメッセージがディスプレイ画面に表示される場合がありますのでご注意ください。デバイスメニューから最新メッセージをチェックすることもできます。プライベートメッセージ閲覧の際に確実にプライバシーを保護するには、スマート通知機能をオフにしてください。

修理や他人への譲渡等の理由でデバイスを第三者に受け渡す前に、工場出荷時設定にリセットし、あなたのPolar Flow アカウントからこのデバイスを削除してください。工場出荷時設定へのリセットは、お使いのコンピューターのFlowSyncソフトウェアで実行できます。工場出荷時設定にリセットすることでデバイスのメモリが消去され、そのデバイスからあなたの個人データにアクセスすることができなくなります。あなたのPolar Flow アカウントからデバイスを削除するには、Polar Flowウェブサービスにサインインし、製品を選択、取り消したいデバイスの横にある「削除する」ボタンをクリックします。

同じトレーニングセッションの内容が、Polar Flowアプリ搭載のモバイルデバイスにも保存されます。安全性を高めるために、認証方法の強化、デバイスの暗号化など、モバイルデバイス上のできるいくつかの操作オプションがあります。これらのオプション選択に関する詳細は、お使いのモバイルデバイスのユーザー マニュアルをご確認ください。

Polar Flow ウェブサービス利用時は、12文字以上の長さのパスワードの設定をおすすめします。共有コンピューターでPolar Flow ウェブサービスを'利用する場合は、あなたのアカウントへの不正アクセスを未然に防ぐため、キャッシュと閲覧履歴を必ず消去してください。また、自分のコンピューターでない場合は、コンピューターのブラウザにPolar Flow ウェブサービスのパスワードを保存・記憶させないでください。

セキュリティ上の問題が発生した場合は、security(a)polar.com または Polar カスタマーケアまでお知らせください。

技術仕様

GRIT X

電池タイプ:	346 mAh リチウムポリマー充電式電池
動作時間:	バッテリー寿命は、トレーニングモードで最大40時間(高精細GPSと手首での心拍計測時)、ウォッチモードで最高7日間(継続的な心拍計測時)。3種類の省電力モードが利用可能です。複数の省電力オプションを選択することにより、最大100時間までバッテリー寿命を持続させることも可能です。
動作温度:	-10 °C to +50 °C / 14 °F to 122 °F
腕時計 素材:	ブラック

デバイス: CORNING 製ゴリラガラス、
PA12+30GF、TPE、ステンレススチール、
PMMA

リストバンド: シリコン製

バックル: ステンレススチール

ホワイト

デバイス: CORNING 製ゴリラガラス、
PA12+30GF、TPE、ステンレススチール、
PMMA

リストバンド: シリコン製

バックル: ステンレススチール

緑

デバイス: CORNING 製ゴリラガラス、
PA12+30GF、TPE、ステンレススチール、
PMMA

リストバンド: シリコン製

バックル: ステンレススチール

アクセサリリストバンド素材:

オープンリストバンド

レッド パラコード、ブルー パラコード、ブラック
タンドラ、グリーン タンドラ: PETリサイクル織
布、ポリエステル、エラストン(ラテックスフ
リー)

レザーリストバンド

ブラウン: 植物タンニンを施した本革、ポリエ
ステル、エラストン(ラテックスフリー)

ケーブル素材:

BRASS、PA66+PA6、PC、TPE、カーボンス
チール、ナイロン

時計の精度:

25 °C / 77 °Fで± 0.5秒/日以内

GNSS精度:

距離 ±2%、速度 ±2 km/h

高度の精度:

1 m

上昇・下降の精度:

5m

最大高度:

9000 m / 29525 ft

サンプリングレート:

1秒

心拍数測定範囲:	15 ~ 240bpm
リアルタイムの速度表示範囲:	0 ~ 399 km/h 247.9 mph
防水性:	WR100、100 mまで
メモリ容量:	GPSと心拍数記録を使用したトレーニング最大90時間分(言語設定により異なる)。
解像度	240 x 240
最大パワー	5 mW
周波数	2.402 ~ 2.480 GHz

ワイヤレスBluetooth®技術を使用。

Polar Precision Primeは光学式心拍センサーの融合技術により、微弱で安全な電流を皮膚に流して、手首とセンサーとの接点を測定して精度を向上させます。

POLAR FLOWSYNCソフトウェア

FlowSyncソフトウェアを使用するには、インターネット接続環境とUSBポートを備えた、Microsoft WindowsまたはMac OS搭載コンピュータが必要です。

互換性に関する最新情報は、support.polar.comをご参照ください。

POLAR FLOWモバイルアプリケーションの互換性

互換性に関する最新情報は、support.polar.comをご参照ください。

POLAR製品の防水性

ほとんどのPolar製品は、水泳時に着用できます。しかし、ダイビング機器ではありません。防水性維持のため、水中でボタンを押さないようにしてください。

手首での心拍計測機能付きPolarデバイスは、スイミング他、水中でのアクティビティにも使用可能です。水泳中も手首の動きからアクティビティデータを収集することができます。しかし、弊社によるテストでは、手首による心拍数測定は水中では正しく機能しないといった結果が出ています。そのため、水泳時は、手首による心拍数測定は推奨されません。

腕時計の産業規格の防水性は、通常、水圧のメートルで表示されますが、これはそのレベルでの水の静圧になります。Polarはこれと同じ表示システムを使用しています。Polar製品の防水性は、国際規格 ISO 22810 または IEC60529に基づきテストを実施しています。防水性表示のあるすべてのPolarデバイスは、出荷前に水圧耐性テストを実施済みです。

Polar製品は、耐水性によって4つの異なるカテゴリに分類されます。Polar製品裏面の耐水カテゴリを確認し、以下の図を参照してください。なおこの定義は、他のメーカーの製品には該当しない場合があります。

水中で活動を実施する際は、水中での動きにより生み出される動圧が静圧よりも大きいです。つまり、水中で製品を動かすことにより、製品は静止状態よりも大きな圧力を受けます。

製品裏側の表示	水滴、汗、雨滴など。	入浴および水泳時	シュノーケルによるスキンドビング (酸素ボンベなし)	スキューバダイビング (酸素ボンベあり)	防水性能の詳細
耐水性IPX7	OK	-	-	-	高圧洗浄機で洗わないでください。

					水滴、雨などから保護されています。 参照規格: IEC60529
耐水性IPX8	OK	OK	-	-	入浴や水泳のみ使用可能。 参照規格: IEC60529。
防水性 防水性 20/30/50m 水泳に使用 可能	OK	OK	-	-	入浴や水泳のみ使用可能。 参照規格: ISO22810
耐水性 100 m	OK	OK	OK	-	水中で使用できますが、スキューバダイビングには 使用できません。 参照規格: ISO22810

規制関連情報



本製品は、2014/53/EU, 2011/65/EU and 2015/863/EUに定められた規制を遵守しています。各製品の関連する適合宣言書およびその他の規制に関する情報は www.polar.com/en/regulatory_information でご確認ください。



このバツ印がついた車輪付きゴミ箱のマークは、Polar製品が電気機器であり、廃電気電子機器 (Waste Electrical and Electronic Equipment、WEEE) に関する欧州議会及び理事会 (the European Parliament and of the Council) の指令 2012/19/EUが定める電気装置であること、そしてPolar製品内で使用されている電池/蓄電池は、欧州議会及び理事会 (the European Parliament and of the Council) の電池および廃電池に関する規則 (EU) 2023/1542(2023年7月12日) に準拠していることを示しています。Polar製品内で使用されているこれらの製品と電池/蓄電池は、EU諸国では分別して廃棄する必要があります。Polarは、現地の廃棄物規則に従うことにより、欧州連合域外でも環境および人間の健康に対する廃棄物の影響を最小化し、可能な限りにおいて、製品の電子機器の分別収集、電池と蓄電池に特化した収集方法を選択するよう奨励しています。

Grit X固有の規制関連のラベルを確認するには、**設定 > 基本設定 > 腕時計について**に進みます。

LIMITED POLAR INTERNATIONAL GUARANTEE(制限付きPOLAR国際保証)

- Polar製品に対し、Polar Electro Oyにより制限付き国際保証が付与されます。アメリカ又はカナダで販売されている製品に対しては、Polar Electro, Incにより保証が付与されます。
- Polar Electro Oy / Polar Electro Inc. はPolar製品の元の消費者/購入者に対し、懸かる製品はその素材および製造品質において欠陥が無いことを、購入日から2年間保証します。但し、シリコン又はプラスチック製のリストバンドについては例外とし、保証期間を購入日から1年間とします。
- 本保証は、電池の通常の使用による摩耗、又はその他の通常の使用による摩耗、誤使用または不適切な使用、事故、あるいは注意事項を順守しなかったことを原因とする破損；不適切なメンテナンス、商業目的の使用、ケース、ディスプレイ、布製アームバンド、布製/皮革製リストバンド、伸縮性ストラップ(例:心拍センサー チェストストラップ)、Polarアパレル製品のひび割れや破損、キズには適用されません。
- 本保証は、製品による、または製品に関連する直接的・間接的または事故による、結果又は特別損害による損失、保障の費用には適用されません。
- 中古で購入した製品に対しては本保証は適用されません。
- 保証期間中は購入した国に関係なく、Polar認定セントラルサービス窓口にて、製品の修理または交換サービスが受けられます。Polar Electro Oy/Inc.により付与される保証は、製品を購入・使用する地域、国の法規が定める消費者の法的権利を侵害するものではありません。
- また、販売・購入の際に交わされる契約をもとにした販売者に対する消費者の権利を侵害するものでもありません。

- 購入の証明として領収書を大切に保管してください。製品に関する保証は、製品がPolar Electro Oy/Incにより正規に市販された国に限定されます。

製造元：Polar Electro Oy, Professorintie 5, FI-90440 KEMPELE, www.polar.com.

Polar Electro Oyは、ISO 9001:2015認証会社です。

© 2025 Polar Electro Oy, FI-90440 KEMPELE, Finland. All rights reserved. Polar Electro Oyの許可なく本マニュアルの複写、転写することは禁じられています。

このユーザーマニュアルまたはこの製品のパッケージに使用される本製品の名称およびロゴは、Polar Electro Oyの商標です。このユーザーマニュアルまたは製品パッケージの®マーク付きの名称およびロゴは、Polar Electro Oyの登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標であり、Mac OSはApple Inc.の登録商標です。Bluetooth®の文字標記およびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Polar Electro Oyによるこれら表記の使用はライセンスに基づくものです。

免責条項

- 本マニュアルの内容は、情報の提供のみを目的とするものです。記載されている製品は、メーカーが継続して開発プログラムに取り組んでいるため、予告なく改良されることがあります。
- Polar Electro Inc. /Polar Electro Oyは、本マニュアルあるいは本書に記載された内容や製品に関して、明言または保証するものではありません。
- Polar Electro Inc. /Polar Electro Oyは、本マニュアルあるいは本書に記載された製品の使用による直接的・間接的あるいは事故による、結果的あるいは特別な行為による損失、故障を保証いたしません。

3.0 JA 1/2025